

第2期三江線沿線地域公共交通計画 【資料編】

令和8年 3 月

江津市、川本町、美郷町、邑南町、三次市、安芸高田市
島根県、広島県

第2期三江線沿線地域公共交通計画【資料編】 目次

I. はじめに	1
1-1 計画策定の経緯	1
1-1-1 再編前(JR 三江線)	1
1-1-2 再編時の経緯	2
1-2 計画の区域一覧	8
II. 地域の概況	9
2-1 位置・地勢	9
2-2 人口	10
2-2-1 人口の推移	10
2-2-2 人口流動	12
2-2-3 人口分布	13
2-3 運転免許保有率の状況	14
2-4 移動の目的地となる施設の分布	15
2-4-1 公共施設	15
2-4-2 教育機関	15
2-4-3 医療機関	16
2-4-4 商業施設	16
2-5 住民の移動ニーズ	17
2-5-1 通院の時間帯	17
2-5-2 買物の時間帯	18
2-5-3 高校への通学状況	19
2-6 観光資源と来訪状況	26
2-7 地域公共交通の現状	28
2-7-1 本計画の対象路線	28
2-7-2 民間事業者が主体となって運行する路線バス・乗合タクシー	29
2-7-3 市町が主体となって運行する路線バス・乗合タクシー	30
2-7-4 NPO や地域組織が主体となって運行する乗合タクシー等	31
2-7-5 バス路線間の接続状況	32
2-7-6 公共交通が利用しにくい地域	43
2-7-7 タクシー	44
2-8 社会環境	45
2-8-1 道路環境	45
2-8-2 燃料費の上昇	45
2-8-3 ドライバーの担い手不足	46
III. 上位計画	47
3-1 各自治体の総合計画	47
3-1-1 第6次江津市総合振興計画	47
3-1-2 第6次川本町総合計画	48
3-1-3 美郷町第2次長期総合計画	49
3-1-4 邑南町第2次総合振興計画	50
3-1-5 第2次安芸高田市総合計画	51
3-1-6 第3次三次市総合計画	52

3-2 地域公共交通計画	53
3-2-1 江津市地域公共交通計画	53
3-2-2 川本町地域公共交通計画	54
3-2-3 美郷町地域公共交通計画	55
3-2-4 邑南町地域公共交通計画	56
3-2-5 安芸高田市地域公共交通計画	57
3-2-6 三次市地域公共交通計画	58
3-3 立地適正化計画	59
3-3-1 江津市立地適正化計画	59
3-3-2 川本町立地適正化計画	60
3-3-3 安芸高田市都市計画マスタープラン・立地適正化計画	61
3-3-4 三次市立地適正化計画	60
IV. 各種調査・意見交換会の実施状況	63
4-1 三江線代替交通利用者アンケート調査	63
4-1-1 実施概要	63
4-1-2 アンケート調査結果	64
4-1-3 アンケート用紙	81
4-2 事業者等ヒアリング調査	82
4-2-1 実施概要	82
4-3 パブリックコメント	82
V. 計画の基本方針	83
5-1 本編 将来ネットワーク図の補足	83
5-2 本編 KPI 目標及び評価指標の補足	84
5-2-1 KPI 項目の一覧	84
5-2-2 各 KPI 目標項目及び評価指標の算出根拠	85
VI. 三江線沿線地域公共交通活性化協議会	90
6-1 ワーキンググループ及び法定協議会	90
6-2 公共交通活性化協議会規約・委員名簿	91
6-2-1 三江線沿線地域公共交通活性化協議会規約	91
6-2-2 三江線沿線地域公共交通活性化協議会ワーキンググループ設置規程	94

I. はじめに

1-1 計画策定の経緯

1-1-1 再編前(JR 三江線)

○JR 三江線は以下のように運行されていましたが、平成 30 年 3 月 31 日で廃止となりました。



図 1 旧 JR 三江線の路線図

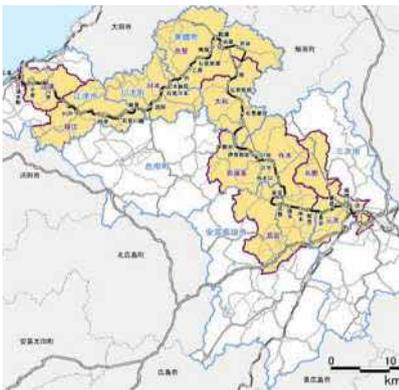
表 1 旧 JR 三江線の時刻表(抜粋)

江津⇒三次									
江津	発		5:53	12:34		15:15	16:33		19:08
川戸	発		6:23	13:04		15:45	17:03		19:38
因原	発		6:56	13:37		16:18	17:36		20:11
石見川本	着		7:02	13:43		16:24	17:42		20:17
明塚	発		7:02	14:00		16:25	17:48		20:18
粕淵	発		7:31	14:29		16:54	18:17		20:47
浜原	着		7:38	14:37		17:00	18:24		20:54
石見都賀	着		7:42	14:41		17:04	18:28		20:57
宇都井	発	5:56	7:43			17:06		19:01	
口羽	発	6:20	8:07			17:30		19:25	
香淀	発	6:27	8:14			17:37		19:32	
三長	着	6:35	8:22			17:45		19:40	
三長	発	6:37	8:23		15:17	18:01		19:41	
三長	着	6:57	8:43		15:38	18:22		20:01	
三長	着	7:20	9:06		レ	レ		レ	
三長	着	7:35	9:21		16:15	18:59		20:40	
三次⇒江津									
三長	発		5:38	10:02		14:11		17:02	19:34
香淀	発		レ	レ		14:26		17:17	19:49
口羽	着		6:15	10:40		14:49		17:40	20:13
宇都井	着		6:35	11:00		15:09		18:00	20:32
石見都賀	着		7:03	11:00				18:00	20:33
浜原	着		7:12	11:09				18:09	20:41
粕淵	着		7:19	11:16				18:16	20:49
明塚	着		7:42	11:39				18:39	21:11
石見川本	着	6:20	7:43	11:39			17:08		19:03
因原	着	6:24	7:47	11:44			17:12		19:08
川戸	着	6:31	7:54	11:50			17:19		19:15
江津	着	6:59	8:22	12:18			17:47		19:42
江津	着	7:03	8:23		13:45		17:48		20:18
川戸	着	7:10	8:29		13:51		17:55		20:25
因原	着	7:42	9:01		14:23		18:26		20:57
江津	着	8:12	9:31		14:54		18:57		21:27

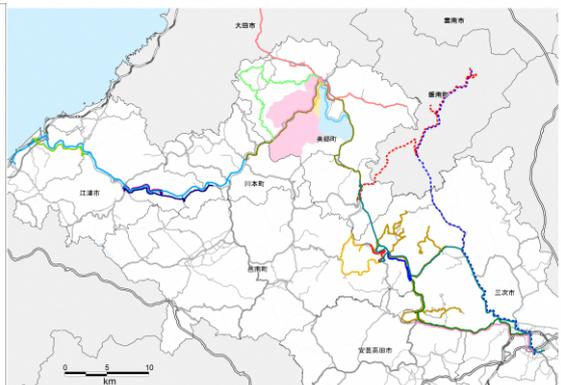
1-1-2 再編時の経緯

表 2 計画策定までの経緯

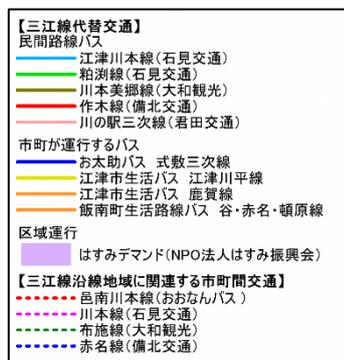
H28.9	JR 西日本による JR 三江線廃止表明		
H28.10	三江線沿線地域公共交通活性化協議会 発足		
H29.9	三江線沿線地域公共交通計画 策定 (旧三江線沿線地域公共交通網形成計画) 右記のとおり各時期に一部改訂	R1.11	14 路線から 10 路線に編成
		R4.6	新型コロナウイルス感染症の影響により、計画期間を令和 7 年度まで 3 年延長
		R6.2	国の補助制度に連動化
		R6.4	式敷三次線の運行業者変更
H29.12	三江線沿線地域公共交通利便増進実施計画 策定 (旧三江線沿線地域公共交通再編実施計画) R2.1 / R3.2 / R4.3 / R4.9 / R6.3 / R6.4 / R6.9 一部改訂	2 段階の再編により三江線沿線地域における公共交通ネットワークの再構築を目指す計画	
H30.3	JR 三江線廃止		
H30.4	三江線代替交通 運行開始		
R2.4	三江線代替交通 三江線沿線地域公共交通利便増進実施計画に従い第 2 段階の運行に移行 (14 路線から 10 路線に編成)		
R2.12~R3.3	三江線沿線地域公共交通計画 評価検証 実施		
R3.10~R4.2	三江線沿線地域代替交通に関する調査・分析業務 実施		
R6.10~R7.3	三江線沿線地域公共交通計画策定支援業務 実施		



▲旧JR三江線路線図と三江線沿線地域(黄着色部)



▲第1段階実施後の公共交通ネットワーク(三江線代替交通)



▶第 2 段階実施後の公共交通ネットワーク(三江線代替交通と関連路線)

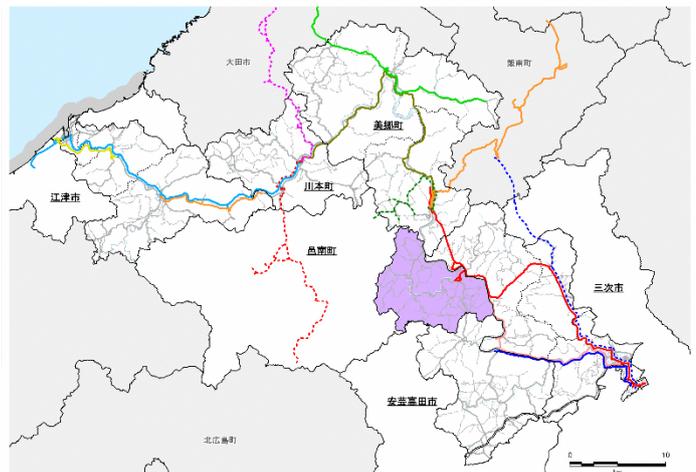


図 2 三江線沿線地域の公共交通ネットワークの変遷

表 3 路線再編の状況一覧

分類	区間または自治体名	再編前(JR 三江線廃線前) (14 路線)	第 1 段階再編後 (14 路線)	第 2 段階再編後 (10 路線)
		H30.3 時点	H30.4～	R2.4～
市町間交通	三江線沿線全区間	JR 三江線	-	-
	江津～川本間	<ul style="list-style-type: none"> ●^{※1}石見交通 川戸線 ●江津市生活バス 川戸線 ●江津市生活バス 坂本線 ●江津高校・江津工業高校スクールバス ●島根中央高校スクールバス 	<ul style="list-style-type: none"> ●石見交通 江津川本線 ●江津市生活バス 江津川平線 ●江津市生活バス 田津線 ●江津市生活バス 鹿賀線 	<ul style="list-style-type: none"> ●石見交通 江津川本線 ●江津市生活バス 江津川平線 ●江津市生活バス 鹿賀線
	川本～大和間	<ul style="list-style-type: none"> ●石見交通 粕淵線 ●美郷町町営バス 邑智循環線(石見川本～粕淵) ●美郷町町営バス 粕淵都賀線 ●島根中央高校スクールバス ●渋沢デマンドバス 	<ul style="list-style-type: none"> ●大和観光 川本美郷線 ●石見交通 粕淵線 (酒谷～大田バスセンター) □美郷町町営バス 粕淵竹線 (君谷経由) □駅>タクシー 明塚線 (区域型運行) □駅>タクシー 乙原線 (区域型運行) □駅>タクシー 信喜線 (区域型運行) 	<ul style="list-style-type: none"> ●大和観光 川本美郷線 ●石見交通 粕淵線 (酒谷～大田バスセンター) ○^{※2}石見交通 川本線 ○邑南町町営バス 邑南川本線 □^{※3}美郷町町営バス 粕淵竹線(君谷経由) □明塚線(タクシー利用助成) □駅>タクシー 乙原線 (区域型運行) □駅>タクシー 信喜線 (区域型運行)
	大和～三次間	<ul style="list-style-type: none"> ●備北交通 作木線 ●備北交通 赤名線 ●飯南町営バス 谷・赤名・頓原線 ●三次市民バス 作木町線 	<ul style="list-style-type: none"> ●備北交通 作木線 ●おおなんバス 宇都井口羽線 ●おおなんバス 引城区域運行 ●おおなんバス 江平上ヶ畑区域運行 ●君田交通 川の駅三次線 ●三次市民バス 作木町線 ●織田産業・芸北タクシー 式敷三次線 ●飯南町営バス 谷・赤名・頓原線 ○備北交通 赤名線 	<ul style="list-style-type: none"> ●備北交通 作木線 ●NPO はすみ振興会 羽須美区域運行 ●君田交通 川の駅三次線 ●織田産業(現在は甲立タクシー)・芸北タクシー 式敷三次線 ●飯南町営バス 谷・赤名・頓原線 ○備北交通 赤名線 ○大和観光 布施線

※1 表中の●付の路線は三江線代替交通として整理

※2 表中の○付の路線は三江線沿線地域に関連する市町間交通として整理

※3 表中の□付の路線は三江線代替交通でない市町内交通として整理

第1段階目の再編により、JR 三江線の廃線後の三江線沿線地域公共交通ネットワークの概形を形成しました。これにより、再編後の対象全路線の合計収支率は 15.4%^{※4}と、再編前の 4.1%から大きく改善しました^{※5}。さらに、概形を一旦形成したのち、2年後に路線を見直すという2段階の再編を計画的に進め、令和2年4月に現在の三江線沿線地域公共交通ネットワークを構築し、令和6年度の合計収支率実績値は 16.5%となっています。

※4 再編後の対象全路線の合計収支率は、国土交通省の資料中で 16.5%と表記されているが、平成 30 年 3 月に 15.4%へ修正

※5 再編前の各路線の収支率の集計期間は平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月を基本としている。ただし、集計時の都合により平成 28 年バス事業年度(平成 27 年 10 月～平成 28 年 9 月)とした場合もある。また、再編後の各路線の収支率は平成 29 年 10 月時点での見込数値から算出した。

表 4 路線ごとの経緯

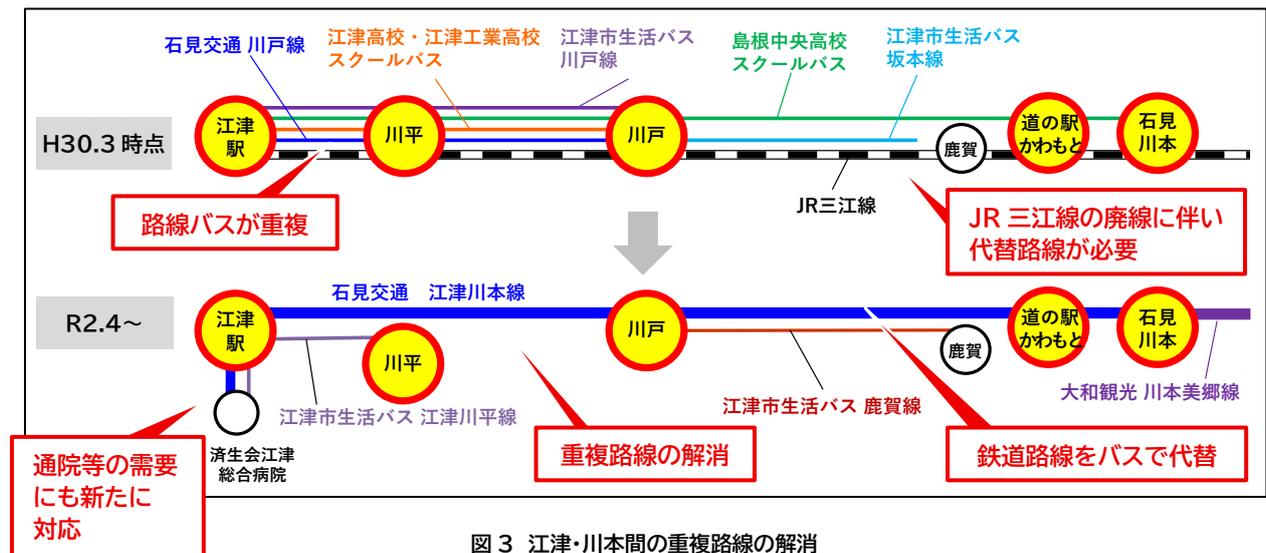
区間または自治体名	路線名	時期	対応	理由
江津～川本間	●*1 石見交通(株) 川戸線	第1段階再編時	廃止	重複路線解消のため江津川本線へ統合
	●江津市生活バス 川戸線	第1段階再編時	廃止	重複路線解消のため江津川本線へ統合
	●江津市生活バス 坂本線	第1段階再編時	廃止	重複路線解消のため江津川本線へ統合
	●江津高校・江津工業高校スクールバス	第1段階再編時	廃止	重複路線解消のため江津川本線へ統合
	●石見交通(株) 江津川本線	第1段階再編時	新設	重複路線統合し市町間交通として位置付け
	●江津市生活バス 田津線	第1段階再編時	新設	新たに市町内交通(江津川本線の補完路線)として新設
		第2段階再編時	廃止	江津川本線及び鹿賀線により住民の移動手段が確保できることや、全体の収支率向上に資することから、地元住民と協議の上、廃止
	●江津市生活バス 鹿賀線	第1段階再編時	新設	JR 三江線沿線地域の移動手段確保のための市町内交通を新設
●江津市生活バス 江津川平線	第1段階再編時	新設	JR 三江線沿線地域の移動手段確保のための市町内交通を新設	
江津～川本～大和間	●島根中央高校スクールバス	第1段階再編時	廃止	重複路線解消のため江津川本線及び川本美郷線へ統合
川本～大和間	●渋沢デマンドバス	第1段階再編時	廃止	粕刈線の延伸に伴い廃止
	●美郷町町営バス 邑智循環線(石見川本～粕刈)	第1段階再編時	廃止	循環線の形式を見直し、役割ごとに市町間交通の川本美郷線、市町内交通の粕刈竹線、乙原線(区域型運行)に再編
	●美郷町町営バス 粕刈都賀線	第1段階再編時	廃止	粕刈～大和間の粕刈都賀線を見直して、市町間交通の川本美郷線へ統合
	●大和観光(株) 川本美郷線	第1段階再編時	新設	重複路線統合し市町間交通として位置付け
	●石見交通(株) 粕刈線(酒谷～大田バスセンター)	第1段階再編時	変更	JR 三江線沿線地域の移動手段確保のための市町内交通として、渋沢デマンドバスと統合し延伸
	□*2 美郷町町営バス 粕刈竹線(君谷経由)	第1段階再編時	新設	邑智循環線を見直し、市町内交通として位置付け
	□駅>タクシー 明塚線(区域型運行) ⇒タクシー利用助成	第1段階再編時	新設	JR 三江線沿線地域の移動手段確保のための市町内交通を新設
		第2段階再編時	変更	住民ニーズから、区域型運行を見直し、タクシー利用助成を導入
	□駅>タクシー 乙原線(区域型運行)	第1段階再編時	新設	邑智循環線を見直し、市町内交通として位置付け
	□駅>タクシー(有) 信喜線(区域型運行)	第1段階再編時	新設	粕刈都賀線を見直し、JR 三江線沿線地域の移動手段確保のための市町内交通として新設
	○*3 石見交通(株) 川本線	第2期計画策定時	追加	三江線沿線地域に関連する市町間交通として追加
	○邑南町町営バス 邑南川本線	第2期計画策定時	追加	三江線沿線地域に関連する市町間交通として追加

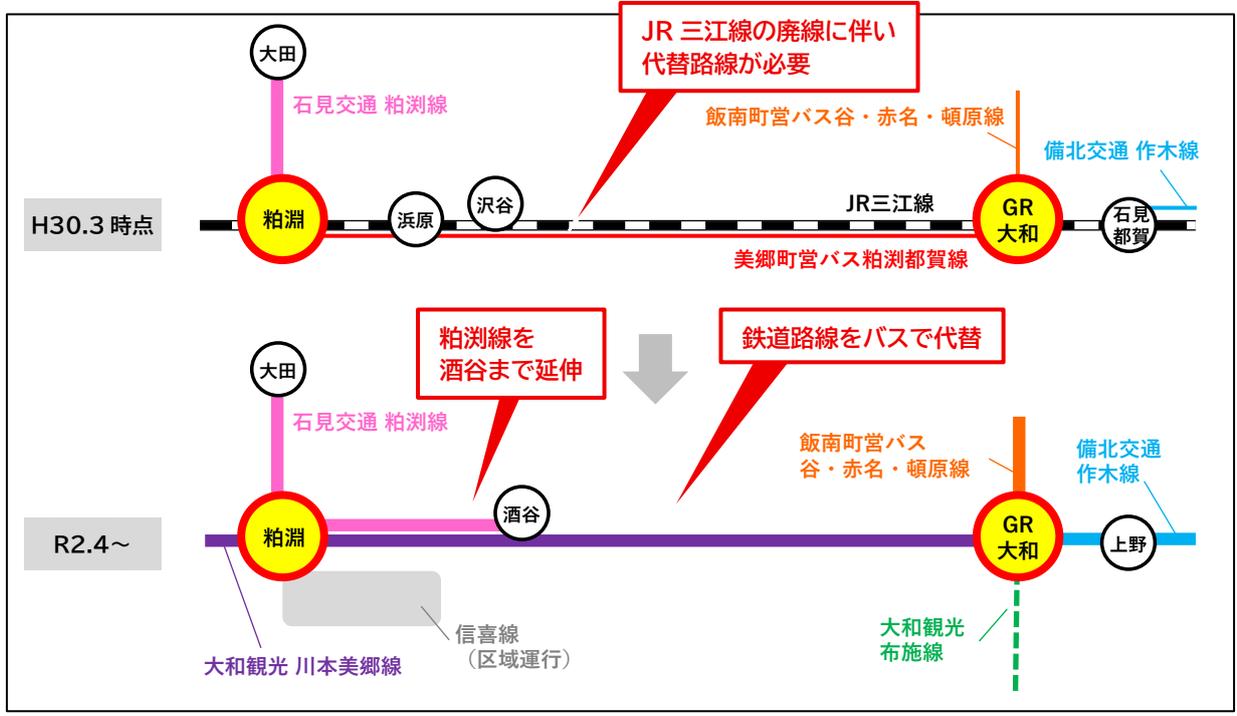
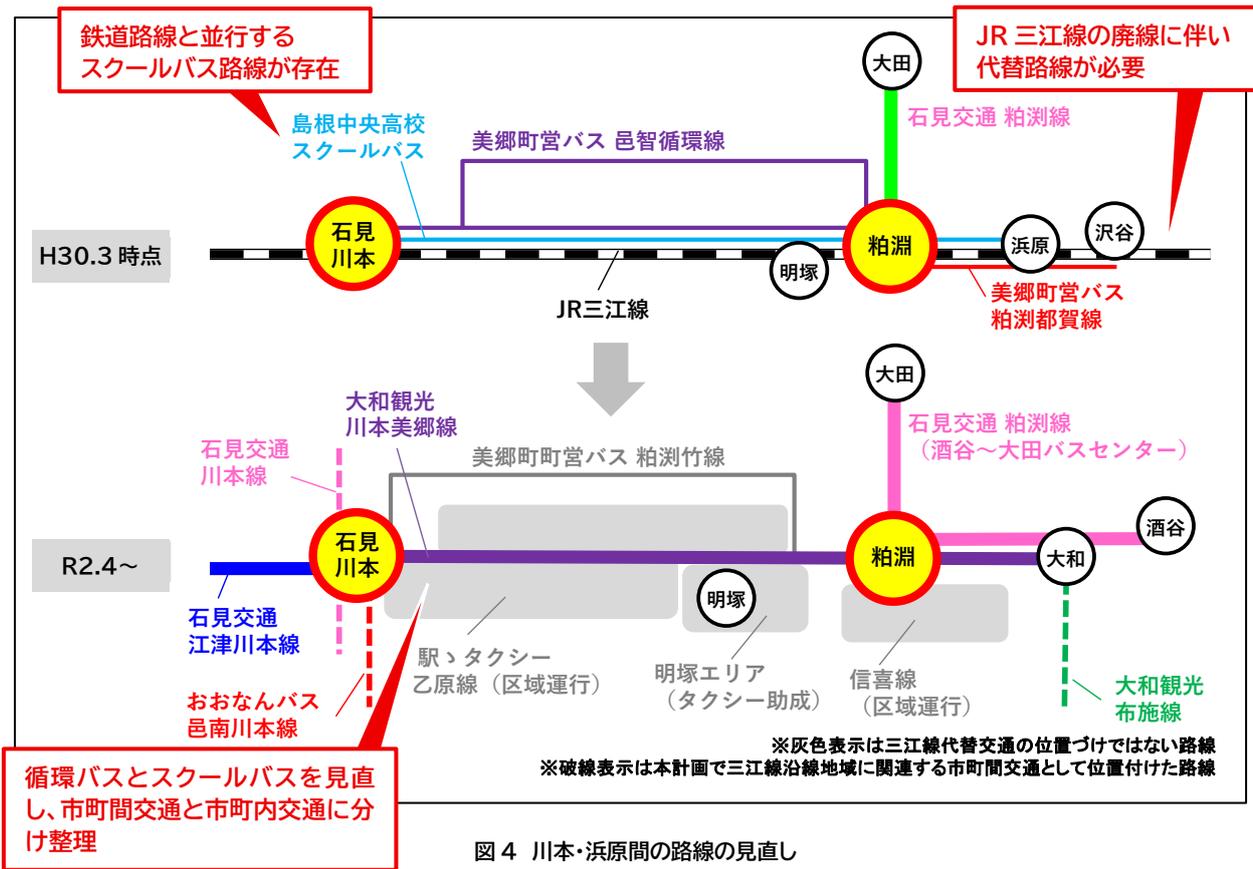
大和～三次間	●備北交通(株) 作木線	第1段階再編時	変更	役割を見直し、市町間交通として位置付け GR 大和及び私立三次中央病院まで延伸
	○備北交通(株) 赤名線	第1段階再編時	変更	役割を見直し、三江線沿線地域に関連する市町間交通として位置付け 赤名で谷・赤名・頓原線と接続となるように変更
	●飯南町営バス 谷・赤名・頓原線	第1段階再編時	変更	役割を見直し、市町間交通として位置付け
	●三次市民バス 作木町線	第1段階再編時	変更	市町内交通として位置付け、一部ルート見直し
	●織田産業(甲立タクシー) ・芸北タクシー 式敷三次線	第1段階再編時	新設	新たに市町間交通として新設
	●おおなんバス 宇都井口羽線	第1段階再編時	新設	JR 三江線沿線地域の移動手手段確保のための市町内交通を新設
		第2段階再編時	廃止	地域の実情にあった効率的な運行とするため羽須美区域運行へ統合
	●おおなんバス 引城区域運行	第1段階再編時	新設	JR 三江線沿線地域の移動手手段確保のための市町内交通を新設
		第2段階再編時	廃止	地域の実情にあった効率的な運行とするため羽須美区域運行へ統合
	●おおなんバス 江平上ヶ畑区域運行	第1段階再編時	新設	JR 三江線沿線地域の移動手手段確保のための市町内交通を新設
		第2段階再編時	廃止	地域の実情にあった効率的な運行とするため羽須美区域運行へ統合
	●(有)君田交通 川の駅三次線	第1段階再編時	新設	作木町線を見直すとともに、新たに市町間交通として新設
●NPO はすみ振興会 羽須美区域運行	第2段階再編時	新設	おおなんバスを見直し、JR 三江線沿線地域の移動手手段確保のための市町内交通を新設	
○大和観光(株) 布施線	第2期計画策定時	追加	三江線沿線地域に関連する市町間交通として追加	

※1 表中の●付の路線は三江線代替交通として整理

※2 表中の□付の路線は三江線代替交通でない市町内交通として整理

※3 表中の○付の路線は三江線沿線地域に関連する市町間交通として整理





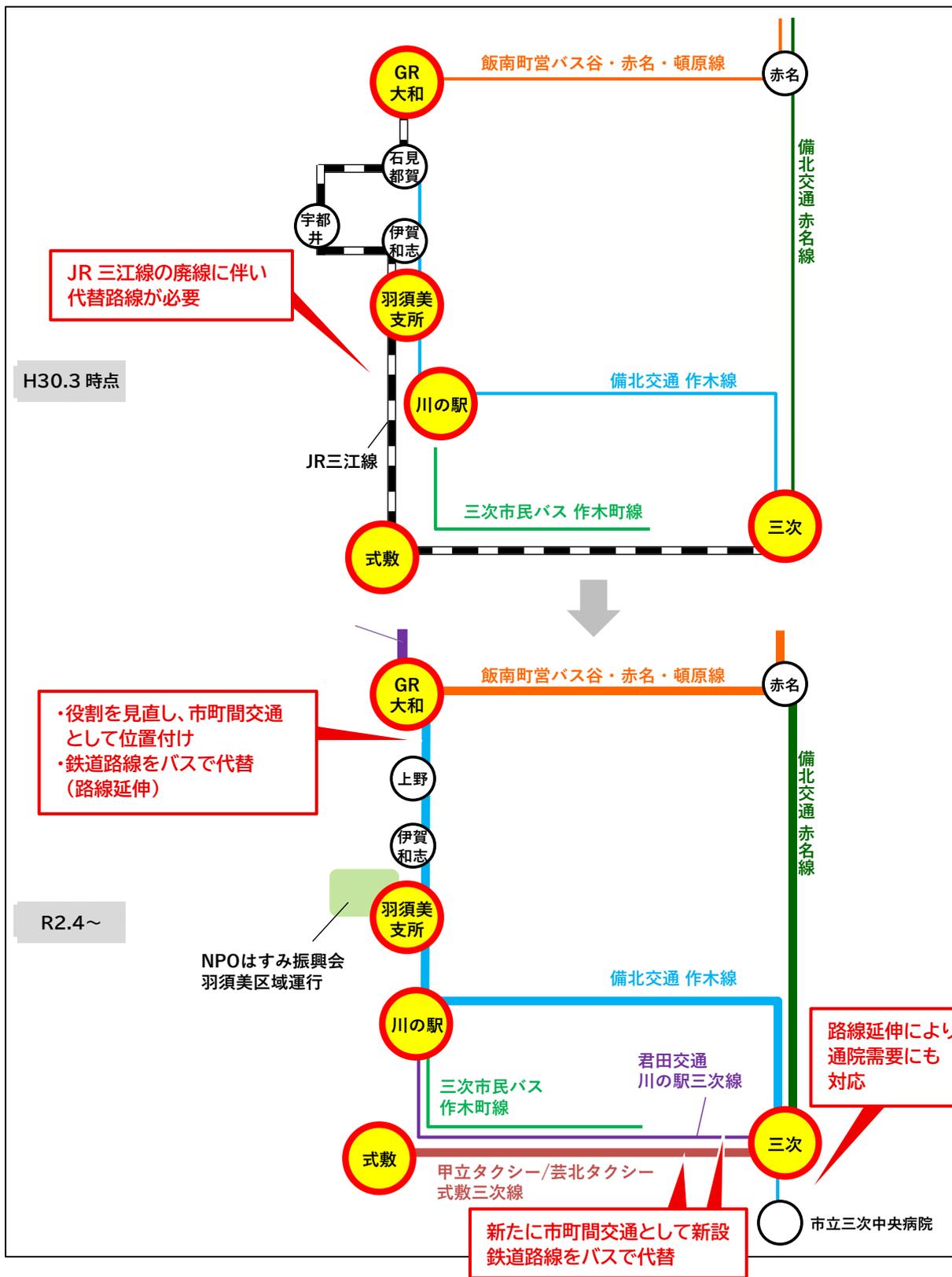


図 6 大和・三次間の路線の見直し

1-2 計画の区域一覧

○本計画の区域は、以下のとおりです。

表5 区域一覧

市町名	区 域 名				
江津市	渡津町	桜江町坂本	桜江町大貫	松川町下河戸	松川町長良
	金田町	桜江町市山	桜江町谷住郷	松川町市村	松川町畑田
	江津町	桜江町鹿賀	桜江町長谷	松川町上河戸	松川町八神
	桜江町後山	桜江町小田	桜江町田津	松川町上津井	川平町南川上
	桜江町江尾	桜江町川越	桜江町八戸	松川町太田	川平町平田
	桜江町今田	桜江町川戸			
川本町	大字因原	大字三俣	大字川内	大字谷戸	大字南佐木
	大字久座仁	大字小谷	大字川本	大字田窪	大字馬野原
	大字三原	大字川下	大字多田	大字湯谷	大字北佐木
美郷町	奥山	吾郷	上川戸	潮村	櫛谷
	乙原	港	上野	長藤	比敷
	亀村	高山	信喜	都賀行	浜原
	久喜原	高畑	石原	都賀西	別府
	久保	志君	千原	都賀本郷	片山
	宮内	酒谷	惣森	湯抱	明塚
	京覧原	小松地	村之郷	内田	野井
	九日市	小谷	滝原	粕淵	築瀬
邑南町	熊見	小林	地頭所		
	戸河内	阿須那	木須田	宇都井	今井
安芸高田市	雪田	上口羽	下口羽	上田	
	高宮町羽佐竹	高宮町佐々部	高宮町船木	高宮町房後	高宮町来女木
三次市	高宮町原田	高宮町川根			
	粟屋町	作木町森山東	十日市西一丁目	十日市東三丁目	十日市南七丁目
	作木町伊賀和志	作木町西野	十日市西六丁目	十日市東四丁目	十日市南二丁目
	作木町岡三淵	作木町大山	十日市中一丁目	十日市東二丁目	十日市南六丁目
	作木町下作木	作木町大津	十日市中三丁目	十日市東六丁目	西酒屋町
	作木町光守	作木町大島	十日市中四丁目	十日市南一丁目	東酒屋町
	作木町香淀	作木町門田	十日市中二丁目	十日市南五丁目	日下町
	作木町上作木	三原町	十日市町	十日市南三丁目	布野町下布野
	作木町森山西	三次町	十日市東一丁目	十日市南四丁目	布野町上布野
作木町森山中	山家町	十日市東五丁目			

2-2 人口

2-2-1 人口の推移

(1) 三江線沿線市町

○沿線市町の人口構成比は三次市が 43.0%と最も高く、次いで安芸高田市(22.4%)、江津市(19.5%)の順に高くなっています。

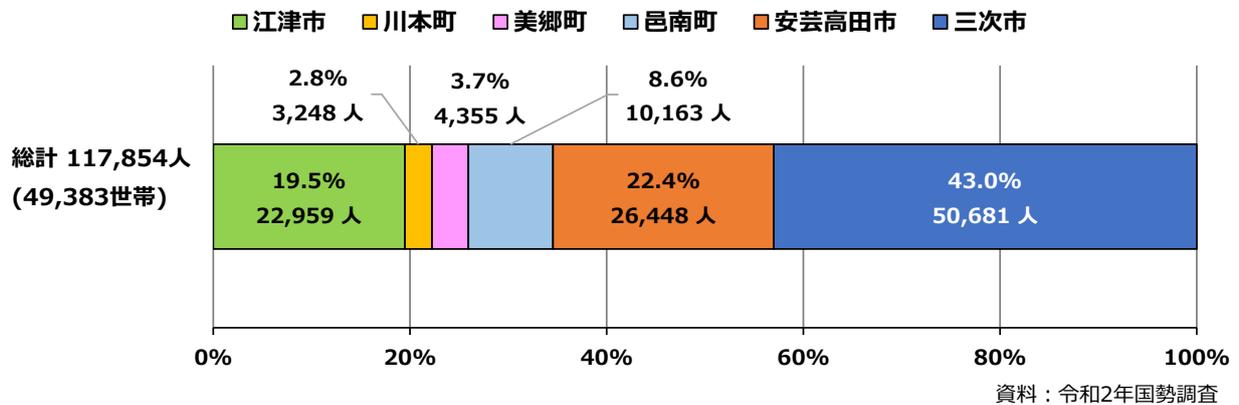


図8 三江線沿線市町の人口構成

○沿線市町の人口は全体的に減少傾向にあり、国立社会保障・人口問題研究所の推計では、令和17年には合計人口が10万人を下回り、9.3万人まで減少すると予測されています。

○沿線市町の高齢化率は上昇傾向にあり、令和17年には42.7%になる見込みです。

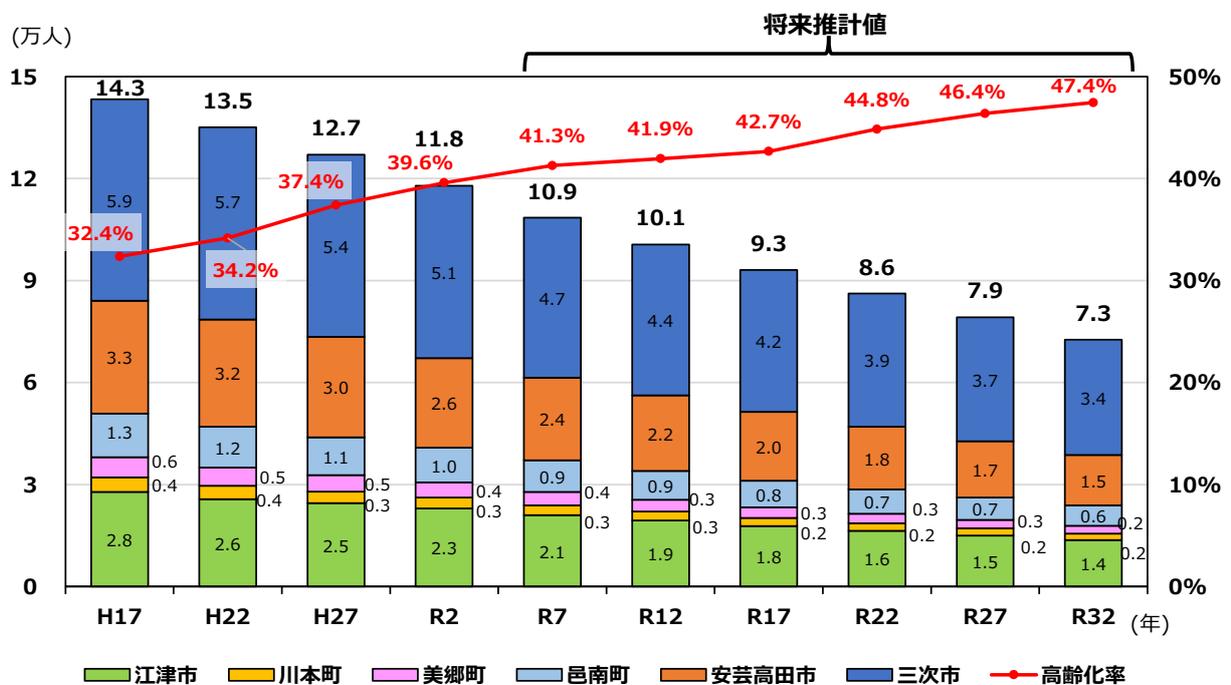
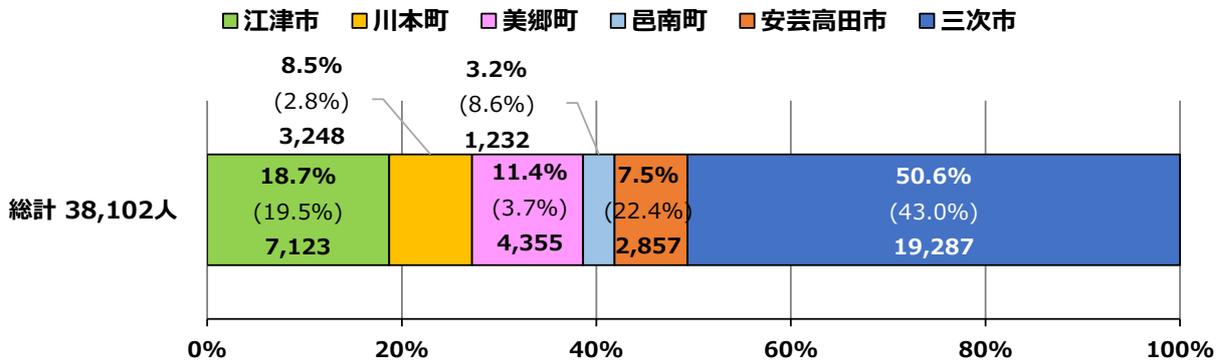


図9 三江線沿線市町の人口・高齢化率の推移と将来予測

(2)対象区域内

○本計画の対象区域内の人口構成比は三次市が 50.6%と最も高く、次いで江津市(18.7%)、美郷町(11.4%)の順に高くなっています。



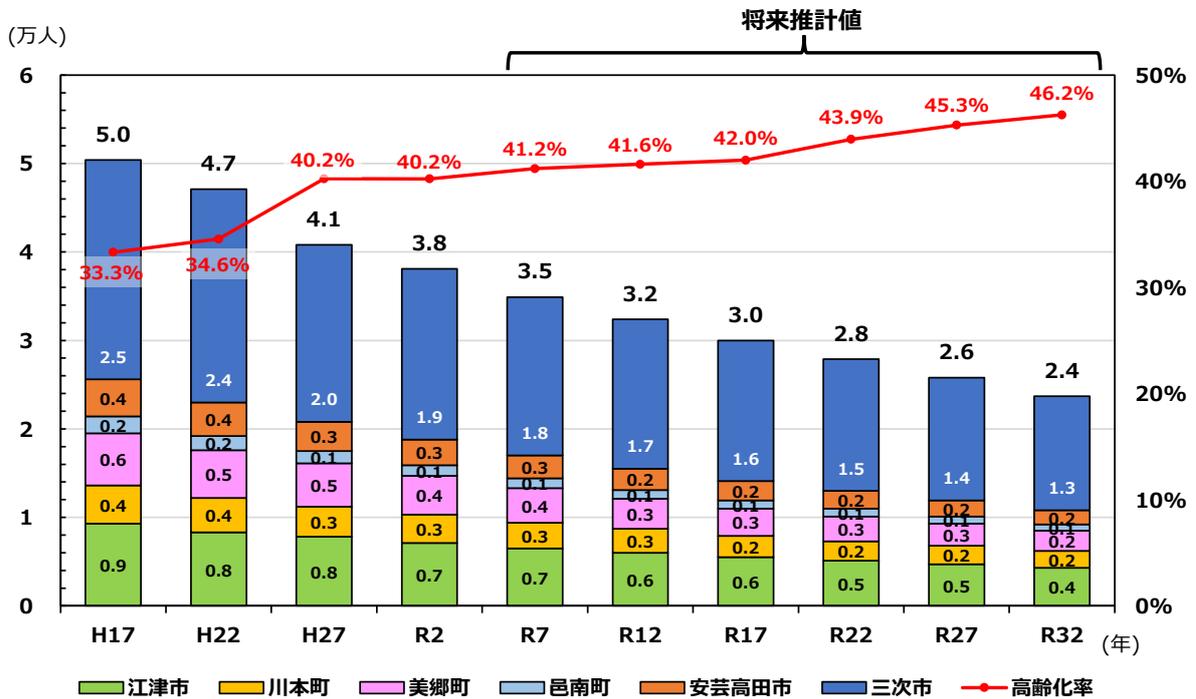
※グラフ中()の数値は三江線沿線市町全体の人口構成比

資料:令和2年国勢調査

図 10 対象区域内の人口構成比

○対象区域内の人口も減少傾向にあり、国立社会保障・人口問題研究所の推計を基にした概算値では、令和32年には合計人口が2.4万人まで減少すると考えられます。

○高齢化率は上昇傾向にあり、令和32年には46.2%となる見込です。



資料:平成17年～令和2年国勢調査(年齢不詳者を除く)、令和7年～令和27年 国立社会保障・人口問題研究所(令和5年12月推計値)の推移を基にした概算値

図 11 対象区域内の人口・高齢化率の推移と将来予測

2-2-2 人口流動

○沿線市町の通勤による人口流動は、島根県、広島県ともに県内の沿線市町間を流動する割合が高くなっています。特に、三次市から安芸高田市への流入割合は95.7%、安芸高田市から三次市への流入割合は86.7%と相互に高い割合です。

○県境を越えた流動はほとんど見られませんが、美郷町からの流出のうち、三次市への流出が19.4%、邑南町からの流出のうち、三次市への流出が12.2%となっており、三次市への流動が一定数見られます。

表6 三江線沿線市町の通勤による人口流動

主となる市町	江津市		川本町		美郷町		邑南町		安芸高田市		三次市	
	流入	流出										
江津市		11.8%	35.3%	30.6%	20.0%	6.6%	32.0%	20.6%	0.0%	0.1%	0.0%	0.1%
川本町	41.4%	48.6%		1.3%	38.3%	40.1%	32.6%	46.4%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%
美郷町	12.1%	6.6%	26.9%	18.7%		1.6%	28.7%	10.2%	0.1%	0.0%	7.6%	1.0%
邑南町	45.4%	32.9%	37.4%	49.4%	33.9%	32.0%		2.1%	4.2%	1.1%	5.8%	1.7%
安芸高田市	0.6%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.3%	2.5%	8.6%		15.9%	86.7%	84.0%
三次市	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	7.8%	19.4%	4.2%	12.2%	95.7%	82.7%		13.2%
三江線沿線地域 小計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

資料:令和2年国勢調査

○沿線市町の通学による人口流動は、島根県、広島県ともに県内の沿線市町間を流動する割合が高く、県境を越えた流出入の割合はいずれも0%となっています。

表7 三江線沿線市町の通学による人口流動

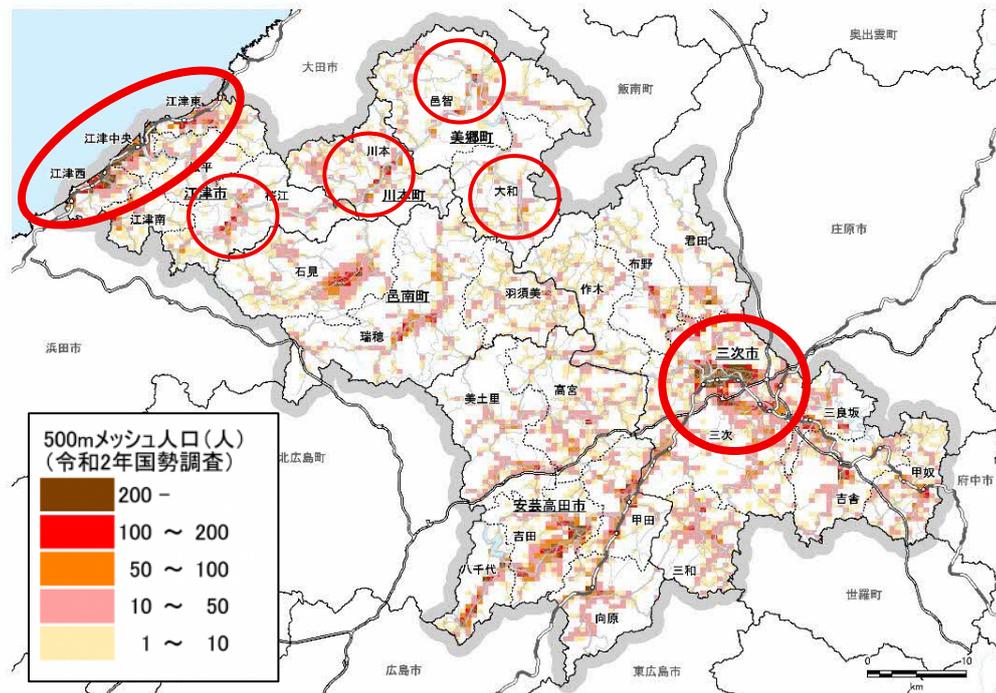
主となる市町	江津市		川本町		美郷町		邑南町		安芸高田市		三次市	
	流入	流出	流入	流出	流入	流出	流入	流出	流入	流出	流入	流出
江津市		19.4%	46.0%	14.3%	0.0%	13.3%	11.1%	35.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
川本町	16.7%	74.2%		14.3%	0.0%	63.3%	55.6%	47.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
美郷町	33.3%	0.0%	38.0%	0.0%		3.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
邑南町	50.0%	6.5%	16.0%	71.4%	0.0%	20.0%		17.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
安芸高田市	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		5.5%	100.0%	54.2%
三次市	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	94.5%		45.8%
三江線沿線地域 小計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

資料:令和2年国勢調査

※表中の「流入」は、主となる市町への流入数全体に対する、従となる市町から主となる市町への流入数の割合を表す。
 ※表中の「流出」は、主となる市町からの流出数全体に対する、主となる市町から従となる市町への流出数の割合を表す。
 ※表6、表7について、従業・通学市区町村を特定できない場合は、常住市区町村と同じ市区町村に計上している。

2-2-3 人口分布

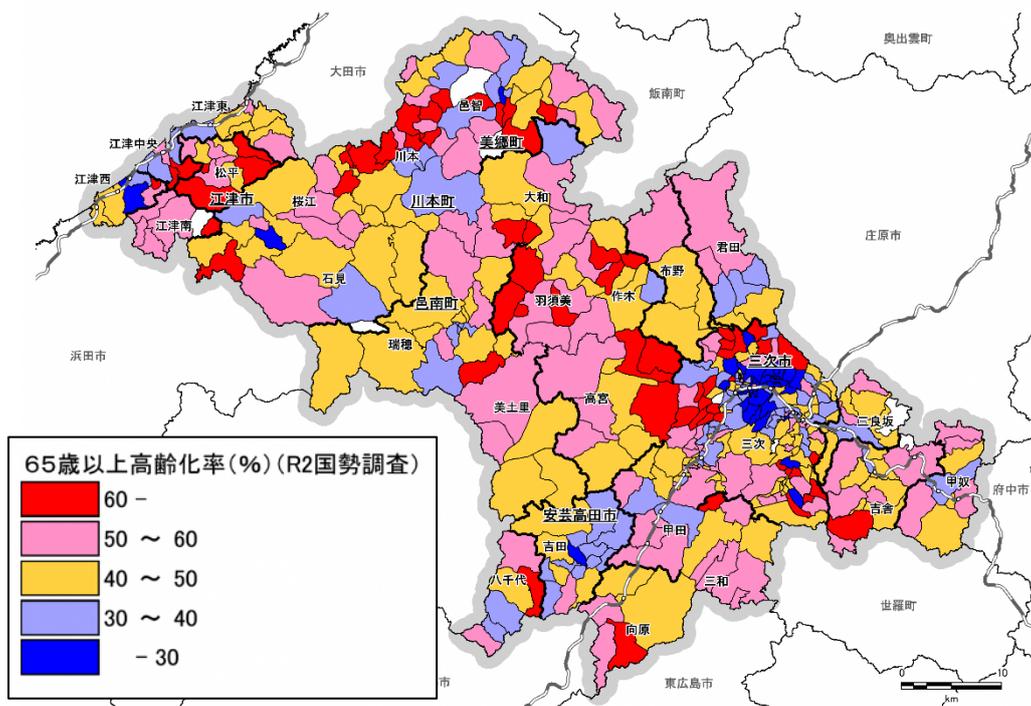
○三江線沿線地域では、江津市や三次市の中心部において特に人口が集積しています。その他の地域では、江津市（桜江）、川本町、美郷町（邑智・大和）の中心部などで人口集積が見られます。



資料: 令和2年国勢調査

図12 三江線沿線市町の人口分布(500mメッシュ)

○65歳以上の高齢者の割合を示す高齢化率は、特に市町の中心部から離れた沿線地域（邑南町・安芸高田市・三次市）で高くなっています。この他にも江津市（桜江）や美郷町（邑智）において高齢化率が高い状況にあります。



資料: 令和2年国勢調査

図13 三江線沿線市町の小地域別高齢化率

2-3 運転免許保有率の状況

○65歳以上の運転免許保有率は三江線沿線市町平均が66.3%で、市町別では邑南町及び三次市が最も高く67.9%、江津市が最も低く61.8%となっています。

○65歳以上の運転免許保有率は全国平均54.8%※1と比べると高い一方、運転免許を保有していない割合も3割以上あります。

表8 三江線沿線市町における年齢別運転免許保有率

項目	市町名	合計	20歳未満	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80歳以上	65歳以上
運転免許保有者数 (A)	江津市	14,244	163	1,204	1,442	2,302	2,480	1,296	1,469	1,595	1,378	915	5,357
	川本町	1,959	31	170	202	268	324	135	183	230	224	192	829
	美郷町	2,751	36	189	248	415	401	185	313	335	332	297	1,277
	邑南町	6,403	69	421	574	897	1,019	478	657	780	781	727	2,945
	安芸高田市	17,625	209	1,446	1,699	2,584	3,106	1,427	1,736	1,954	1,898	1,566	7,154
	三次市	33,464	382	3,102	3,865	5,328	6,067	2,703	3,173	3,380	3,060	2,404	12,017
	合計	76,446	890	6,532	8,030	11,794	13,397	6,224	7,531	8,274	7,673	6,101	29,579
住民基本台帳人口 (B)	江津市	21,202	3,020	1,417	1,657	2,452	2,580	1,414	1,663	1,948	1,826	3,225	8,662
	川本町	2,940	440	178	213	303	326	157	202	276	283	562	1,323
	美郷町	4,004	571	186	261	420	420	214	327	419	408	778	1,932
	邑南町	9,467	1,324	503	657	973	1,103	570	739	899	883	1,816	4,337
	安芸高田市	26,041	3,431	2,191	2,030	2,852	3,291	1,576	1,952	2,301	2,345	4,072	10,670
	三次市	47,904	7,453	3,699	4,275	5,687	6,170	2,930	3,445	3,934	3,742	6,569	17,690
	合計	111,558	16,239	8,174	9,093	12,687	13,890	6,861	8,328	9,777	9,487	17,022	44,614
運転免許保有率 (A/B)	江津市	67.2%	5.4%	85.0%	87.0%	93.9%	96.1%	91.7%	88.3%	81.9%	75.5%	28.4%	61.8%
	川本町	66.6%	7.0%	95.5%	94.8%	88.4%	99.4%	86.0%	90.6%	83.3%	79.2%	34.2%	62.7%
	美郷町	68.7%	6.3%	101.6%	95.0%	98.8%	95.5%	86.4%	95.7%	80.0%	81.4%	38.2%	66.1%
	邑南町	67.6%	5.2%	83.7%	87.4%	92.2%	92.4%	83.9%	88.9%	86.8%	88.4%	40.0%	67.9%
	安芸高田市	67.7%	6.1%	66.0%	83.7%	90.6%	94.4%	90.5%	88.9%	84.9%	80.9%	38.5%	67.0%
	三次市	69.9%	5.1%	83.9%	90.4%	93.7%	98.3%	92.3%	92.1%	85.9%	81.8%	36.6%	67.9%
	合計	68.5%	5.5%	79.9%	88.3%	93.0%	96.5%	90.7%	90.4%	84.6%	80.9%	35.8%	66.3%

※運転免許保有者数:各管轄警察署 2025年9月30日時点

※住民基本台帳人口:総務省 2025年1月1日時点

※1 運転免許保有率の全国平均の算出は以下を参照した。

総務省統計局 全国人口確定値 令和6年1月1日現在

警察庁 運転免許統計令和5年度版 65歳以上運転免許保有者数 令和5年末時点

2-4 移動の目的地となる施設の分布

2-4-1 公共施設

○江津市、川本町、美郷町、三次市では、三江線沿線区域内に市役所や役場が位置していますが、邑南町、安芸高田市では三江線沿線区域から離れています。

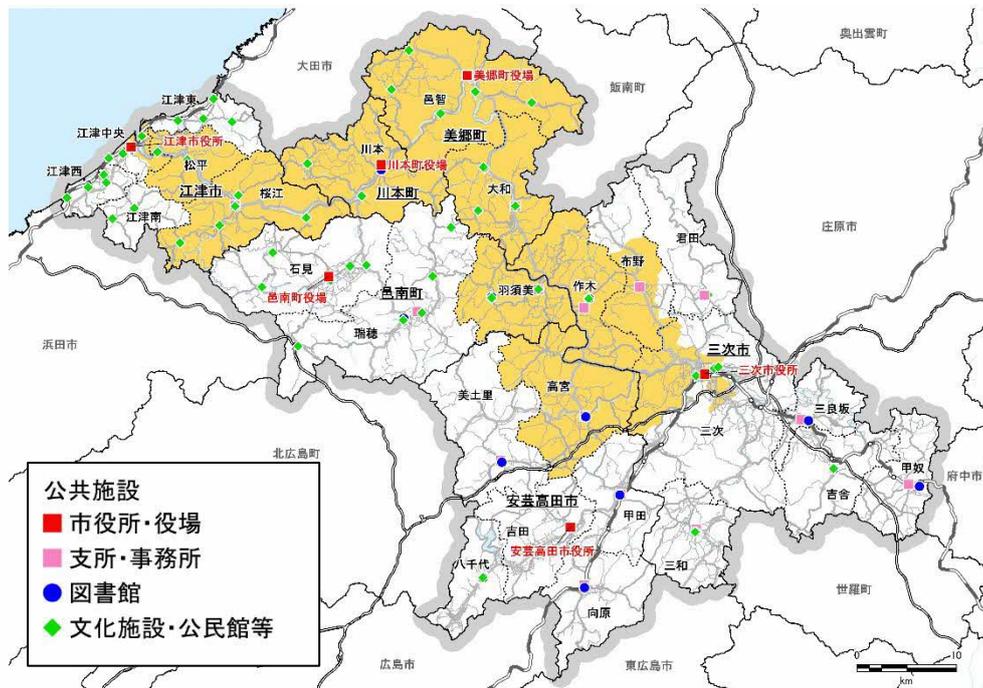


図 14 公共施設の分布

2-4-2 教育機関

○江津市、三次市を中心に複数の教育機関が分布しており、三江線沿線区域内には川本町に島根中央高校があります。

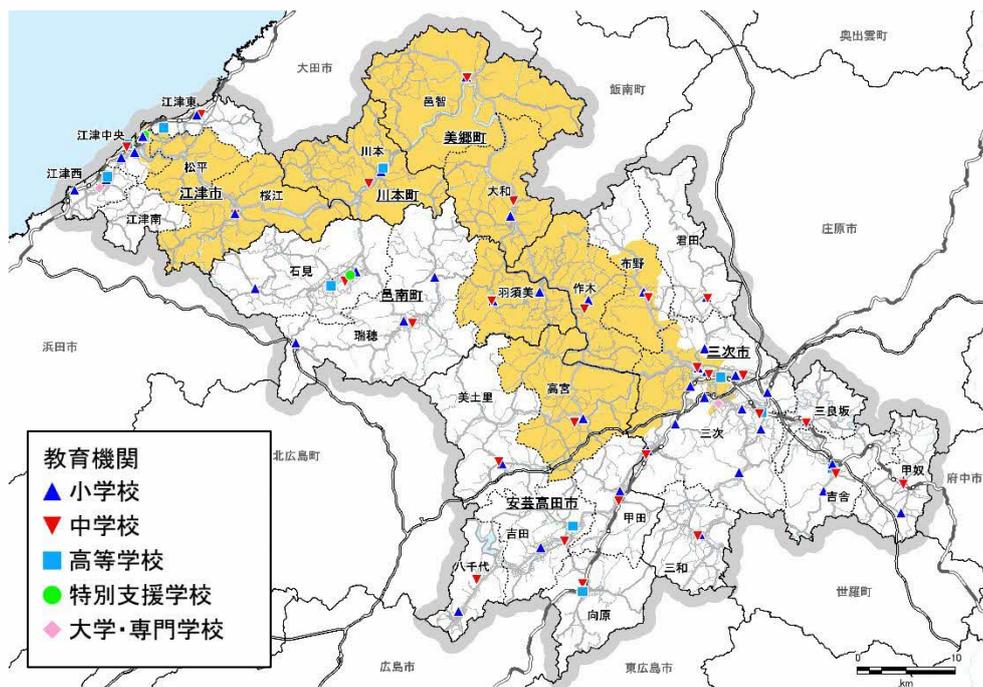
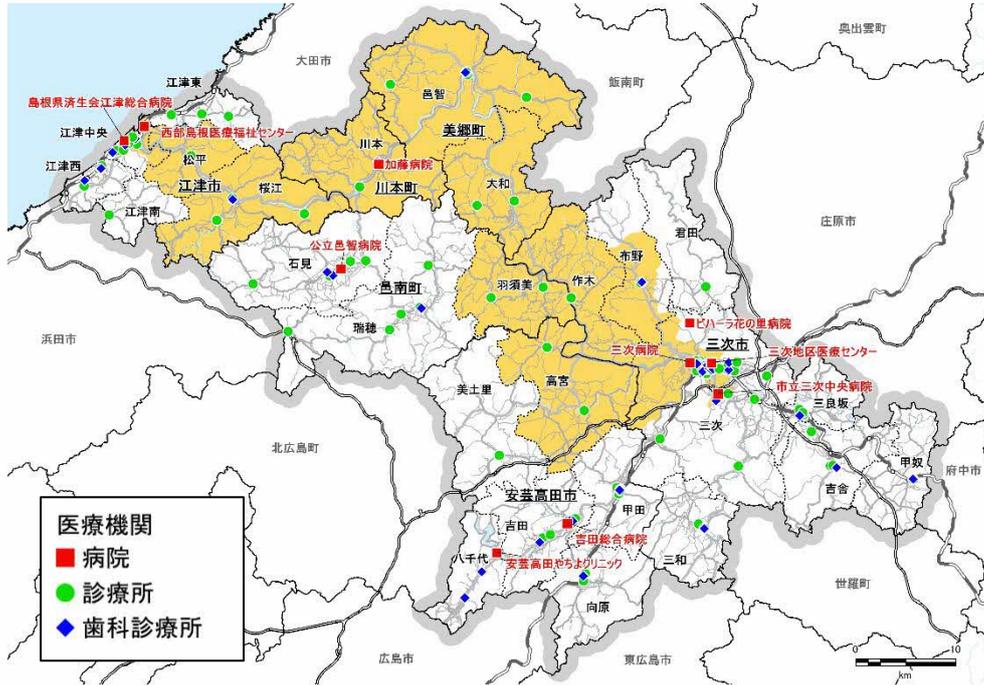


図 15 教育機関の分布

2-4-3 医療機関

○三江線沿線市町には、江津市、川本町、三次市を中心に医療機関が分布しています。



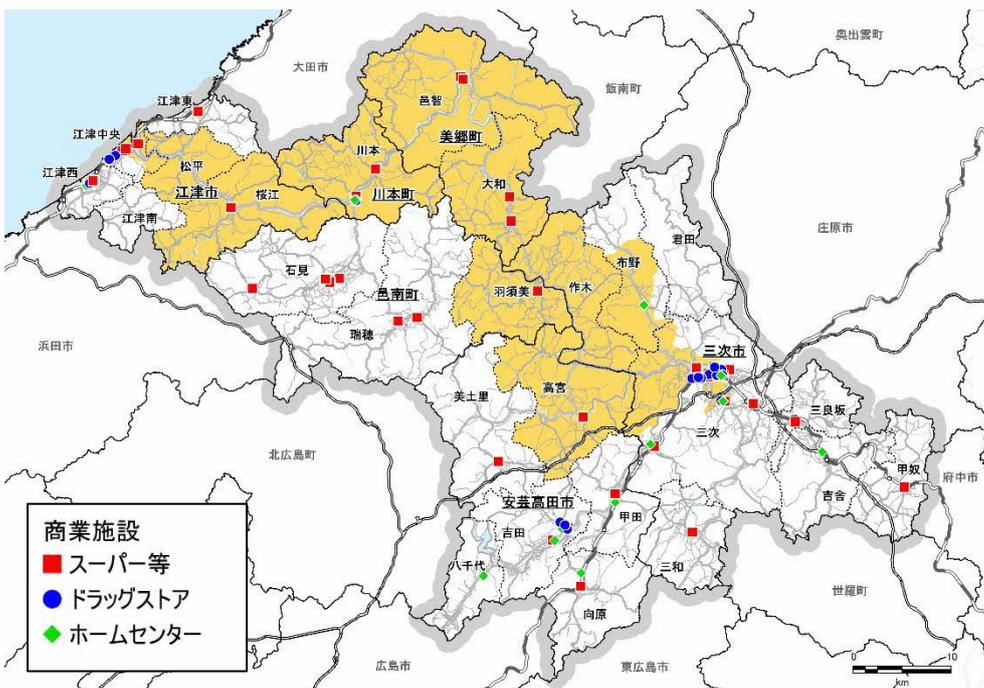
※診療所:ベッド数 19 床以下/病院:ベッド数 20 床以上

図 16 医療機関の分布

2-4-4 商業施設

○江津市や三次市の中心部で商業施設が多くなっています。

○三江線沿線区域内では江津市の松平や三次市の作木に商業施設がありません。



※商店、コンビニなどは除く

図 17 商業施設の分布

2-5 住民の移動ニーズ

2-5-1 通院の時間帯

○通院における移動時間帯を把握するため、令和4年度に実施した「川本町住民アンケート調査」結果を以下のとおり掲載します。

○通院の時間帯は朝7時～10時の間に家を出て、診察終了後10時～12時に病院を出るケースが主流で、70代以上の回答者だけで集計した場合も同じ傾向を示している。
○「加藤病院」の診察が午前中ということもあり、全体的に午後の通院は少ない。

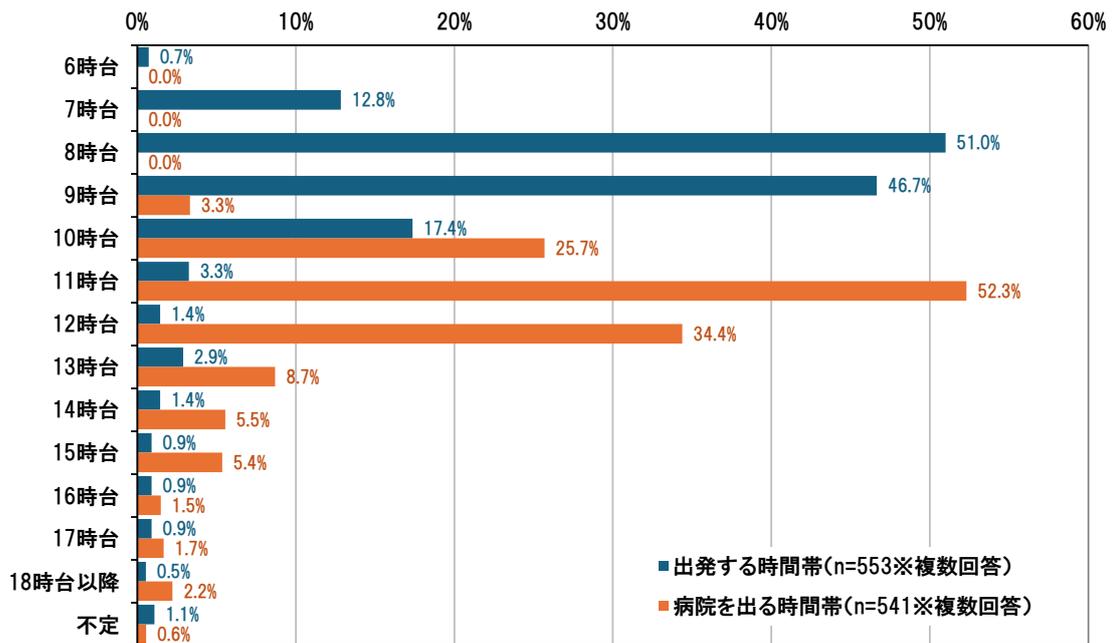


図 18 通院時間帯(全体集計)※川本町住民アンケート調査結果(令和4年度実施)

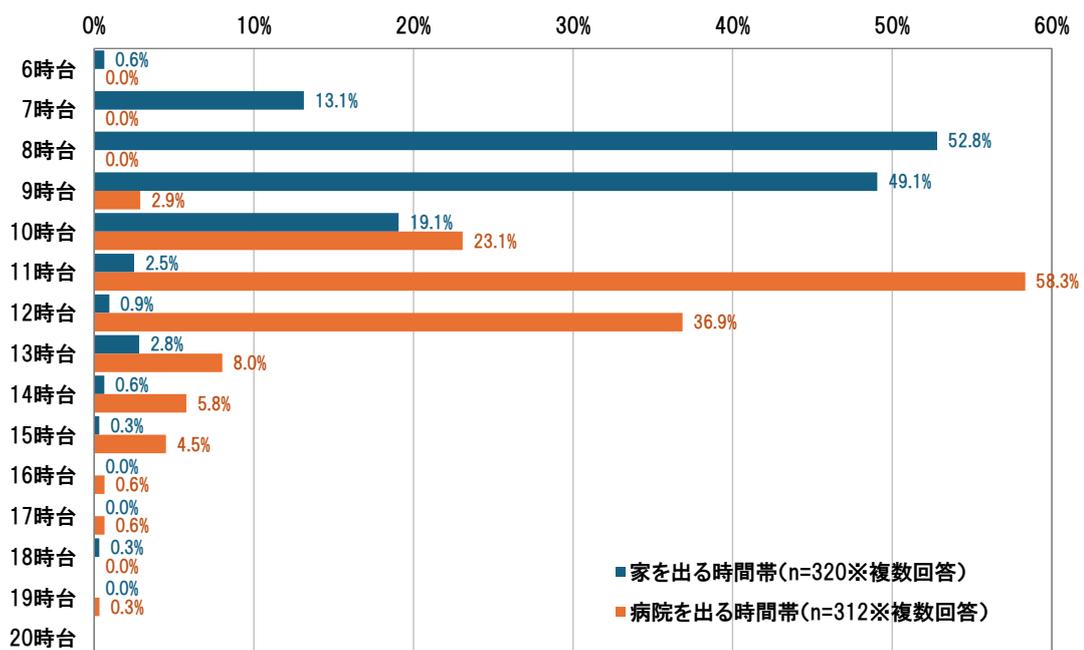


図 19 通院時間帯(70代以上集計)※川本町住民アンケート調査結果(令和4年度実施)

2-5-2 買物の時間帯

○買物における移動時間帯を把握するため、令和4年度に実施した「川本町住民アンケート調査」結果を以下のとおり掲載します。

○9時台～10時台に家を出発し、10時台～12時台に店を出るケースが主流となっているが、通勤帰りの夕方の買物の割合も比較的高い。
 ○70代以上の回答者で集計した場合は、12時台までの買物移動が中心となっている。

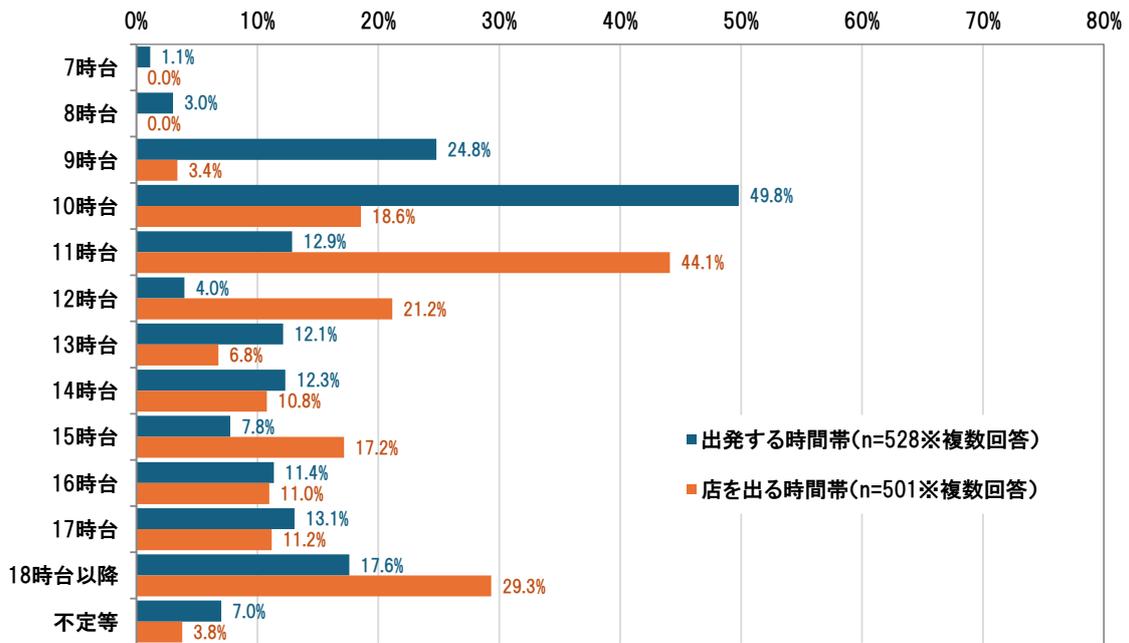


図 20 買物時間帯(全体集計) ※川本町住民アンケート調査結果(令和4年度実施)

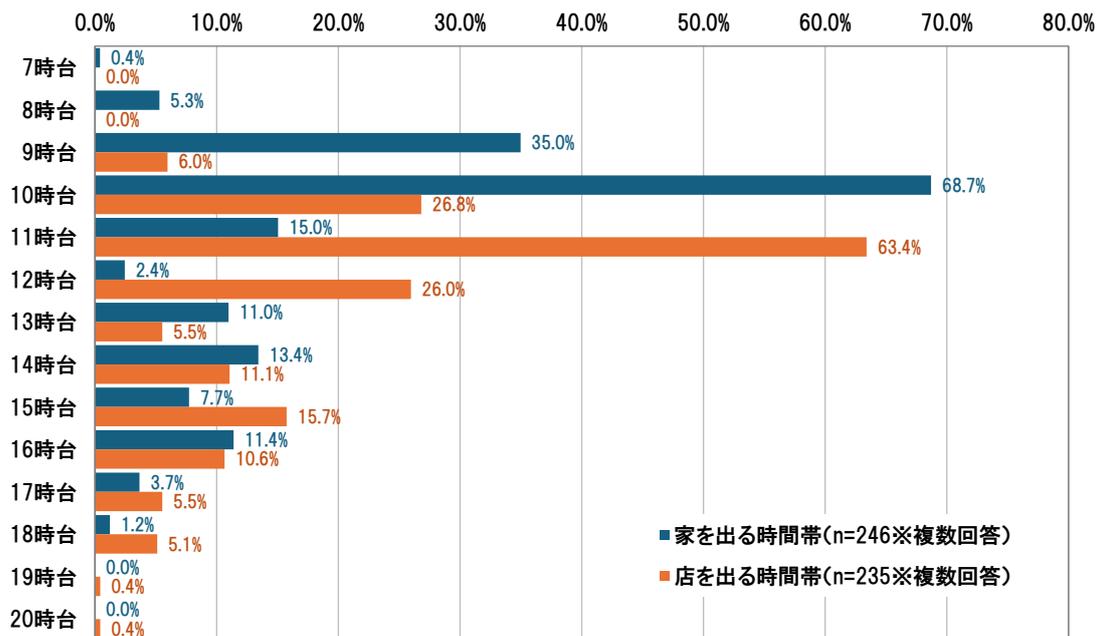


図 21 買物時間帯(70代以上集計) ※川本町住民アンケート調査結果(令和4年度実施)

2-5-3 高校への通学状況

(1) 島根中央高校への通学

○三江線沿線に位置する島根中央高校への通学状況を把握するため、令和4年度に川本町で実施した各種調査結果を以下のとおり掲載します。

① 高校の状況(島根中央高校調査結果:令和4年度実施)

表 9 島根中央高校の状況(令和4年度)

各種時間					路線バス通学生数(石見交通 川本線)				
生徒の学校必着時間		8:45			川本町	1年生	2年生	3年生	計
						1	0	0	1
授業の開始時刻		9:00			美郷町	1年生	2年生	3年生	計
						1	0	0	1
終礼(授業)の終了時刻	6限	15:15			大田市	1年生	2年生	3年生	計
	7限	16:15				2	0	4	6
試験期間中の終了時刻		12:00			計	4	0	4	8
					路線バス通学生数(石見交通 江津川本線)				
部活朝練習開始時刻		-			川本町	1年生	2年生	3年生	計
						0	1	0	1
部活動の終了時刻	早い部活	18:00			江津市	1年生	2年生	3年生	計
	遅い部活	19:00				6	1	5	12
計					計	6	2	5	13
全校生徒数					路線バス通学生数(大和観光 川本美郷線)				
川本町	1年生	2年生	3年生	計	美郷町	1年生	2年生	3年生	計
	19	5	13	37		12	2	5	19
美郷町	1年生	2年生	3年生	計	大田市	1年生	2年生	3年生	計
	12	2	5	19		1	2	0	3
邑南町	1年生	2年生	3年生	計	飯南町	1年生	2年生	3年生	計
	4	10	5	19		1	0	0	1
大田市	1年生	2年生	3年生	計	計	14	4	5	23
	5	3	5	13	路線バス通学生数(川本町スクールバス)				
江津市	1年生	2年生	3年生	計	川本町	1年生	2年生	3年生	計
	5	3	5	13		6	0	0	6
飯南町	1年生	2年生	3年生	計	大田市	1年生	2年生	3年生	計
	1	0	0	1		1	0	0	1
浜田市	1年生	2年生	3年生	計	計	7	0	0	7
	1	0	0	1	路線バス通学生数(邑南町おおなんバス)				
寮生	1年生	2年生	3年生	計	川本町	1年生	2年生	3年生	計
	42	36	33	111		1	0	0	1
合計	89	59	66	214	邑南町	1年生	2年生	3年生	計
						4	9	5	18
自家用車送迎についての方針	容認				浜田市	1年生	2年生	3年生	計
	特になし					1	0	0	1
公共交通の運行への意見・要望	特になし				計	6	9	5	20

② バス通学生の状況(島根中央高校調査結果:令和4年度実施)

表 10 路線別バス通学生徒数 ※川本町高校調査結果(令和4年度実施)

運行主体	路線名	対象生徒数			計
		1年生	2年生	3年生	
石見交通	川本線	4	0	4	8
	江津川本線	6	2	5	13
大和観光	川本美郷線	14	4	5	23
川本町	川本町スクールバス	7	0	0	7
邑南町	おおなんバス	6	9	5	20
合計		37	15	19	71

③通学時における移動手段(島根中央高校生アンケート調査結果:令和4年度実施)

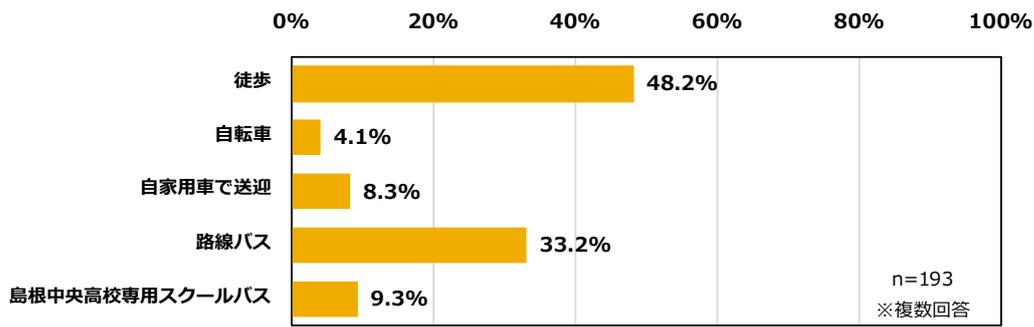


図 22 登校時に最も利用する移動手段

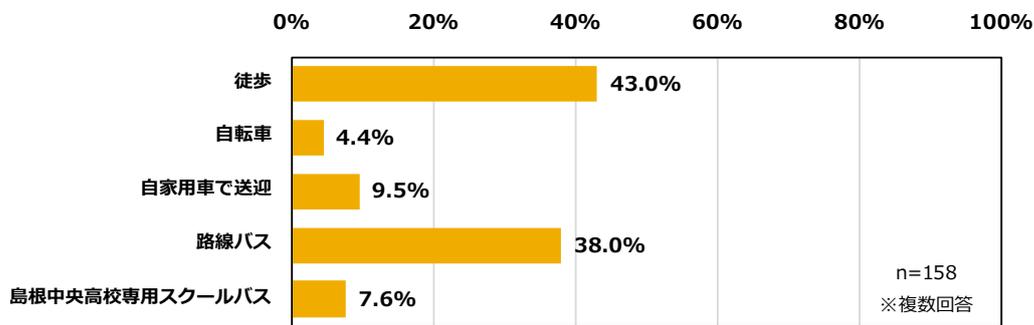


図 23 下校時に最も利用する移動手段

④自家用車送迎の実態(島根中央高校生保護者 WEB アンケート調査結果:令和4年度実施)
《送迎形態》

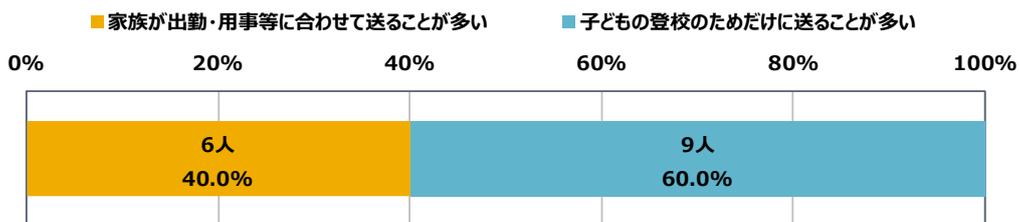


図 24 登校時の主な送迎形態

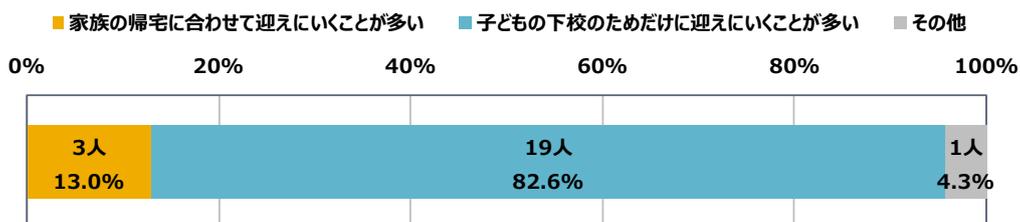


図 25 下校時の主な送迎形態

《送迎場所》

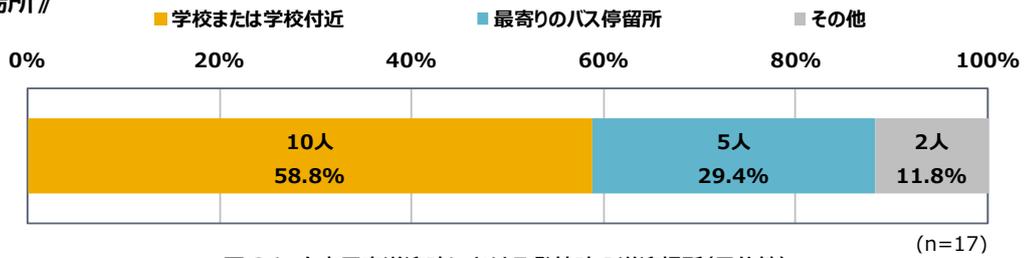


図 26 自家用車送迎時における登校時の送迎場所(目的地)

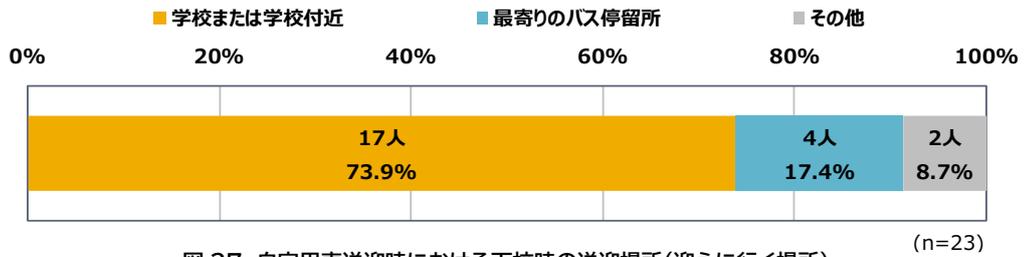


図 27 自家用車送迎時における下校時の送迎場所(迎えに行く場所)

《送迎する理由》

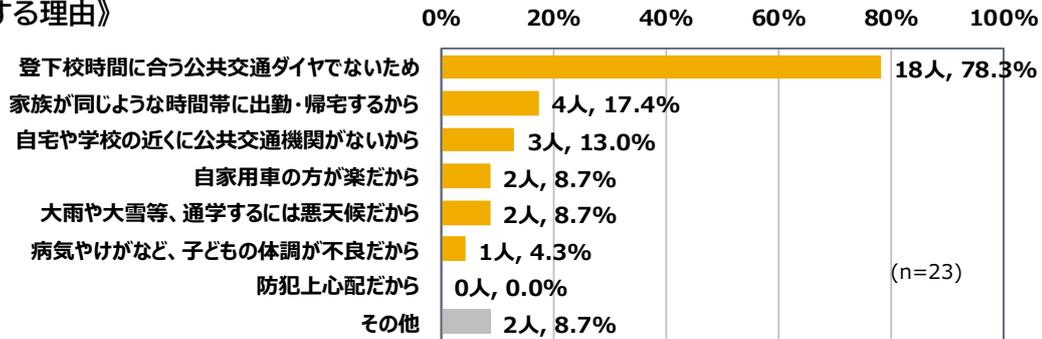


図 28 自家用車送迎する理由

《送迎の負担感》

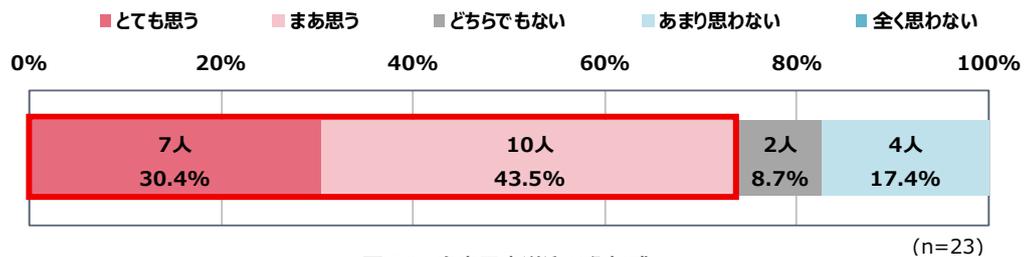


図 29 自家用車送迎の負担感

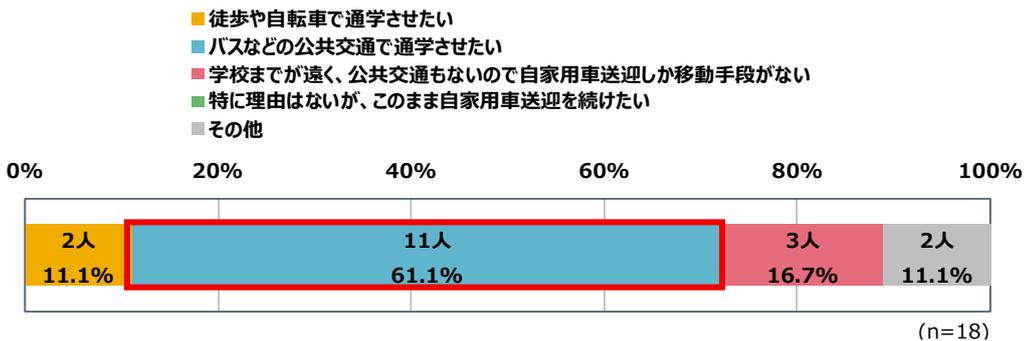


図 30 自家用車送迎から他の移動手段への切り替え意向

⑤通学時のバスダイヤ

《登校時》

○ダイヤをみると、江津川本線、川本美郷線、川本線、邑南川本線のいずれも8時台に島根中央高校への登校が可能です。

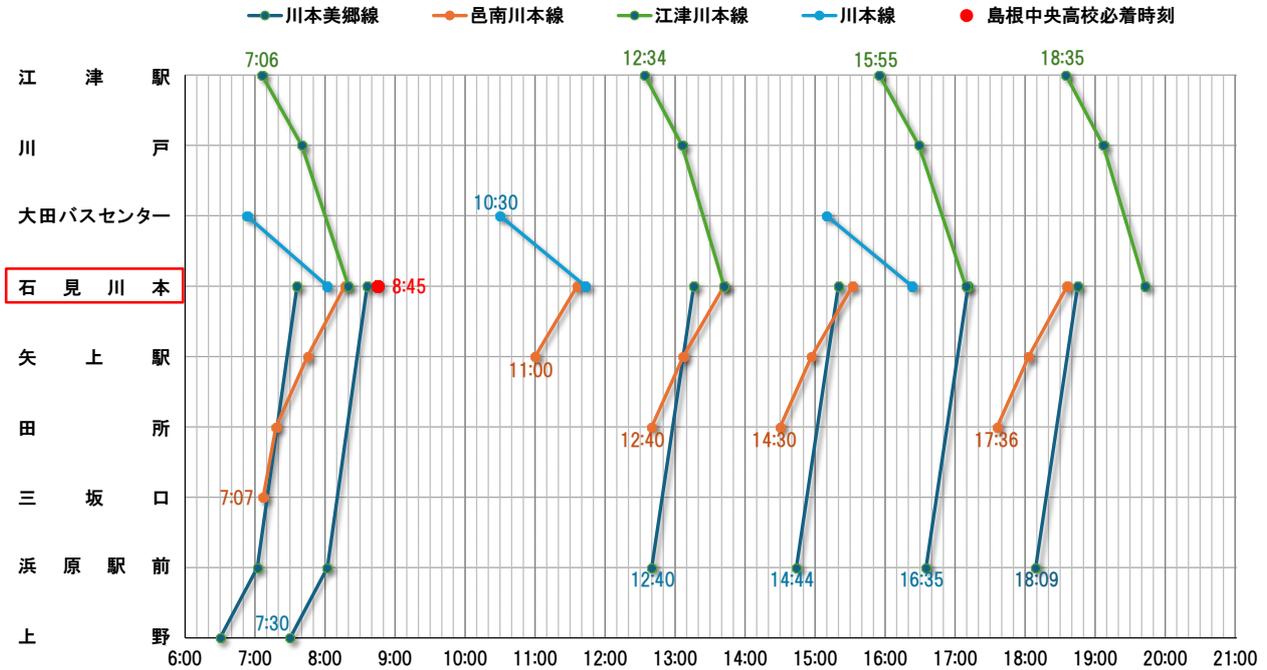


図 31 島根中央高校への通学(登校時)

《下校時》

○ある程度下校時間帯に対応していますが、19時以降はどの路線も便がありません。

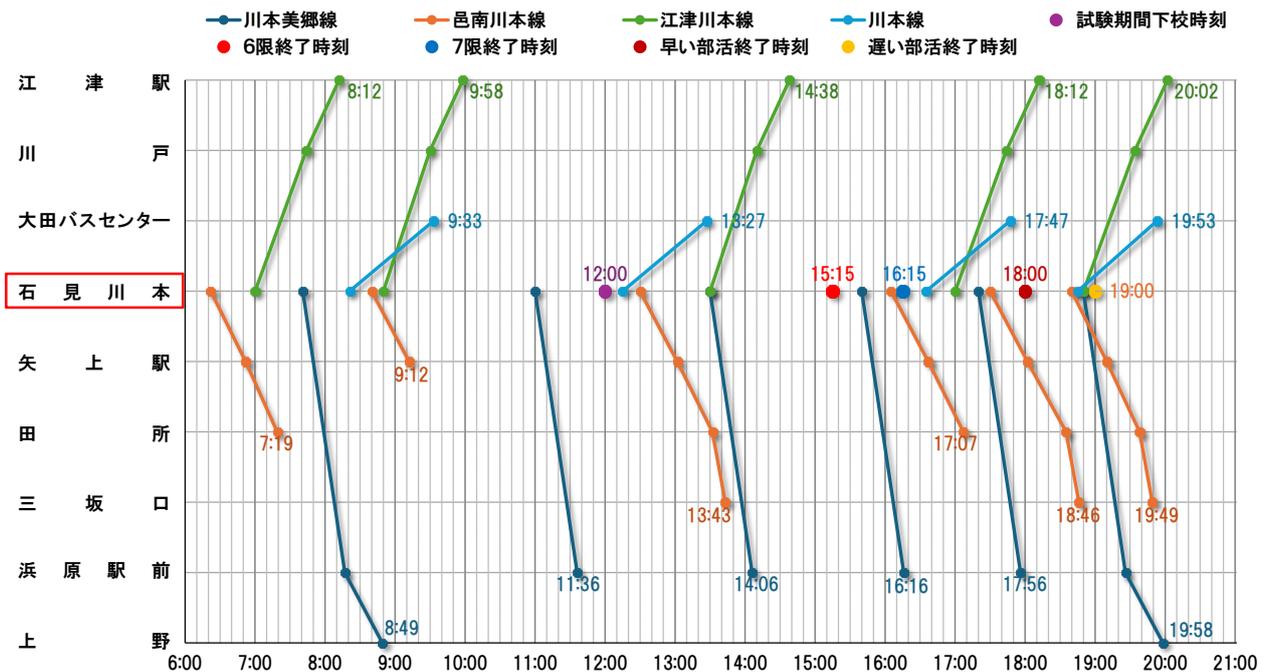


図 32 島根中央高校への通学(下校時)

⑥江津川本線のダイヤ改正

《江津市⇒川本町》

○令和6年度までは6便ありましたが、令和7年4月以降4便に減便されました。

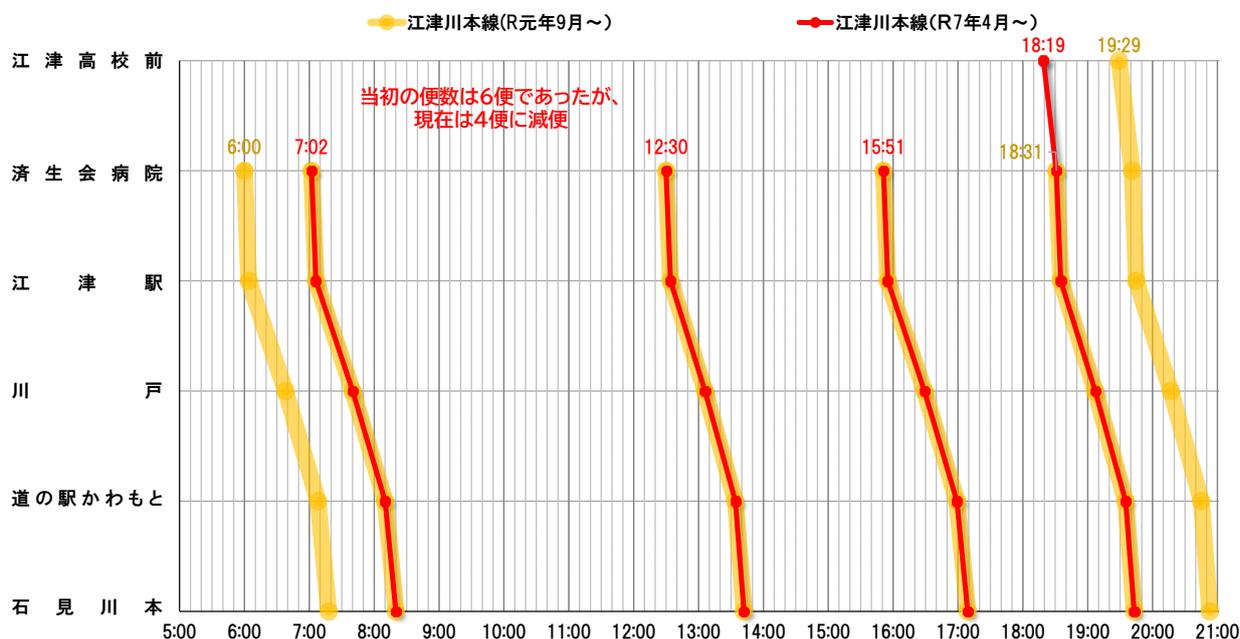


図 33 「江津川本線」の令和元年ダイヤと令和7年ダイヤの比較(江津市⇒川本町)

《川本町⇒江津市》

○上り方面も7便あったものが5便に減便されました。これにより 19 時以降の島根中央高校からの帰宅はできなくなりました。

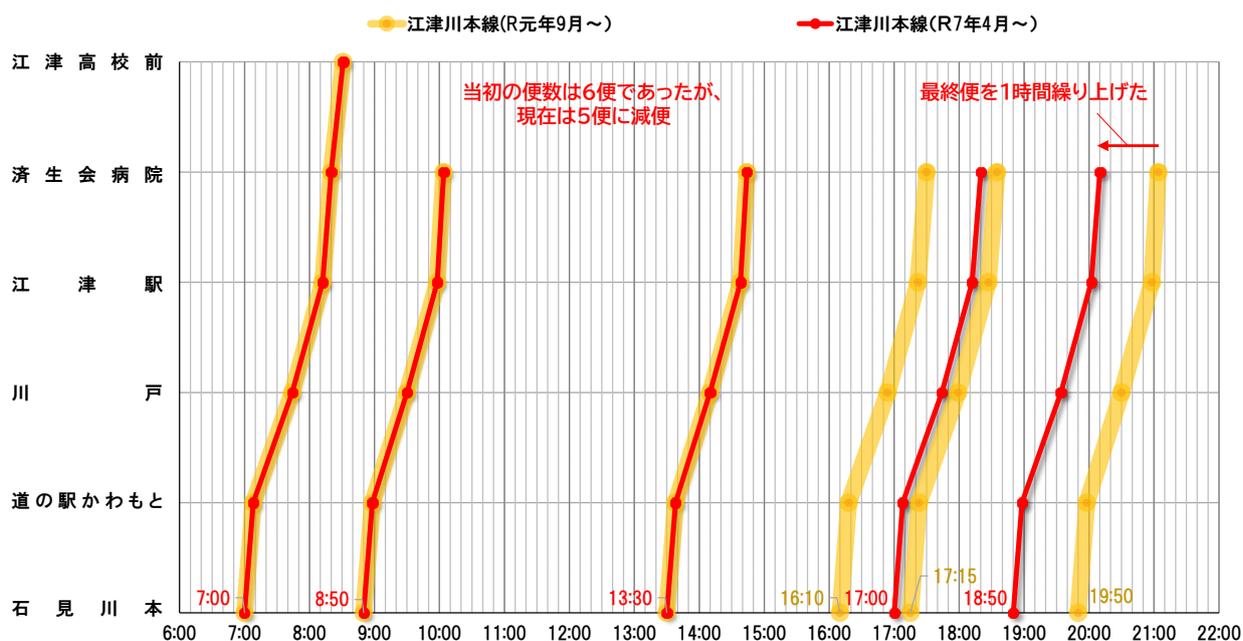


図 34 「江津川本線」の令和元年ダイヤと令和7年ダイヤの比較(川本町⇒江津市)

(2)江津高校への通学の状況(江津市高校調査結果:令和3年度実施)

○三江線沿線に位置する江津高校への通学状況を把握するため、令和3年度に江津市で実施した高校調査結果を以下のとおり掲載します。

- 江津高校の全校生徒数は183人(令和3年度)で、そのうち135人が江津市内から通学している。これは全校生徒の73.8%にあたる。
- 江津市以外では浜田市29人、大田市11人と、隣接する市からの通学生もみられる。
- JRを利用して通学する生徒が62人に対し、バスを利用して通学する生徒は2人しかいない。



図 35 江津高校の位置

表 11 江津高校の状況(令和3年度)

全校生徒数					JR通学生数				
江津市	1年生	2年生	3年生	計	江津市	1年生	2年生	3年生	計
	47	39	49	135		6	5	9	20
浜田市	1年生	2年生	3年生	計	浜田市	1年生	2年生	3年生	計
	6	9	14	29		6	9	14	29
大田市	1年生	2年生	3年生	計	大田市	1年生	2年生	3年生	計
	2	1	8	11		2	1	8	11
益田市	1年生	2年生	3年生	計	益田市	1年生	2年生	3年生	計
		1		1			1		1
出雲市	1年生	2年生	3年生	計	出雲市	1年生	2年生	3年生	計
		1		1			1		1
寮生(下宿)	1年生	2年生	3年生	計	計				
	2	4		6		14	17	31	62
合計	57	55	71	183	自家用車送迎 についての方針	容認 敷地内での乗降を原則禁止としているが、一部で守られていない			
路線バス通学生数						専用スクールバス	導入予定なし		
江津市	1年生	2年生	3年生	計	通学の範囲、 生徒募集の方針	通学範囲 (R3年度) 益田市、浜田市、江津市、大田市、出雲市			
	1	1		2		公共交通の運行 への意見・要望	JR、バス等の増便		
合計	1	1	0	2					

(3)江津工業高校への通学の状況(江津市高校調査結果:令和3年度実施)

○三江線沿線に位置する江津工業高校への通学状況を把握するため、令和3年度に江津市で実施した高校調査結果を以下のとおり掲載します。

- 江津工業高校の全校生徒数は152人(令和3年度)で、そのうち58人が江津市内から通学している。これは全校生徒の38.2%にあたり、市内より市外からの通学生が多い。
- 江津市以外では浜田市56人、大田市27人と、隣接する市からの通学生も多い。
- JRを利用して通学する生徒が87人に対し、バスを利用して通学する生徒は12人と少ない。



図 36 江津工業高校の位置

表 12 江津工業高校の状況(令和3年度)

全校生徒数					JR通学生数				
江津市	1年生	2年生	3年生	計	江津市	1年生	2年生	3年生	計
	21	22	15	58		1	7	3	11
浜田市	1年生	2年生	3年生	計	浜田市	1年生	2年生	3年生	計
	18	16	22	56		17	14	20	51
大田市	1年生	2年生	3年生	計	大田市	1年生	2年生	3年生	計
	4	12	11	27		4	11	10	25
川本町	1年生	2年生	3年生	計	計	22	32	33	87
	1			1					
益田市	1年生	2年生	3年生	計	自家用車送迎 についての方針	容認			
		1		1					
寮生(下宿)	1年生	2年生	3年生	計	専用スクールバス	導入予定なし			
	5	3	1	9					
合計	49	54	49	152	通学の範囲、 生徒募集の方針	中学校が開催している進路説明会には、大田市、江津市、浜田市、川本町、邑南町の中学校に参加している。大半がJRによる通学生で大田市～三保三間間を利用している。			
路線バス通学生数						公共交通の運行 への意見・要望	現在は19時半付近の列車が上下ともにあり、大変に助かっている。		
江津市	1年生	2年生	3年生	計					
	2	4	5	11					
川本町	1年生	2年生	3年生	計					
	1			1					
合計	3	4	5	12					

2-6 観光資源と来訪状況

- 観光資源は沿線市町全域に点在しています。
- 観光入込客数はコロナ禍で令和2年に大幅に減少しましたが、令和3年以降増加傾向で推移しています。

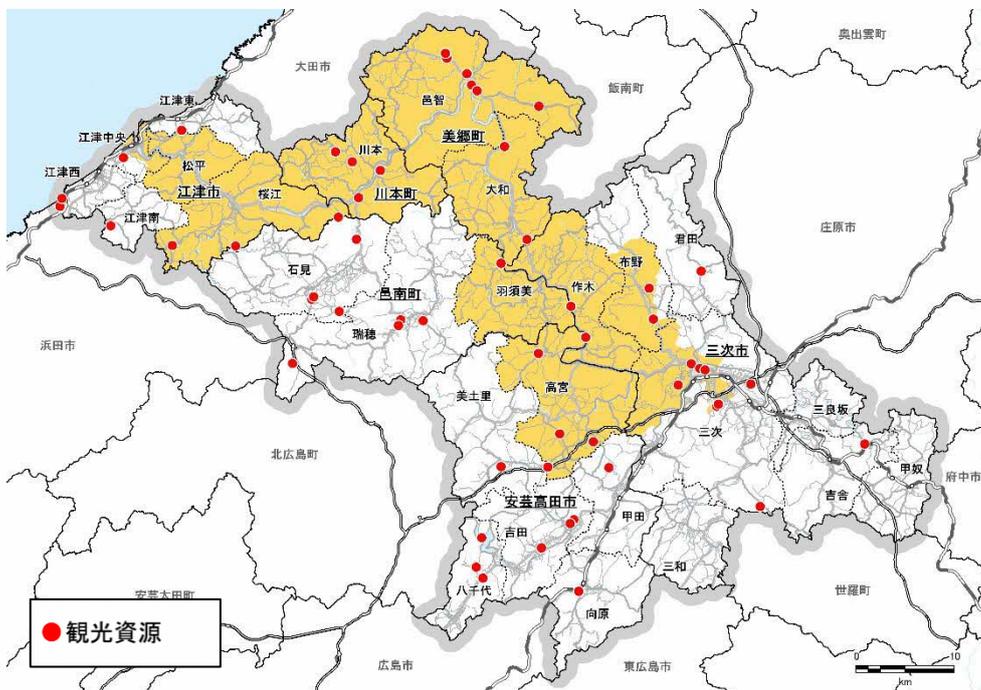
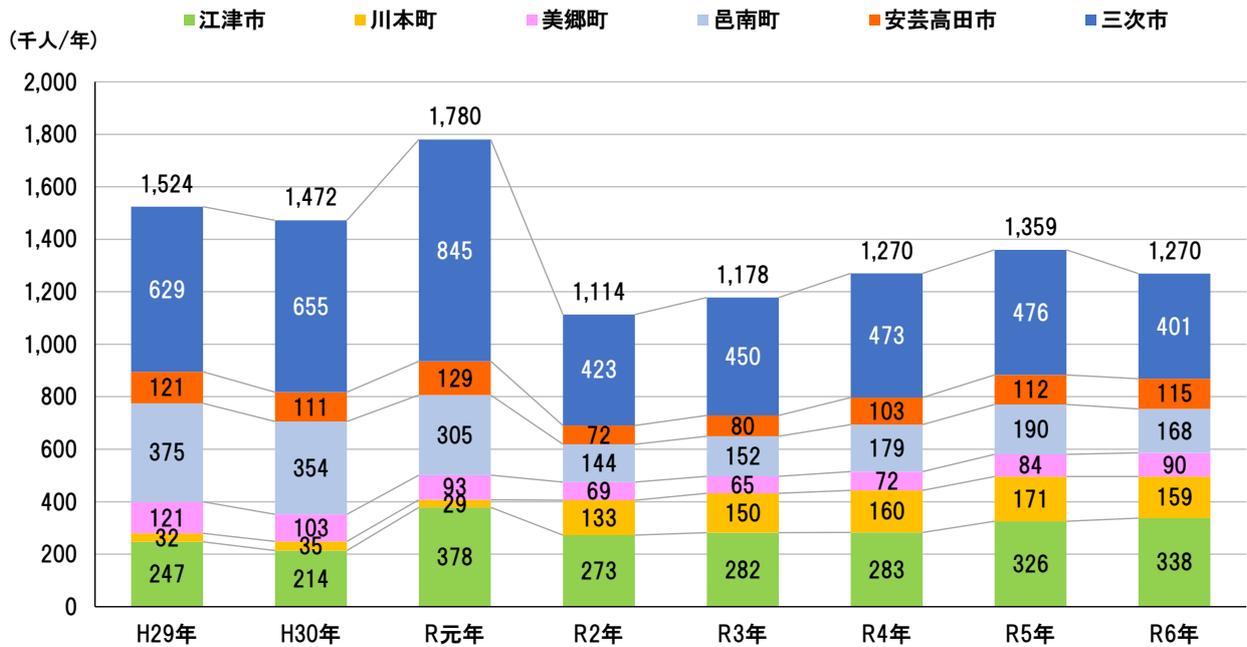


図 37 観光資源の分布

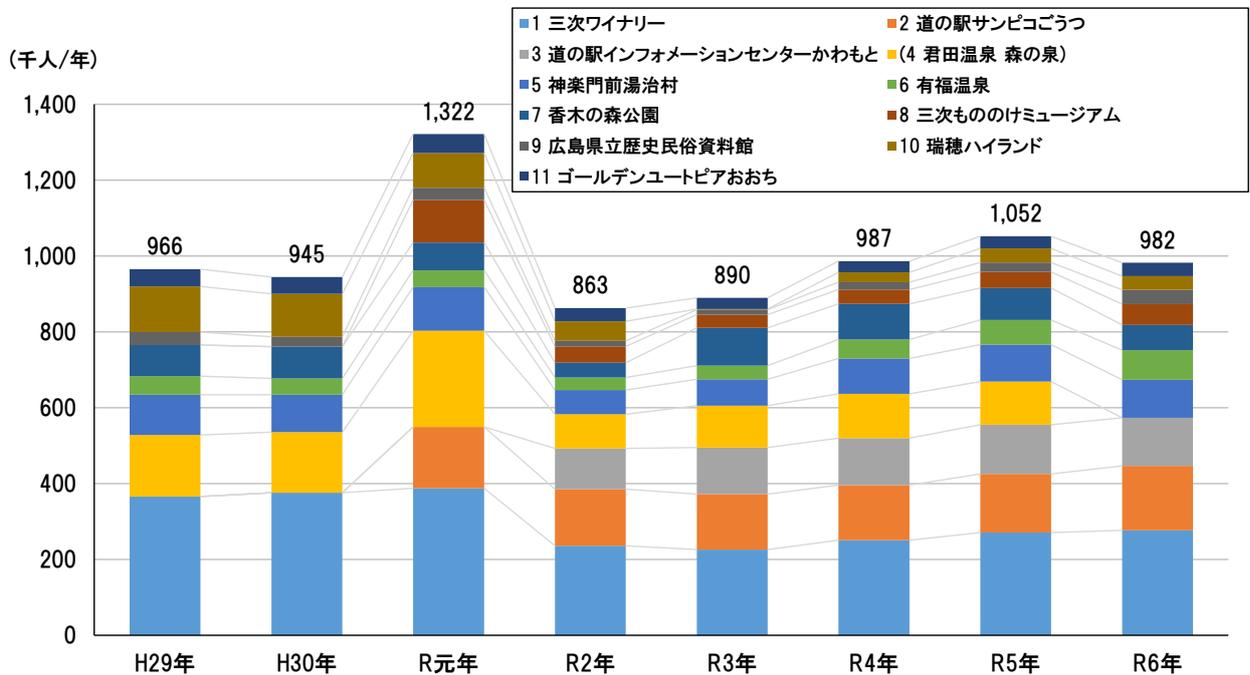
表 13 市町別主要観光施設、イベント一覧

市町名	主要施設、イベント	市町名	主要施設、イベント
江津市	千文溪	邑南町	ほたるの館
	風の国		伴蔵山自然回帰公園
	水の国		邑南町青少年旅行村
	江津海岸		瑞穂ハイランド
	有福温泉		水明カントリークラブ
	地場産センター		ハンザケ自然館
	菰沢公園オートキャンプ場		断魚溪
	ごうつ秋まつり		いこいの村しまね
	江の川祭り		香木の森公園
	石見神楽特別公演		いわみ温泉
	道の駅サンピコごうつ		軍原キャンプ場
川本町	ふれあい公園笹遊里	安芸高田市	安芸高田市歴史民俗博物館
	湯谷温泉 弥山荘		神楽門前湯治村
	音戯館	三次市	広島県立歴史民俗資料館
	道の駅インフォメーションセンターかわもと		奥田元宋・小由女美術館
美郷町	ゴールデンユートピアおおち	三次市	君田温泉 森の泉
	カヌー博物館		湯本豪一記念日本妖怪博物館 (三次もののけミュージアム)
	カヌーの里おおち		三次ワイナリー
	湯抱温泉		
	潮温泉(石見ワイナリーホテル美郷)		
	斎藤茂吉鴨山記念館		
	道の駅 グリーンロード大和(グリーンロード375)		
	江の川遊覧船		
千原温泉			



※参照: 島根県観光動態調査結果・広島県観光客数の動向(平成 29 年～令和 6 年)
 ※表 13 に記載の主要観光施設、イベントの各年観光入込客数を合計した

図 38 市町別主要観光施設、イベントへの観光入込客数の推移



※参照: 島根県観光動態調査結果・広島県観光客数の動向(平成 29 年～令和 6 年)

図 39 令和 4～6 年度の平均観光入込客数上位 10 施設における入込数の推移

2-7 地域公共交通の現状

2-7-1 本計画の対象路線

○本計画の対象路線は、以下のとおりです。

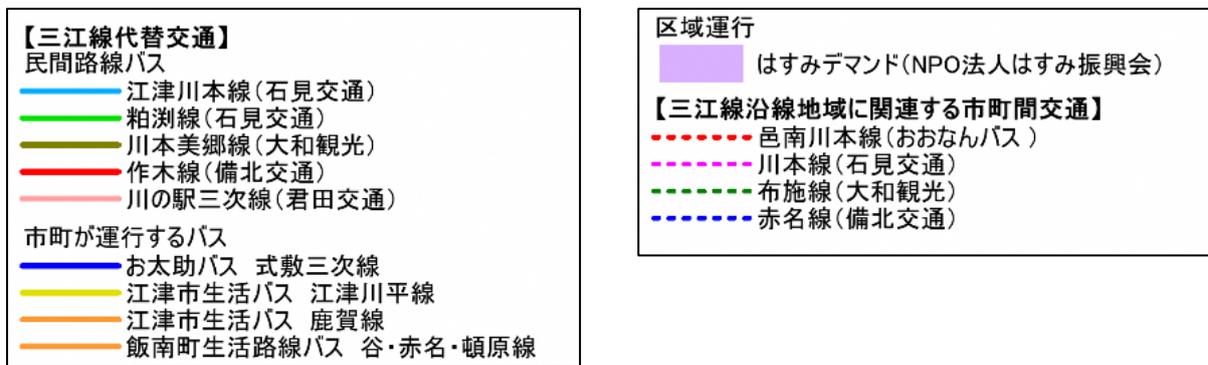
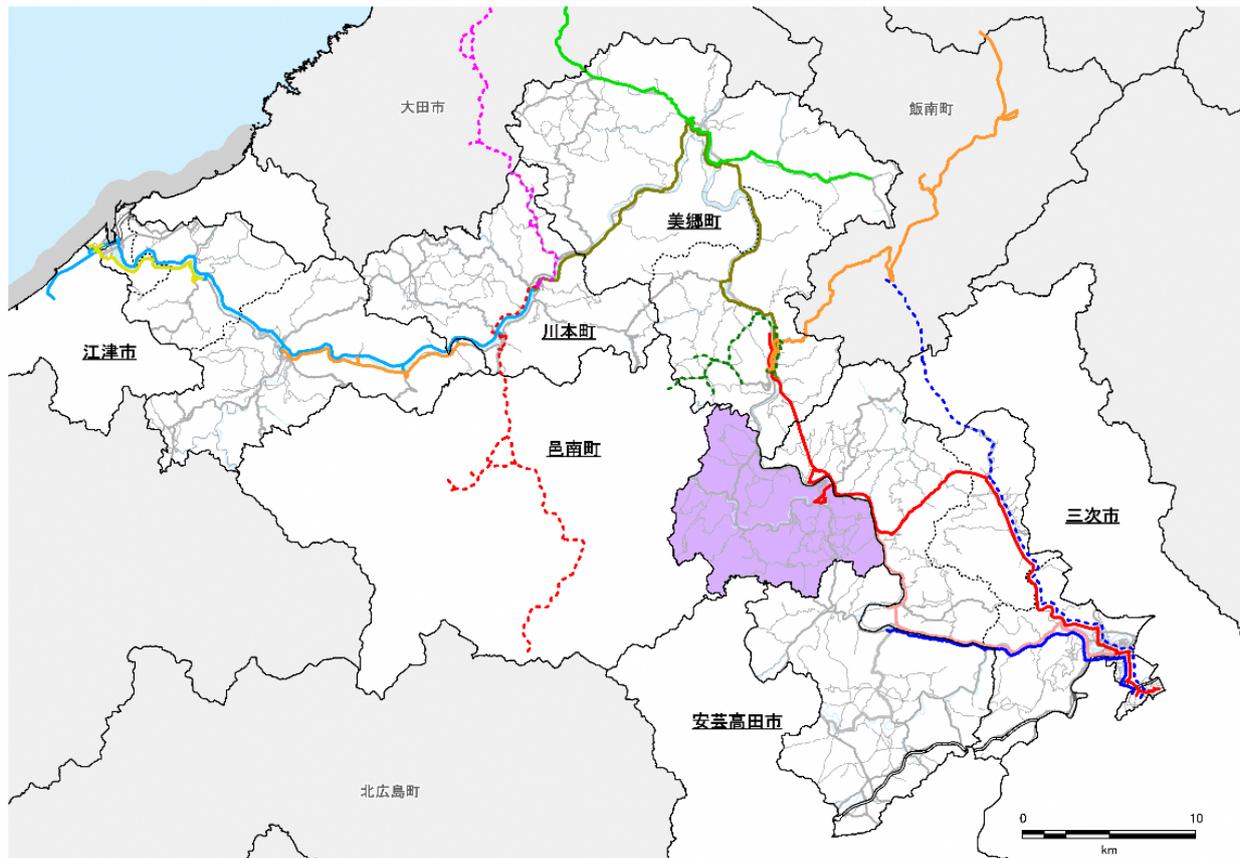


図 40 三江線沿線地域の本計画対象路線

2-7-2 民間事業者が主体となって運行する路線バス・乗合タクシー

○備北交通(株)及び石見交通(株)などが運行する民間路線バスや、タクシー会社が運行する乗合タクシーの状況は、以下のとおりです。

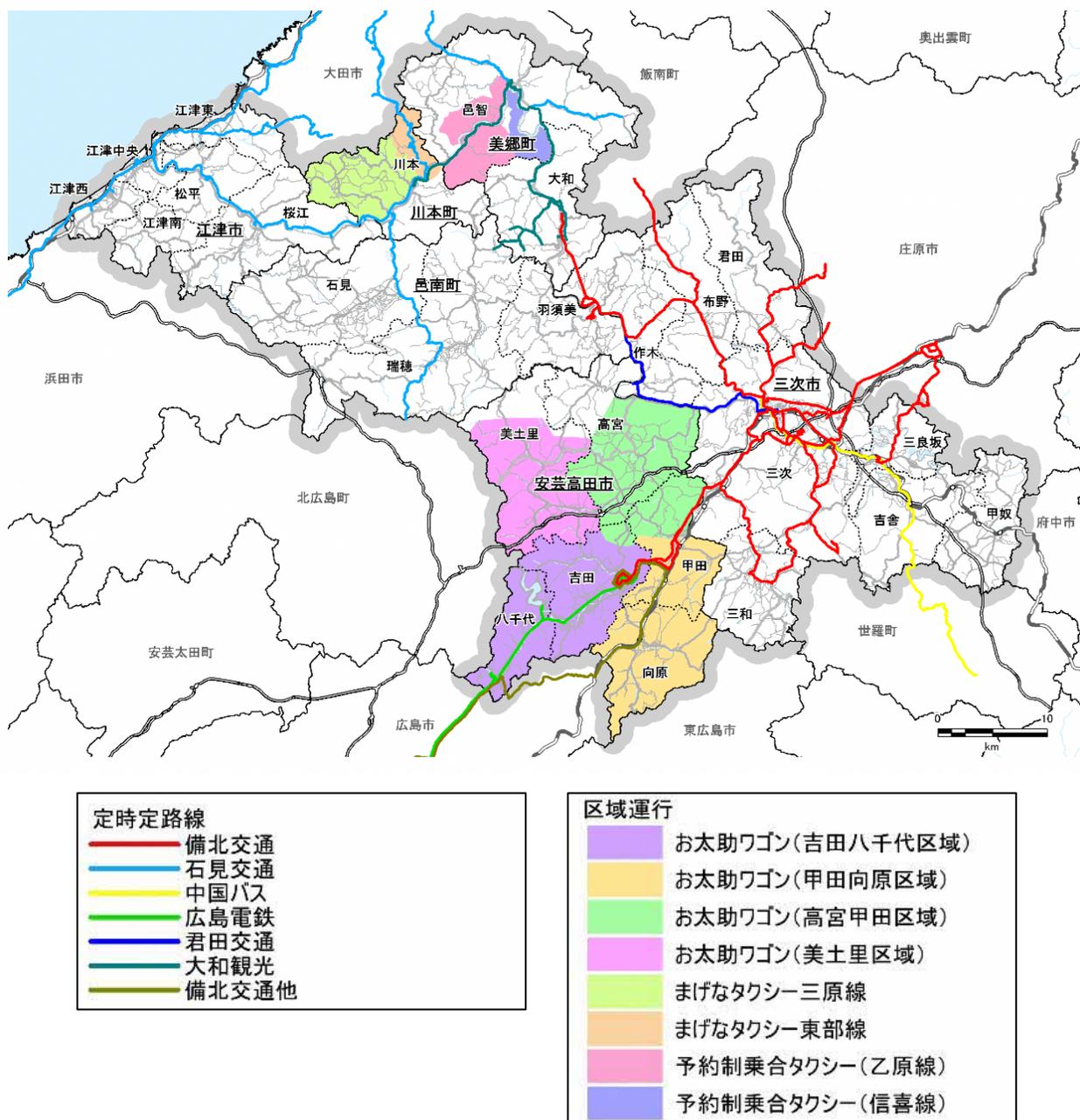
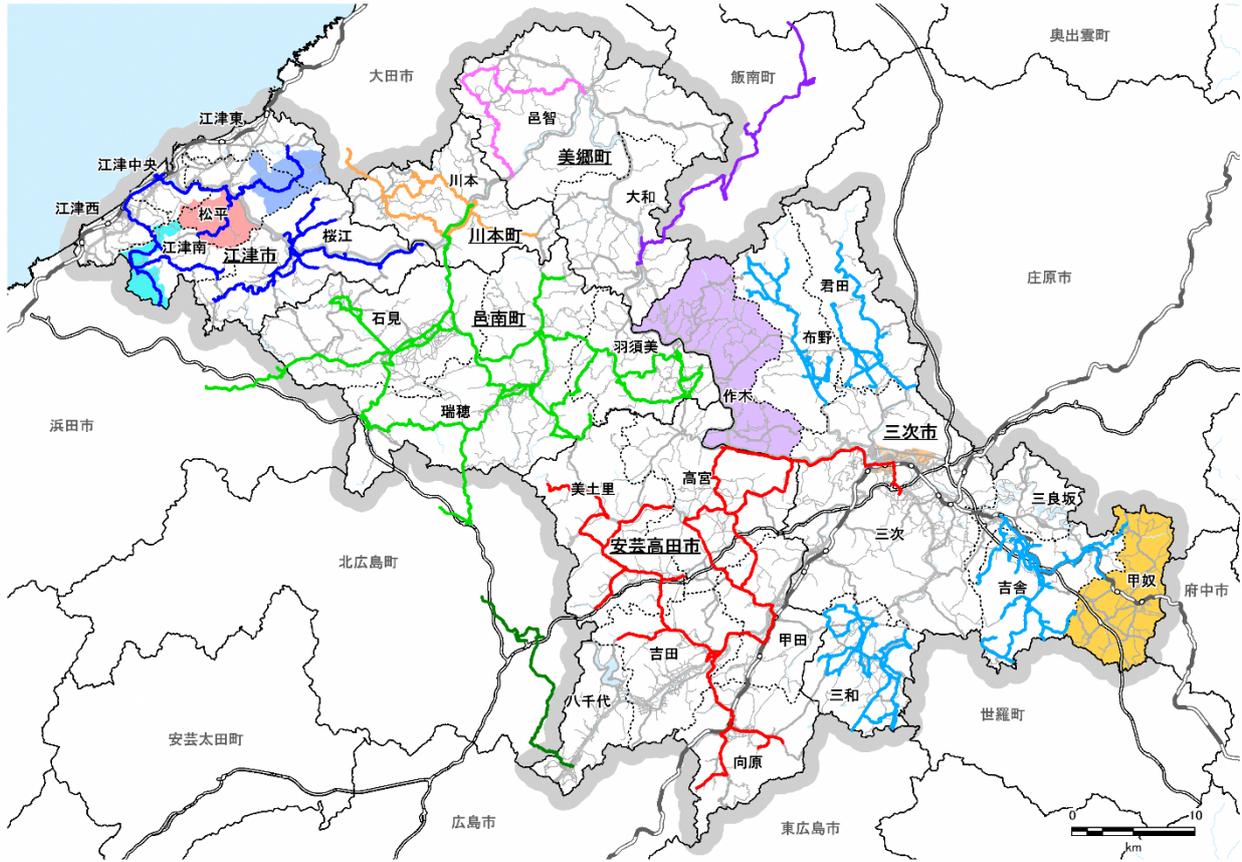


図 41 民間路線バス・乗合タクシー

2-7-3 市町が主体となって運行する路線バス・乗合タクシー

○市町が運行主体となって運行する路線バスや乗合タクシーの状況は、以下のとおりです。



市町が運行するバス		区域運行	
	江津市生活バス		江津市生活バス 松川・波積線
	美郷町町営バス		江津市生活バス 川平線
	川本町スクールバス		江津市生活バス 有福・千田線
	おおなんバス		三次市民バス 甲奴町線
	三次市民バス		三次市民バス 作木町線
	お太助バス		三次市AIデマンドバス のるーと三次
	飯南町生活路線バス		
	北広島町ホープバス		

図 42 市町が主体となって運行する路線バス・乗合タクシー

2-7-4 NPO や地域組織が主体となって運行する乗合タクシー等

○NPO 法人や地域組織が主体となって運行する乗合タクシー等は、以下のとおりです。

自治体(地域)	江津市(長谷) 長谷地域相乗りタクシー
運送の対象	長谷地区在住者
運行主体	長谷里山づくり協議会
運送対価(運賃)	500 円
運行内容	火曜日・木曜日 事前予約による運行

自治体(地域)	美郷町(別府)
運送の対象	会員登録された者(町内別府・君谷地域在住者)
運行主体	NPO 法人別府安心ネット
運送対価(運賃)	400 円~1,800 円(1人1回往復乗車の基本単価)
運行内容	事前予約による運行

自治体(地域)	美郷町(比之宮)
運送の対象	比之宮地域在住者
運行主体	比之宮連合自治会
運送対価(運賃)	200 円
運行内容	平日(月から金曜日)事前予約による運行

自治体(地域)	邑南町(羽須美) はすみデマンド
運送の対象	会員登録された者(羽須美地域在住者)
運行主体	NPO 法人はすみ振興会
運送対価(運賃)	200 円~500 円(距離制)
運行内容	毎日(1月1日~1月3日運休)事前予約による運行

自治体(地域)	安芸高田市(川根) 川根もやい便
運送の対象	川根地域在住者
運行主体	川根振興協議会
運送対価(運賃)	100 円~500 円(行先別)
運行内容	平日(月から金曜日)事前予約による運行

自治体(地域)	安芸高田市(智教寺・大所) 友愛とろっこ便
運送の対象	智教寺・大所地域在住者
運行主体	智教寺振興会
運送対価(運賃)	100 円~500 円(行先別)
運行内容	平日(月から金曜日)事前予約による運行

2-7-5 バス路線間の接続状況

(1)江津川本線～川本美郷線～作木線間の接続

①江津市⇒三次市

○江津市から三次市への移動については江津川本線と川本美郷線の接続が悪く、大幅な待機時間が発生します。

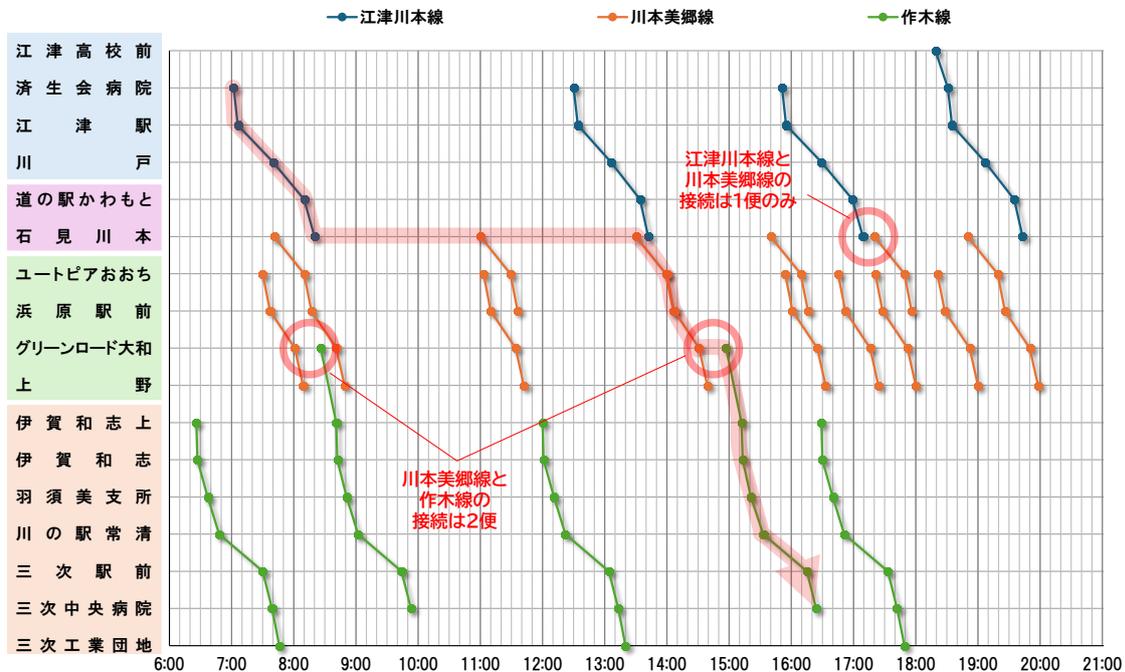


図 43 「江津川本線⇒川本美郷線⇒作木線」の接続状況

②三次市⇒江津市

○三次市から江津市への移動については作木線と川本美郷線の接続が悪く、大幅な待機時間が発生します。

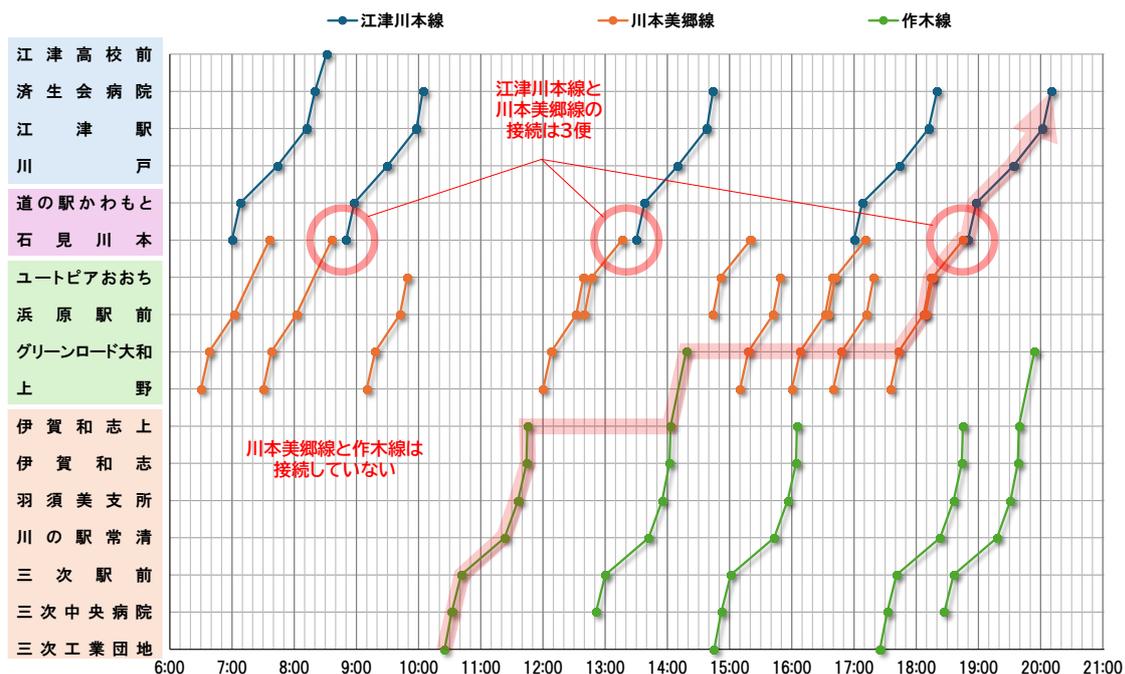


図 44 「作木線⇒川本美郷線⇒江津川本線」の接続状況

(2)川本美郷線と粕渕線との接続

①美郷町⇒大田市

○美郷町（大和地域）から大田市立病院への移動について、12時以降は比較的乗り継ぎがスムーズですが、午前中は7時台以外待機時間が50分程度発生します。

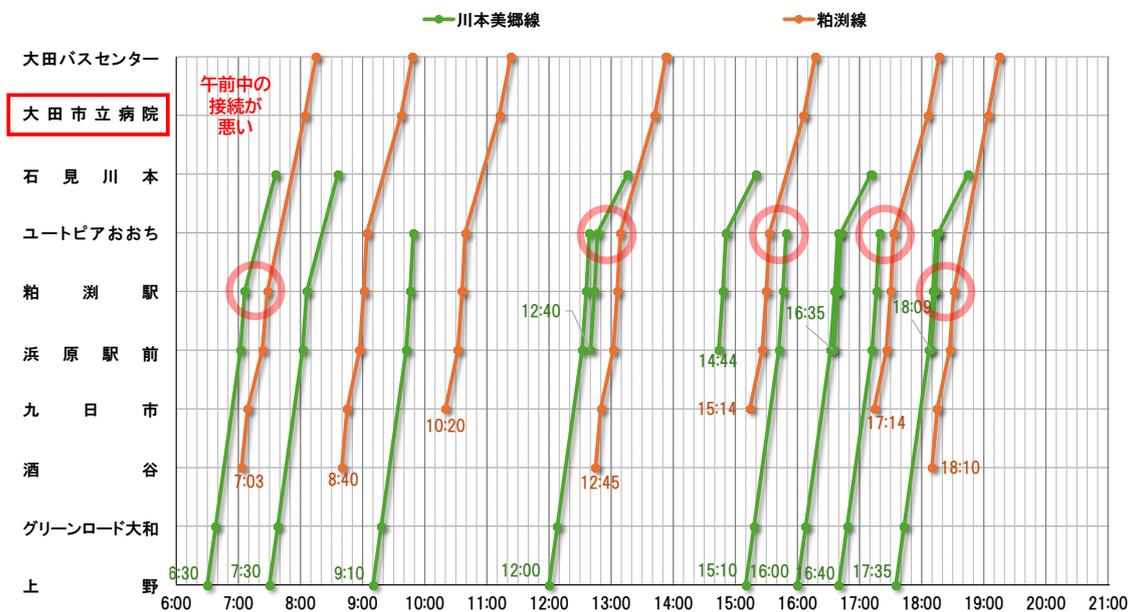


図 45 「川本美郷線」と「粕渕線」の接続状況(美郷町⇒大田市)

②大田市⇒美郷町

○大田市立病院から美郷町（大和地域）への移動については、8時台と13時以降が良好です。

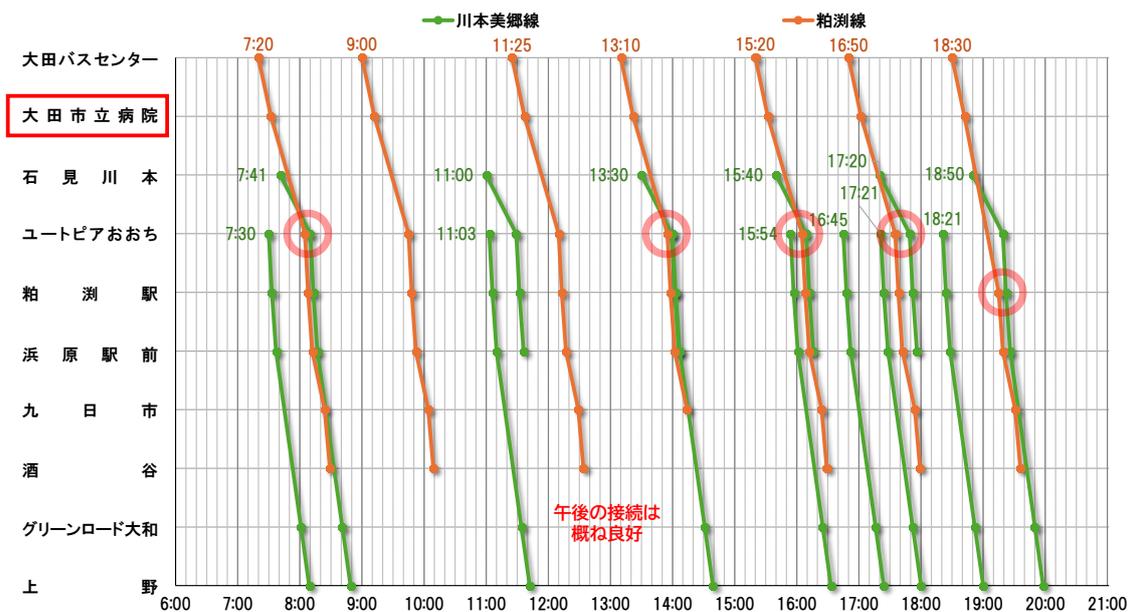


図 46 「川本美郷線」と「粕渕線」の接続状況(大田市⇒美郷町)

(3)川本美郷線と邑南川本線の接続

①美郷町⇒邑南町

○美郷町（大和地域）から川本町を経由して邑南町方面へ行く場合、8時台の接続は良好なため邑智病院へ行くことは可能ですが、矢上高校への到着は9時以降となるためバスでの登校はできません。

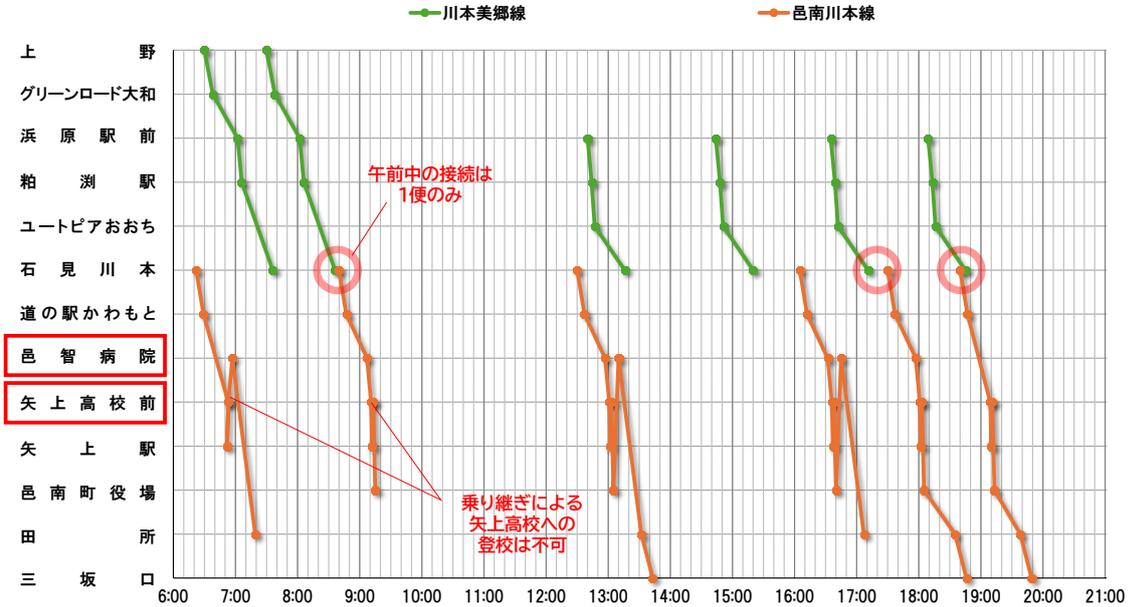


図 47 「川本美郷線」と「邑南川本線」の接続状況(美郷町⇒邑南町)

②邑南町⇒美郷町

○接続が良好なのは15時台と18時台のみで、それ以外の接続は良くありません。

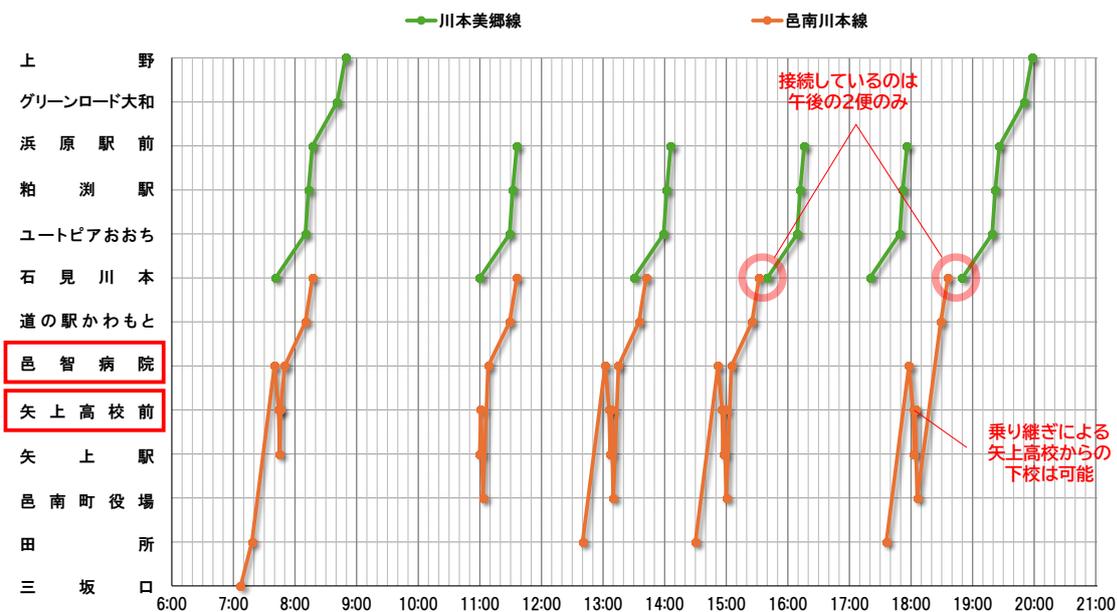


図 48 「川本美郷線」と「邑南川本線」の接続状況(邑南町⇒美郷町)

(4) JR 山陰本線と江津川本線の接続

①JR 山陰本線(浜田方面)⇒江津川本線

○JR 山陰本線（浜田方面）と江津川本線との接続は、概ね 30 分以内となっており良好です。

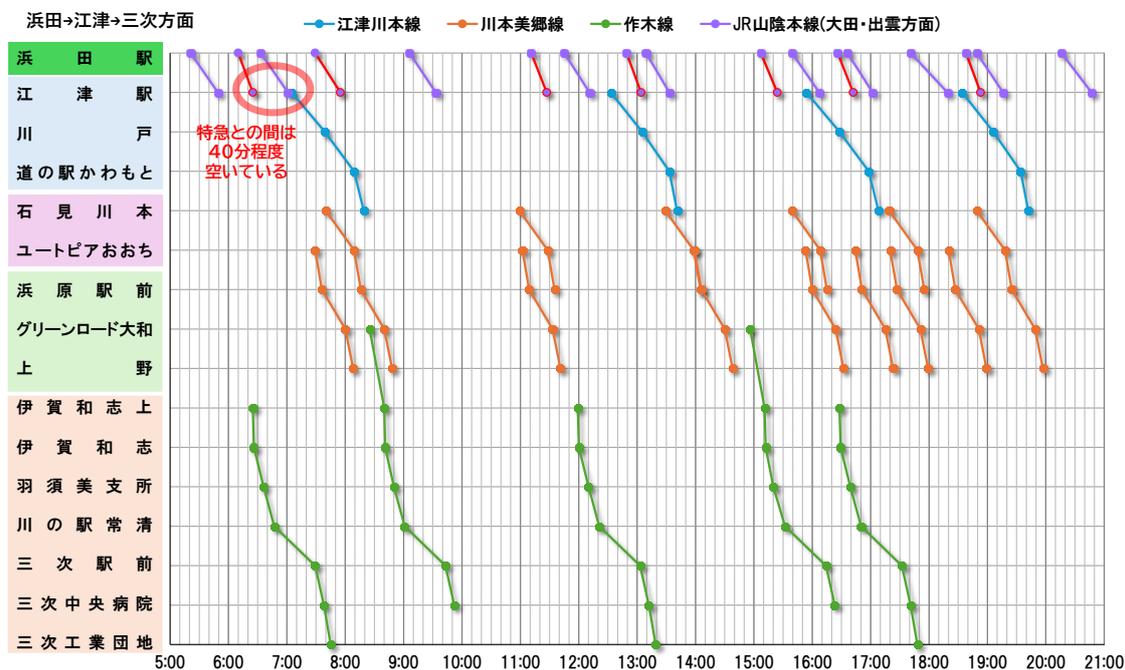


図 49 JR 山陰本線と三江線沿線地域の市町間交通の接続(浜田→江津→三次方面)

②JR 山陰本線(大田・出雲方面)⇒江津川本線

○JR 山陰本線（大田・出雲方面）と江津川本線との接続は、7 時台と 15 時台で接続ができていません。

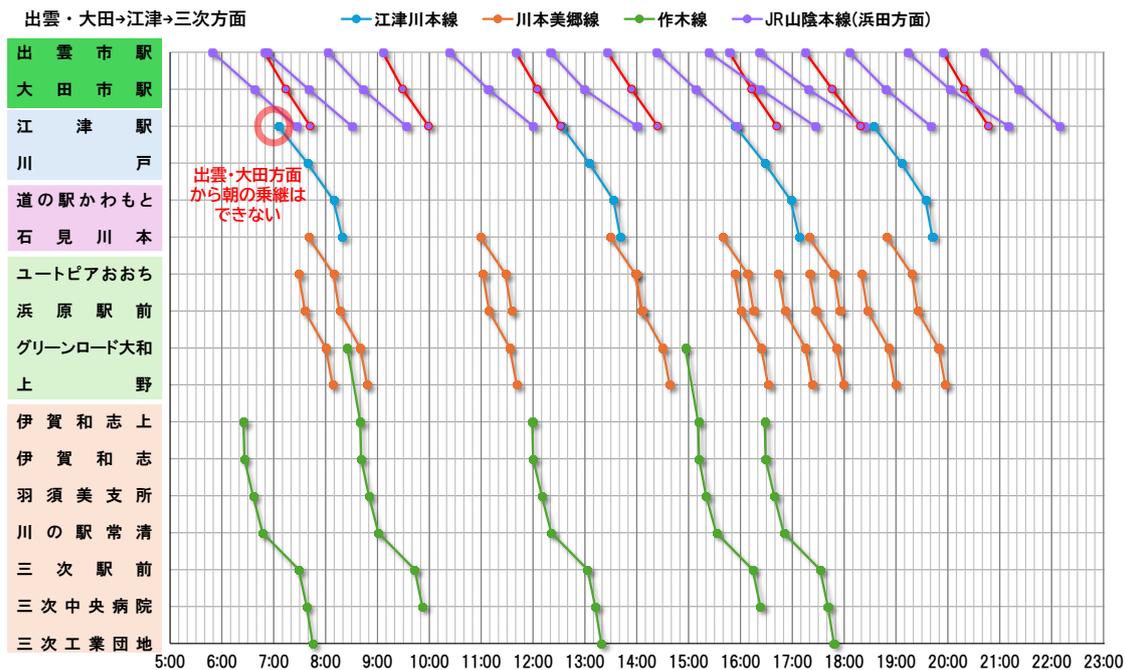


図 50 JR 山陰本線と三江線沿線地域の市町間交通の接続(出雲・大田→江津→三次方面)

③江津川本線⇒JR 山陰本線(浜田方面)

○江津川本線から JR 山陰本線（浜田方面）への接続は、14 時台と 20 時台の接続が悪くなっています。

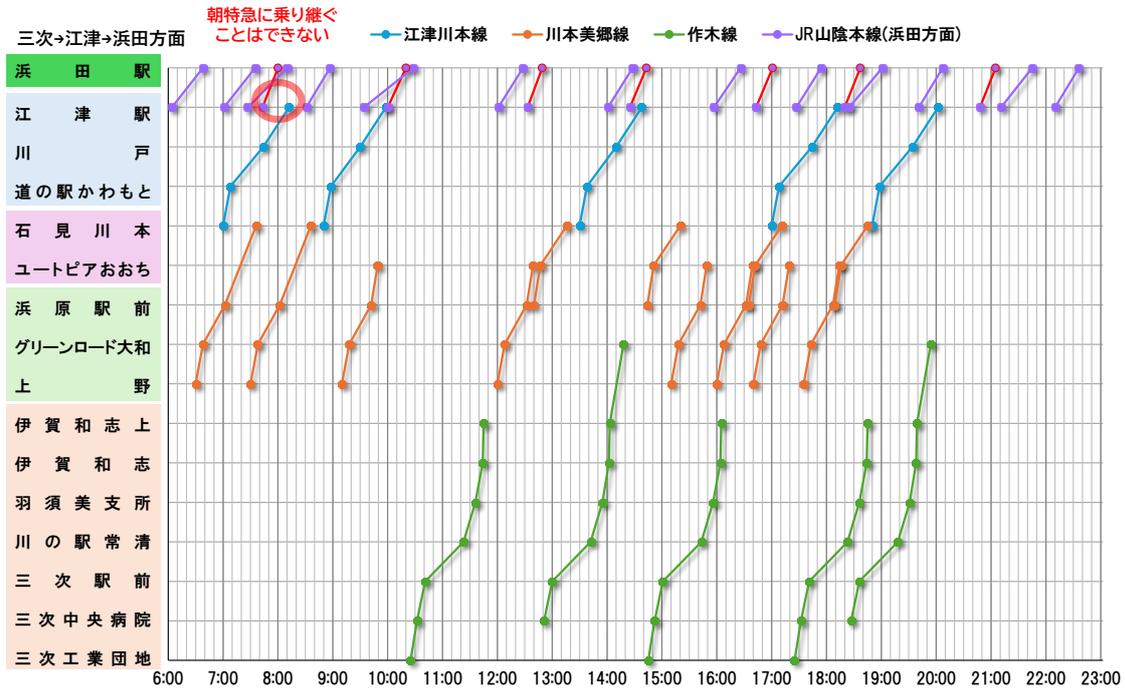


図 51 JR 山陰本線と三江線沿線地域の市町間交通の接続(三次→江津→浜田方面)

④江津川本線⇒JR 山陰本線(大田・出雲方面)

○江津川本線から JR 山陰本線（大田・出雲方面）への接続は、18 時台以外の接続が悪くなっています。

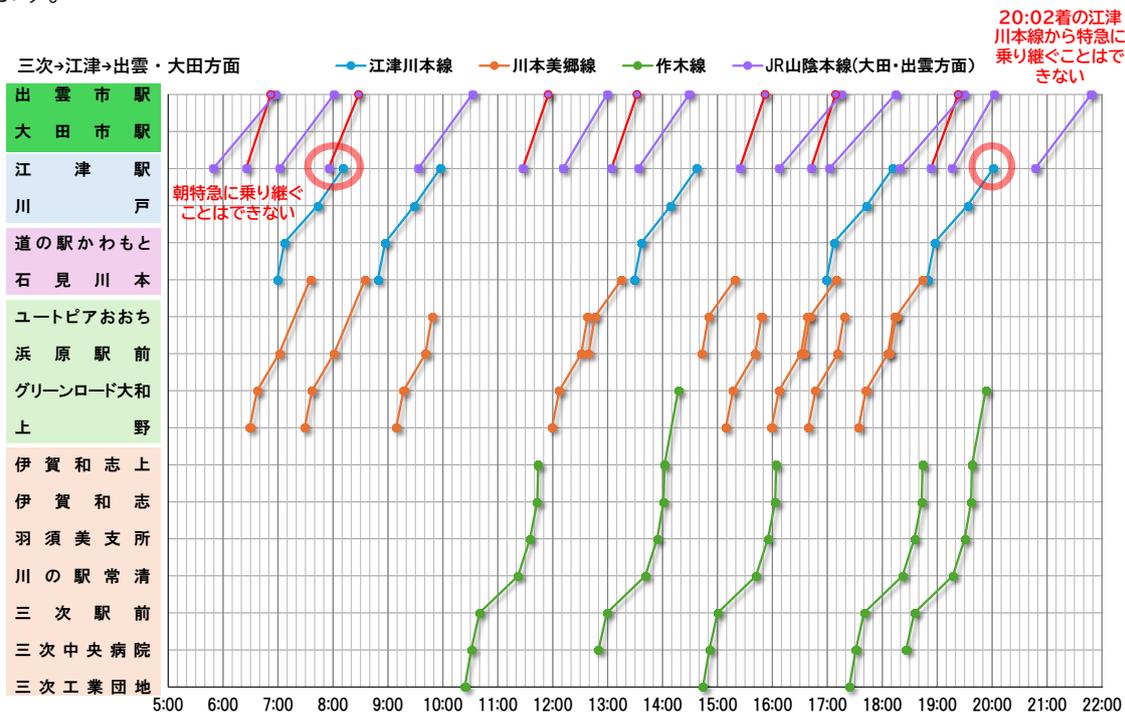


図 52 JR 山陰本線と三江線沿線地域の市町間交通の接続(三次→江津→出雲・大田方面)

(5) JR 芸備線と作木線の接続

① JR 芸備線(備後落合方面)⇒作木線

○JR 芸備線(備後落合方面)と作木線については、8 時台、16 時台、20 時台で接続が悪くなっています。

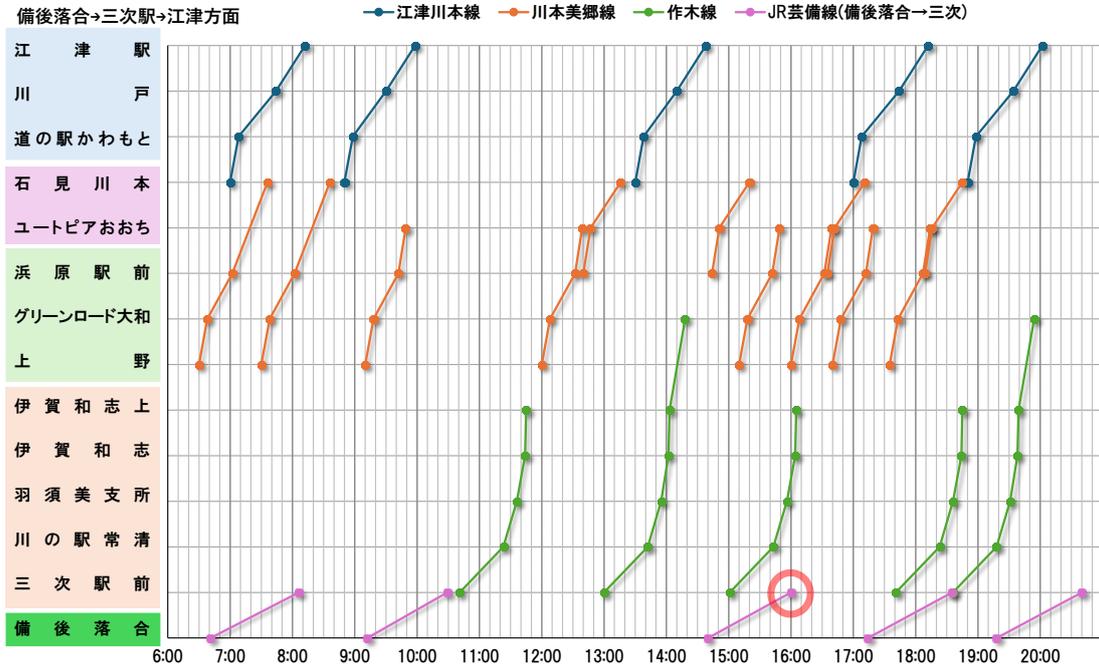


図 53 JR 芸備線と三江線沿線地域の市町間交通の接続(備後落合→三次駅→江津方面)

② JR 芸備線(広島方面)⇒作木線

○JR 芸備線(広島方面)と作木線については、概ね良好な接続となっています。

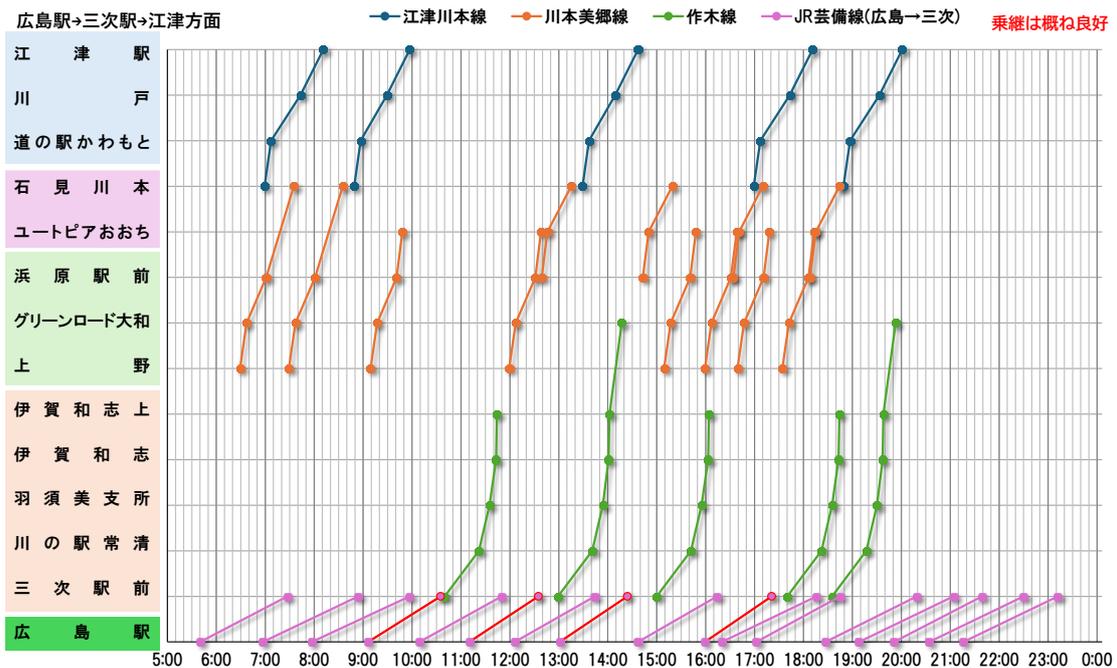


図 54 JR 芸備線と三江線沿線地域の市町間交通の接続(広島駅→三次駅→江津方面)

③作木線⇒JR 芸備線(備後落合方面)

○作木線と JR 芸備線（備後落合方面）との接続は、7 時台と 16 時台以外は待ち時間が 2 時間以上発生するなど、非常に悪くなっています。

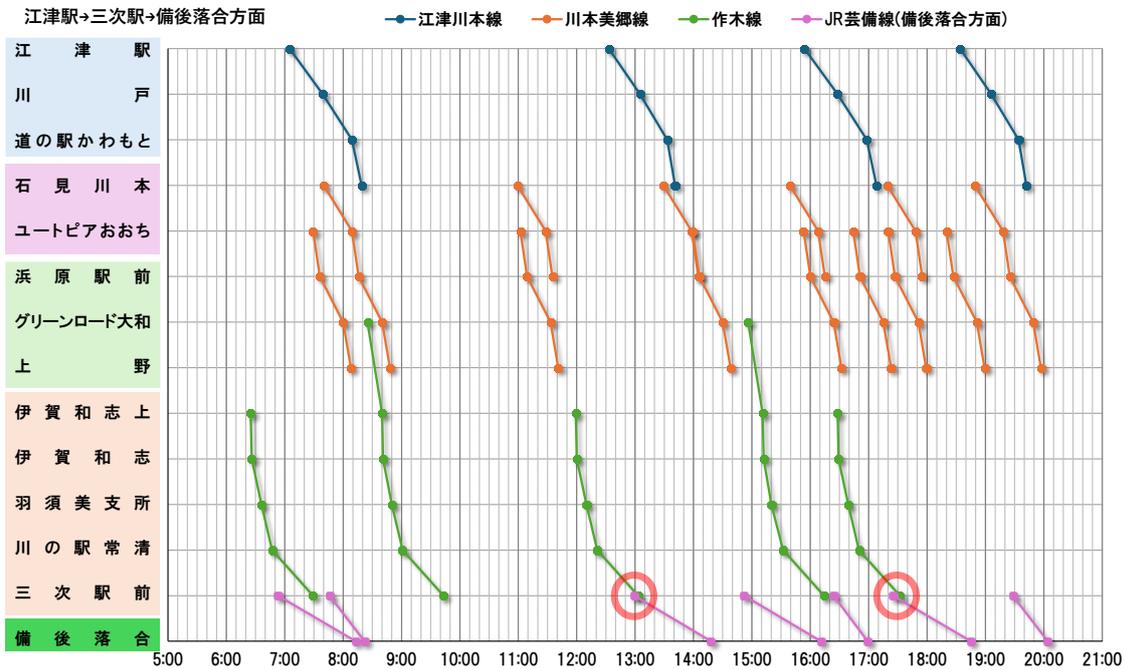


図 55 JR 芸備線と三江線沿線地域の市町間交通の接続(江津駅→三次駅→備後落合方面)

④作木線⇒JR 芸備線(広島方面)

○作木線と JR 芸備線（広島方面）との接続は、午前中の接続が悪くなっています。

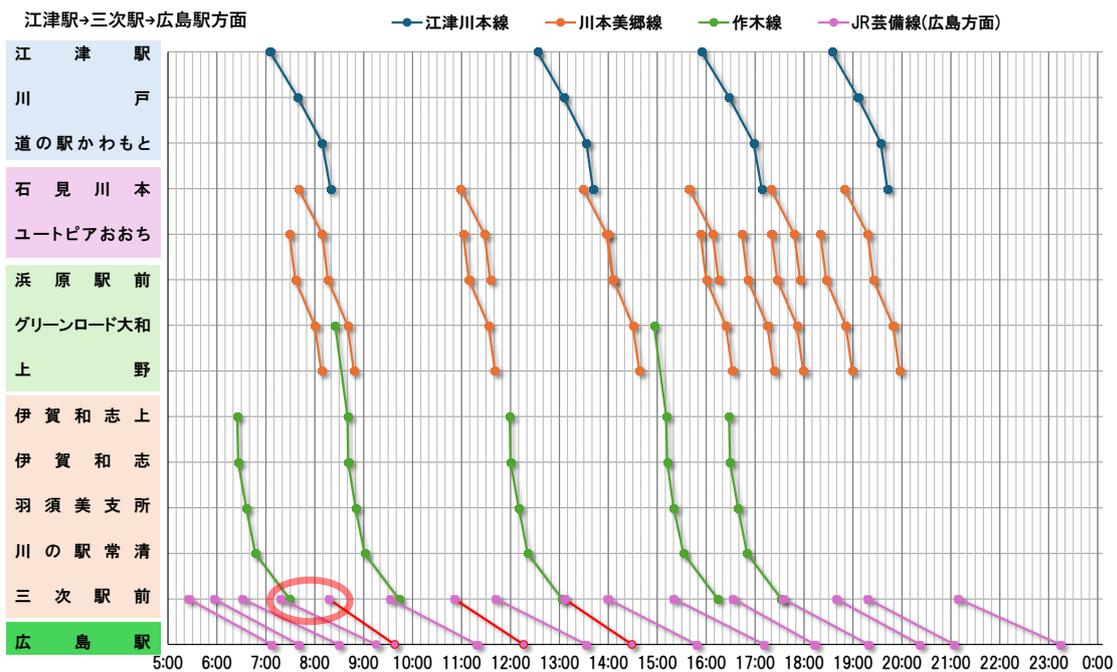


図 56 JR 芸備線と三江線沿線地域の市町間交通の接続(江津駅→三次駅→広島駅方面)

(6)JR 福塩線と作木線の接続

①作木線⇒JR 福塩線

○JR 福塩線は 8 時から 13 時の間運行していないため、作木線と 30 分以内で接続している便は 8 時台のみとなっています。

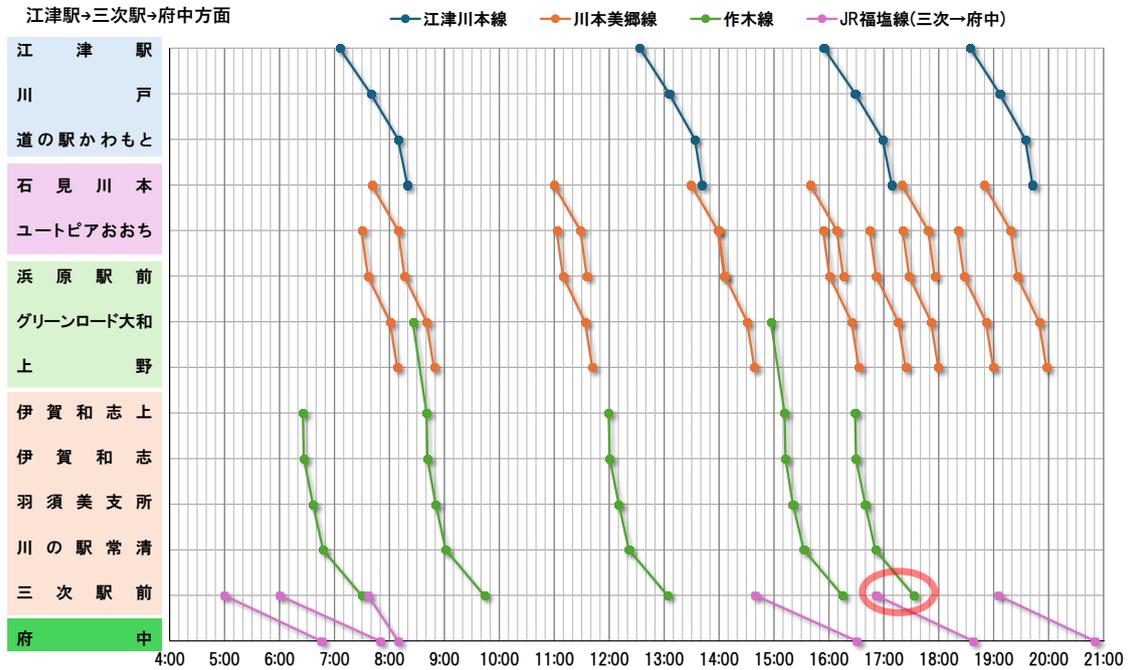


図 57 JR 福塩線と三江線沿線地域の市町間交通の接続(江津駅→三次駅→府中方面)

②JR 福塩線⇒作木線

○JR 福塩線から作木線への接続についても、福塩線が 9 時から 15 時の間運行していないため、接続は非常に悪くなっています。

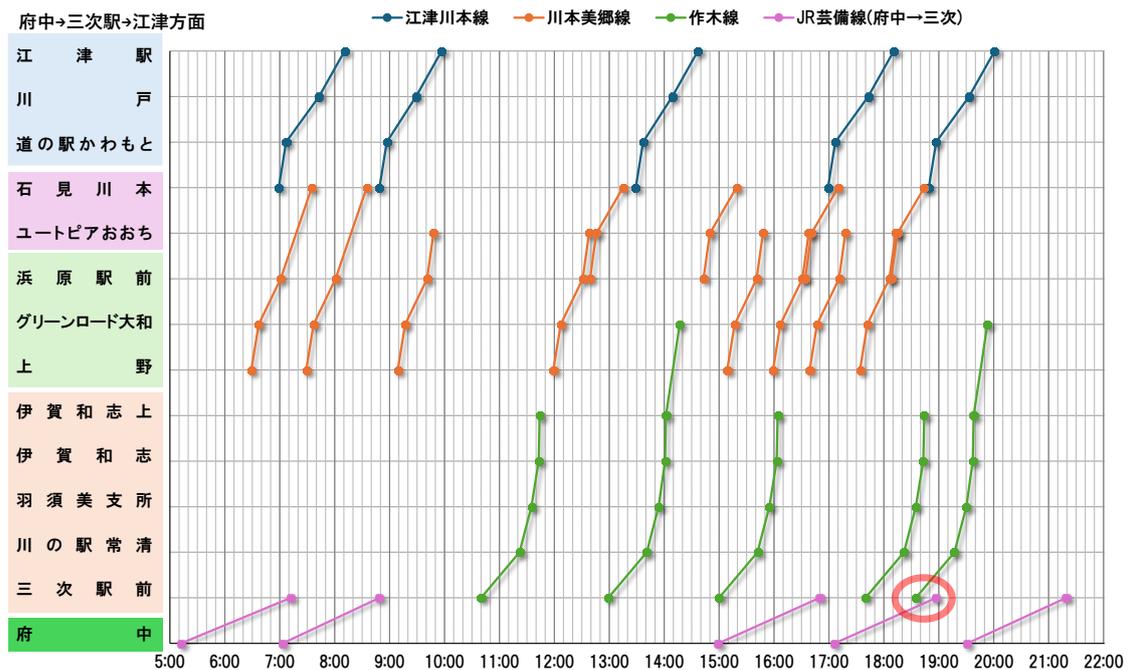


図 58 JR 福塩線と三江線沿線地域の市町間交通の接続(府中→三次駅→江津方面)

(7)式敷三次線・川の駅三次線と高速バスとの接続

①式敷三次線・川の駅三次線⇒高速バス

○高速バスの便数が多いですが、式敷三次線・川の駅三次線とも高速バスと同時刻の着発であったり、待機時間が短い箇所があったりし、かならずしも接続がよいとは言えない状況にあります。

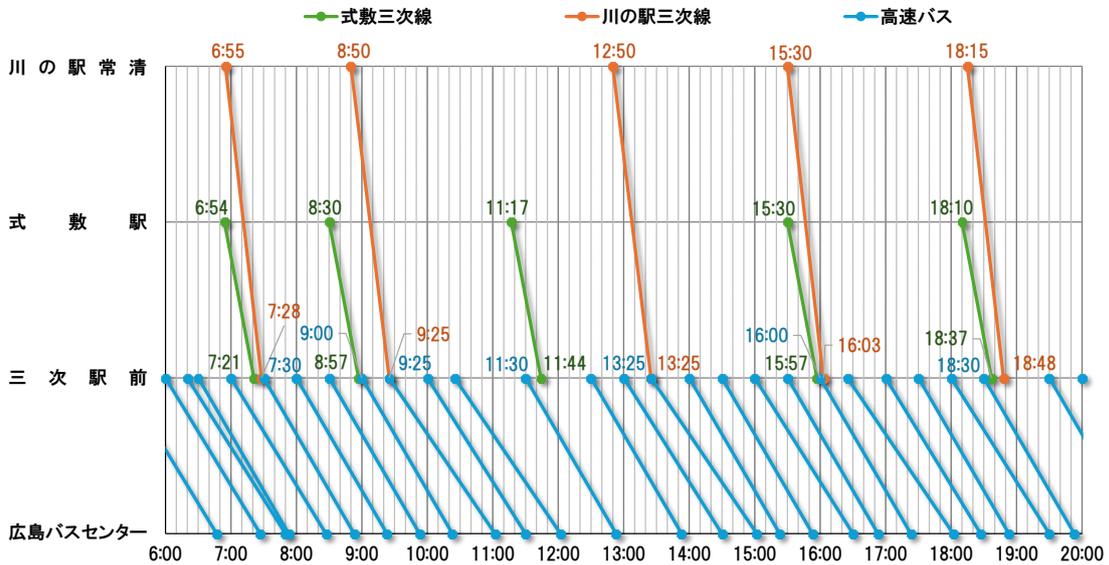


図 59 式敷三次線及び川の駅三次線と高速バスとの接続状況(行き)

②高速バス⇒式敷三次線・川の駅三次線

○30分以内で接続している便もみられる一方、待機時間が30分以上の便もあります。

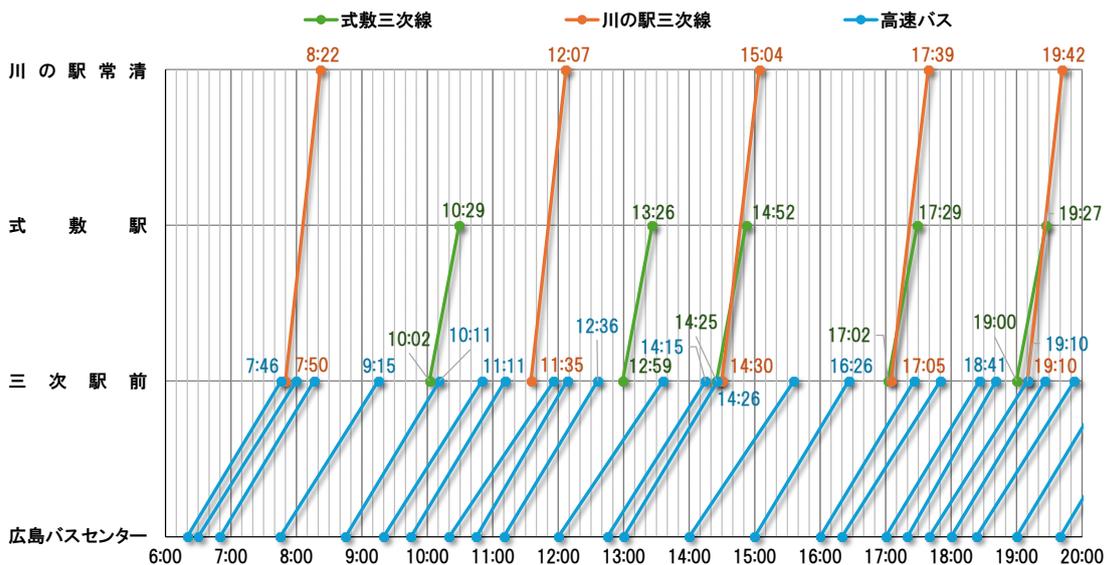


図 60 式敷三次線及び川の駅三次線と高速バスとの接続状況(帰り)

(8)美郷町(大和地域)～邑南町間の移動可能性

①美郷町(大和地域)から邑南町への移動需要

○令和5年度に実施した美郷町住民アンケート調査によると、大和地域でよく行く通院先として比之宮地区で邑南町の「公立邑智病院」がトップに挙げられています。

潮・曲利(n=18)	件数	都賀行(n=25)	件数	長藤(n=24)	件数
ひらた歯科医院	7	大田市立病院	7	美郷町国民健康保険大和診療所	10
大田市立病院	7	美郷町国民健康保険大和診療所	7	市立三次中央病院	4
秦クリニック	4	秦クリニック	5	ひらた歯科医院	3
美郷町国民健康保険大和診療所	4	波多野診療所	4	大田市立病院	3
島根大学医学部付属病院	2			島根大学医学部付属病院	3
波多野診療所	2				

比之宮(n=48)	件数	都賀西(n=25)	件数	都賀本郷(n=40)	件数
公立邑智病院	17	美郷町国民健康保険大和診療所	9	美郷町国民健康保険大和診療所	19
星ヶ丘クリニック	14	ひらた歯科医院	4	市立三次中央病院	9
美郷町国民健康保険大和診療所	9	市立三次中央病院	4	ひらた歯科医院	3
ふじわら眼科クリニック	3	波多野診療所	4	秦クリニック	3
市頭眼科医院	3	島根大学医学部付属病院	3	備北眼科	3
市立三次中央病院	3				

上野(n=27)	件数
美郷町国民健康保険大和診療所	12
市立三次中央病院	4
松岡歯科医院	4
ひらた歯科医院	3
小川眼科	3

大和地域比之宮で公立邑智病院への通院需要がある。

※美郷町地域公共交通計画(令和6年3月)住民アンケート調査結果
 ※連合自治会別に上位5件を抽出(1件以下は除外)

図 61 美郷町大和地域の日常生活における移動状況 よく行く通院先

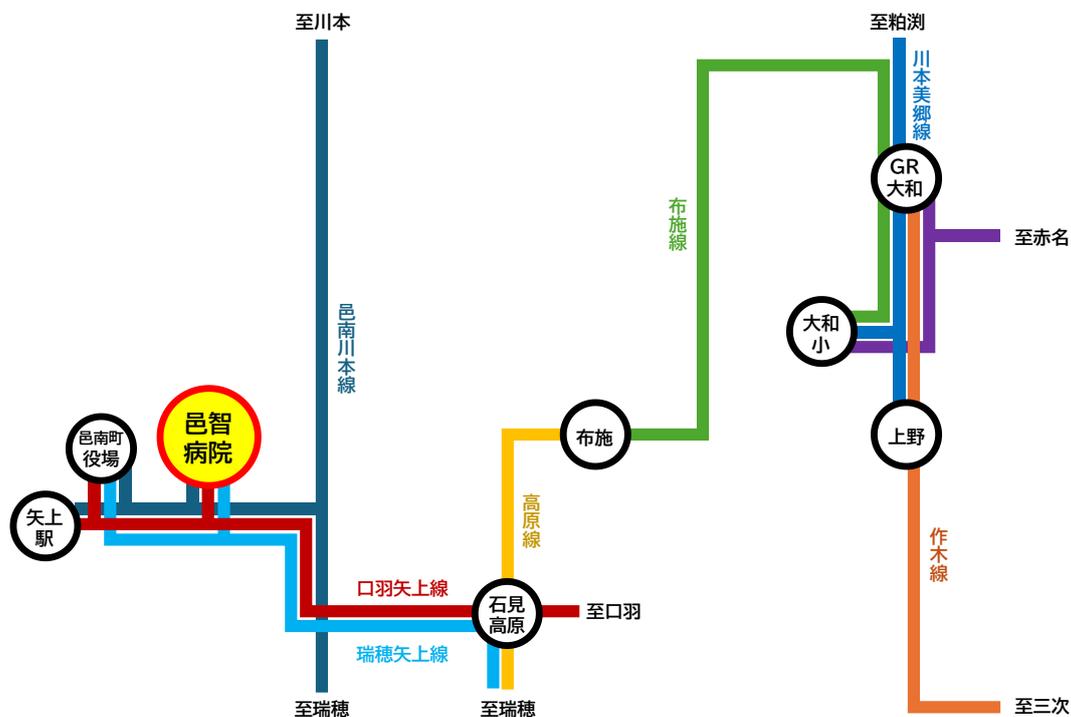


図 62 邑南町営バス(おおなんバス)路線図及び美郷町内バス路線図
 (美郷町大和地域から邑南町石見地区までのアクセス検討の参考)

①美郷町(大和地域)⇒邑南町(布施地区)⇒邑智病院

○布施線でグリーンロード大和から布施まで行き、おおなんバス高原線で石見高原まで行って瑞穂矢上線に乗り換えれば邑智病院に行くことは可能ですが、2回乗換が発生するなど利便性が高いとはいえません。

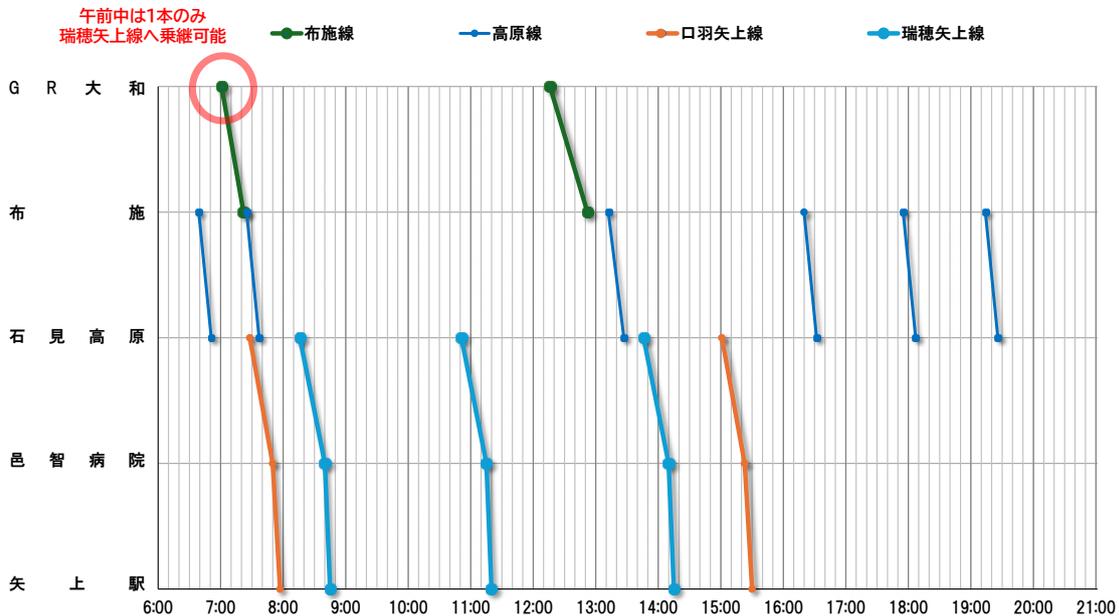


図 63 邑南町営バス(おおなんバス)及び美郷町内バスの接続状況(GR 大和⇒矢上駅)

②邑智病院⇒邑南町(布施地区)⇒美郷町(大和地域)

○邑智病院からの帰りについては、瑞穂矢上線、高原線、布施線を乗り継いで13時台にグリーンロード大和まで帰ることができますが、2回の乗り換えと石見高原で約1時間の待機時間が発生するなど利便性は低くなっています。

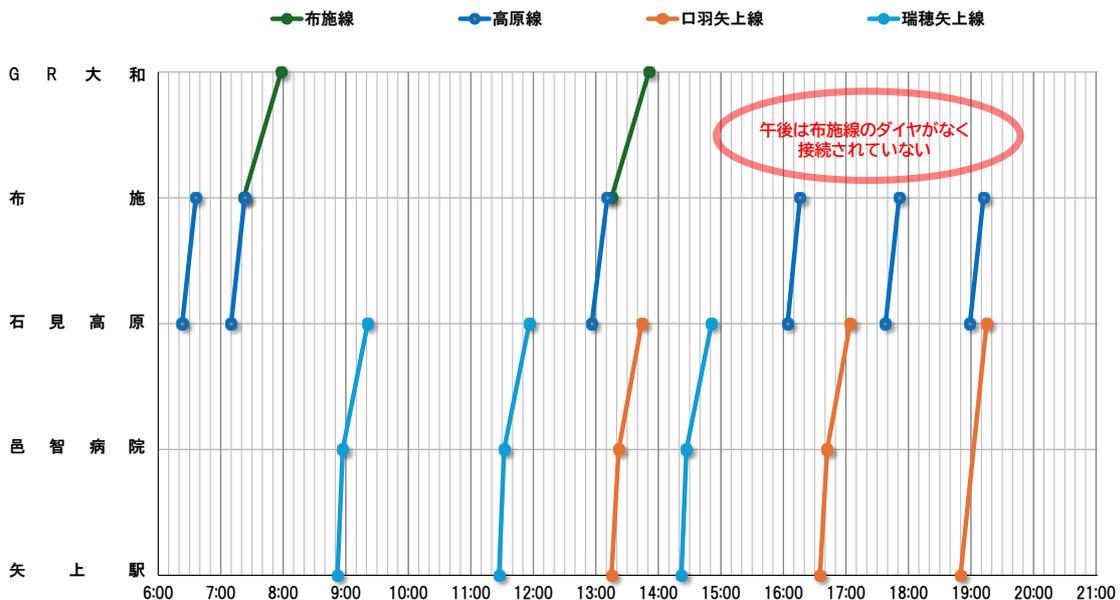


図 64 邑南町営バス(おおなんバス)及び美郷町内バスの接続状況(矢上駅⇒GR 大和)

2-7-6 公共交通が利用しにくい地域

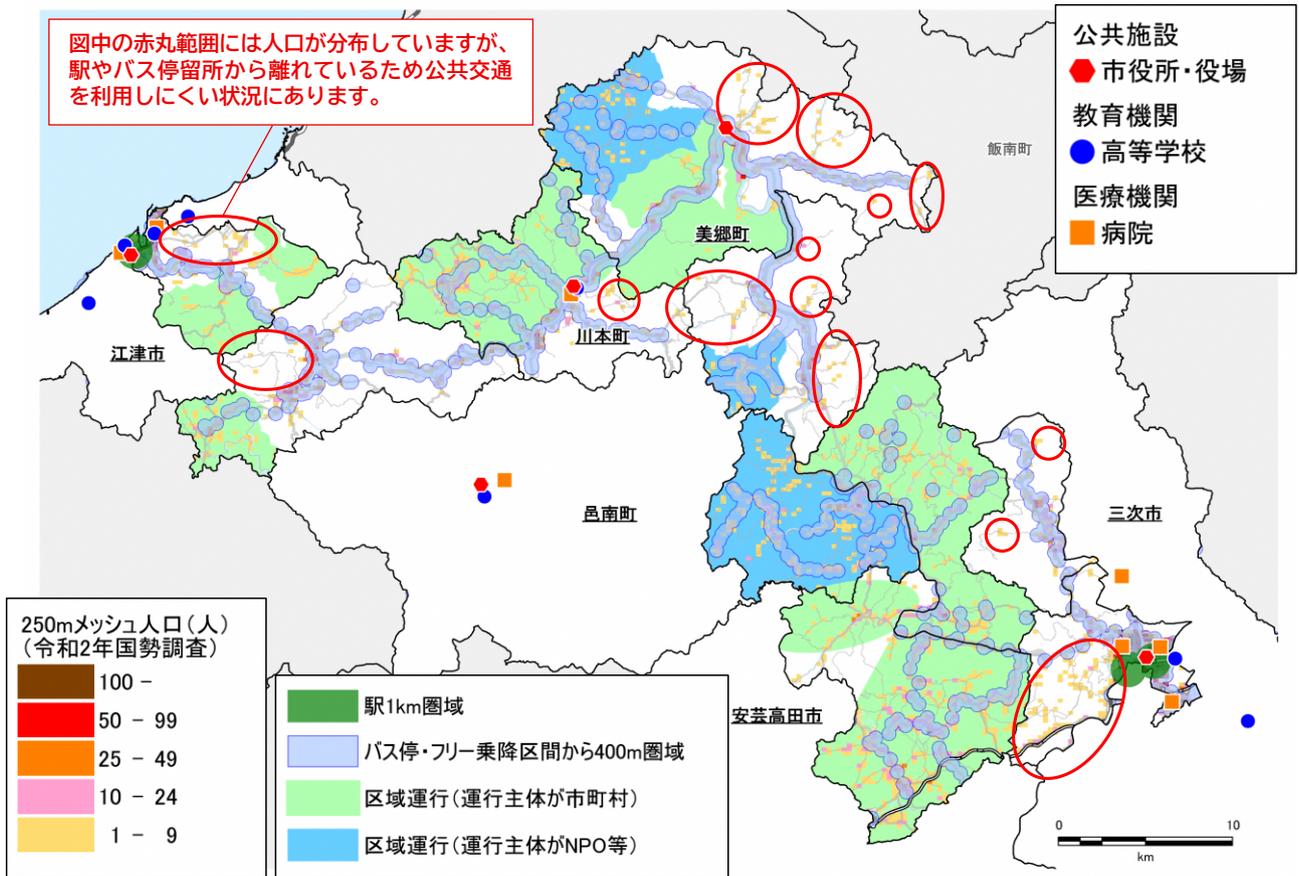


図 65 250m メッシュ人口分布と公共交通(バス・乗合タクシー等)が利用しにくい地域(赤丸箇所)

2-7-7 タクシー

○三江線沿線地域では、邑南町（羽須美）や三次市（作木）において、タクシー営業所から離れた地域が存在します。

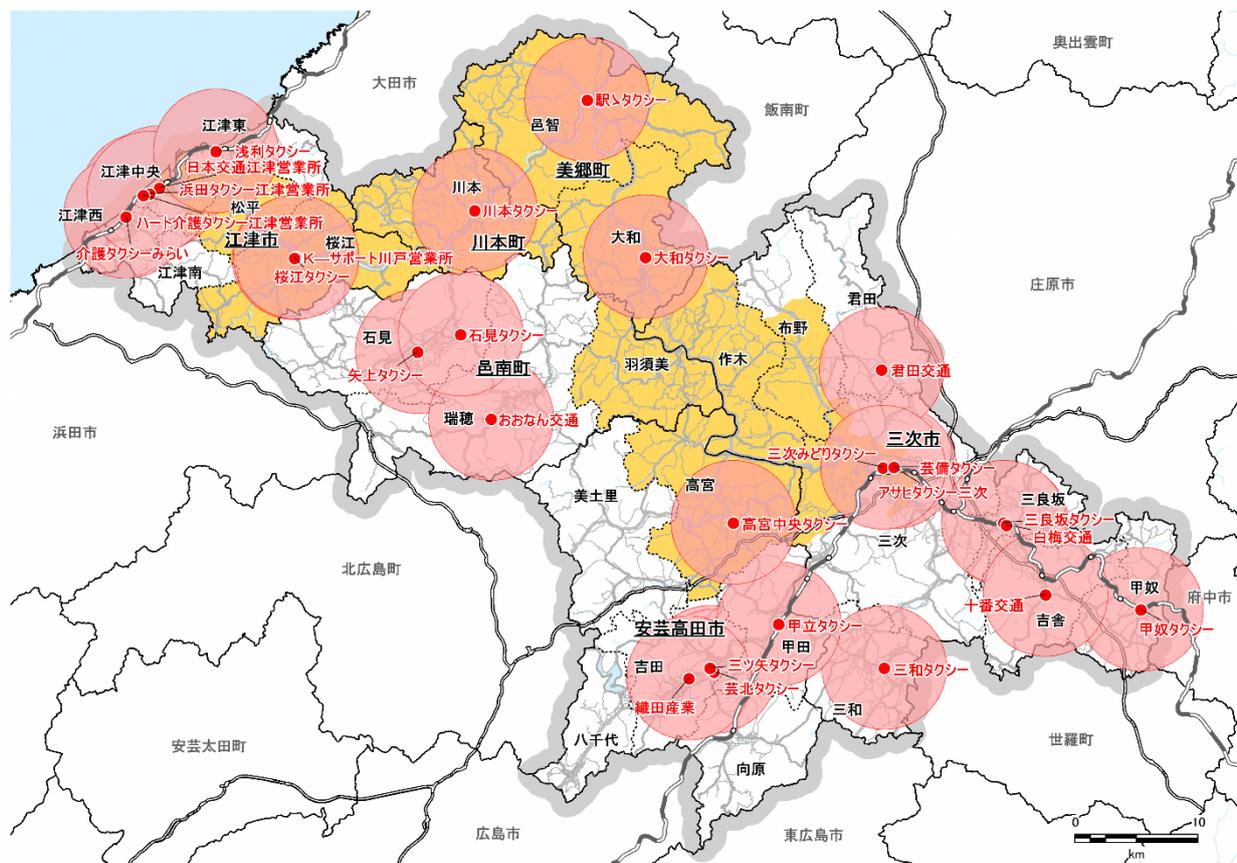


図 66 タクシー会社営業所・車庫の分布

2-8 社会環境

2-8-1 道路環境

- 山地部の狭い道路が多く、対向車との離合が困難な区間や、自然災害による道路の通行止めが度々発生する地域があり、道路環境の改善が望まれる地域があります。
- 大型車両の進入が困難な集落が点在しています。
- バスが江の川を渡ることが困難な区間があることで、公共交通が利用しにくい、または接続しにくい場合があります。



図 67 狭あい道の一例(川本町-美郷町間)

2-8-2 燃料費の上昇

- 全国的な傾向として、燃料費が上昇傾向にあります。
- 島根県における軽油の給油所小売価格は、2020年1月6日時点では134.8円であったのに対して、2025年12月22日時点では151.1円となっています。同じく島根県におけるレギュラーガソリンの給油所小売価格は153.0円から160.2円に上昇しています。



参照:給油所小売価格調査 経済産業省 資源エネルギー庁

図 68 全国と島根県における軽油及びレギュラーガソリンの給油所小売価格の推移

2-8-3 ドライバーの担い手不足

○県内のバス・タクシードライバー数は減少傾向にあります。また、平均年齢は全産業に比べて高くなっています。

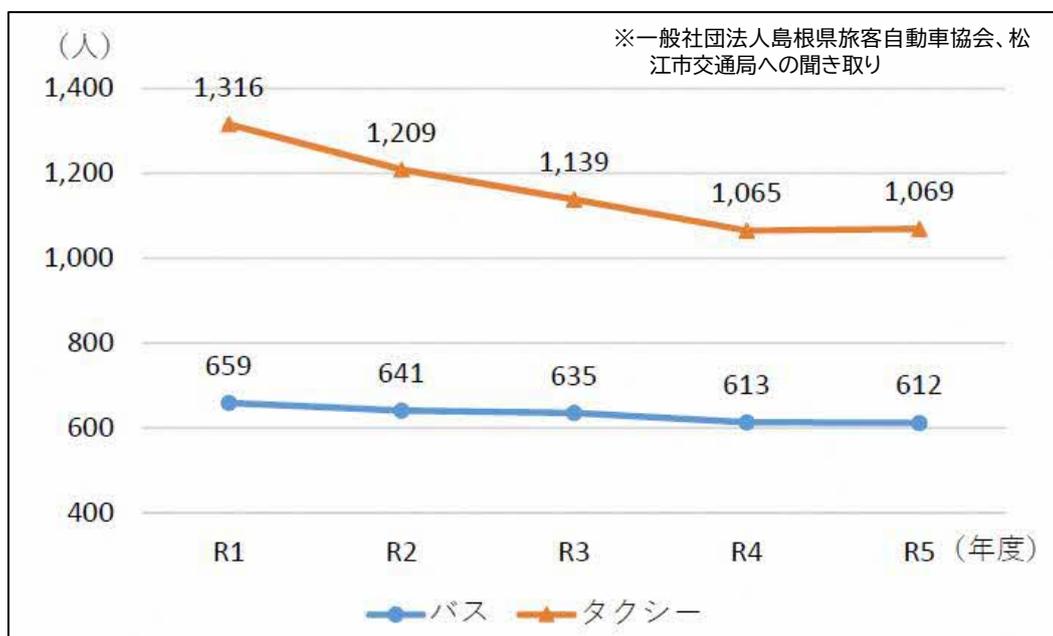


図 69 島根県内におけるバス・タクシー運転手数の推移

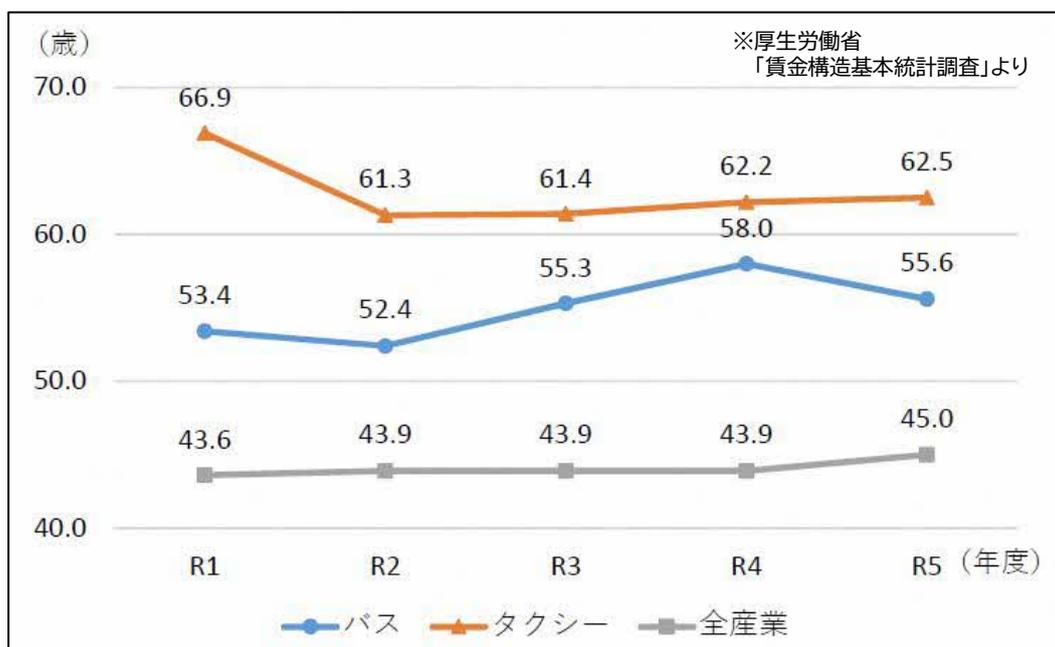


図 70 島根県内におけるバス・タクシー運転手の平均年齢の推移

※図 69、図 70 出典：中山間地域をはじめとした島根の生活交通を考えるプロジェクトチーム 最終とりまとめ(令和 6 年 9 月)

Ⅲ. 上位計画

3-1 各自治体の総合計画

3-1-1 第6次江津市総合振興計画

計画の概要	
計画の期間	令和2年度～令和11年度
めざす将来像	小さくともキラリと光るまち ごうつ
公共交通に関連した項目	
総合的な交通ネットワークの充実	<ul style="list-style-type: none"> ○公共交通ネットワークの構築（重点プロジェクト） ・通勤・通学や通院、買物などの生活交通の確保・充実 ・居住拠点と中心市街地を結ぶ公共交通ネットワークの確保 ・鉄道、バスに加え、タクシーを活用した住民輸送網の構築 ・ICTを活用した予約・運行システム構築の検討
その他の関連した項目	
観光PRの推進	○ホームページなどによる情報発信の強化
バリアフリーの推進	<ul style="list-style-type: none"> ○バリアがない移動空間の確保 ○バリアフリー情報の提供 など
道路網の整備	<ul style="list-style-type: none"> ○国道261号の改良促進 ○主要な県・市道の改良促進 など
市街地の計画的な整備	<ul style="list-style-type: none"> ○都市拠点区域の整備 ○都市計画道路の整備 など
コミュニティ活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○地域コミュニティ活動の活性化支援 ○小さな拠点づくりの展開 など
市民とともに考え、築きあげる協働のまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ○協働型の地域づくりの展開 ○近隣自治体との連携 など

3-1-2 第6次川本町総合計画

計画の概要	
計画の期間	令和3年度～令和12年度
めざす将来像	たすけあい・支えあう中で、自分らしく暮らし続けられるまち
公共交通に関連した項目	
地域間交通の維持・確保	<ul style="list-style-type: none"> ○路線バスの維持・確保 ○利便性の向上に向けた協議の継続
町内移動手段の維持・充実	<ul style="list-style-type: none"> ○公共交通の運行の見直し ○町内公共交通の維持・確保 ○地域内の移動手段の確保 ○免許返納者等への支援 ○人材の確保・育成
その他の関連した項目	
観光・交流の充実	○関連市町村と連携した広域観光の推進 など
町の拠点エリアの魅力向上	○旧J R石見川本駅周辺の利活用の検討 など
道の駅を中心にした経済循環の拡大	○地域ブランドの発信拠点としての機能充実 など
新たな経済循環の形成	<ul style="list-style-type: none"> ○観光における経済循環の向上 ○新しい物流の仕組みづくり など
中心市街地の機能強化	<ul style="list-style-type: none"> ○都市マスタープラン等の作成 ○生活サービス施設の維持・充実
道路の維持・整備	<ul style="list-style-type: none"> ○国道・県道の整備促進 ○町道、農林道の維持・改善 ○交通安全対策の充実
教育環境の充実	○児童・生徒の通学環境の充実 など
危機管理体制の充実	○(大規模災害発生時における)復旧体制の構築 など

3-1-3 美郷町第2次長期総合計画

計画の概要	
計画の期間	平成 28 年度～令和 7 年度
めざす将来像	美しいまち・ひと・くらしがつながる みんなの美郷
公共交通に関連した項目	
道路交通網の整備	<p>○公共交通の利便性の向上と効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域内交通の充実として、路線バスの効率的な運行について見直しを行い、交通資源の適正配置を行う。 ・デマンド型乗合タクシーの運行、タクシー利用助成事業の継続を行い、公共交通不便地域の解消を図る。 ・旧三江線の代替交通も含め、県、近隣市町や関係団体とともに、持続可能な公共交通のあり方を検討する。 など
その他の関連した項目	
観光・レクリエーションの振興	<p>○観光資源の活用（温泉、石見神楽、雲海等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多彩な観光資源を生かし、体験型観光プログラムや周辺自治体と連携した周辺観光等の広域観光連携の推進により、誘客促進を図り交流人口の拡大を目指す。 ・HPやSNS等の様々な情報発信ツールを活用し、魅力ある資源を積極的に発信する。 <p>○広域観光の推進（ワイナリー・リゾート・タウン構想等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域に根差し、地域を堪能できるワイナリー・リゾート・タウン構想を進め、広域的かつ滞在できる観光を推進する。
地域自治の充実と協働の推進	<p>○持続可能な地域コミュニティ・運営の仕組みづくり（小さな拠点づくり）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治組織の地域活動に対しての支援を行う。 ・小さな拠点づくりを推進するため集落支援員を配置し、地域活動の課題の解決に向けた取り組みを支援する。 <p>○町民・多様な主体の力を結集した取り組みの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民や地域、行政等が協働し、住民活動の支援や連携、協力体制の充実、推進のための環境を整える。また、住民の主体的な相互扶助によるコミュニティづくりを推進するために、地域資源や特性を生かしながら、地域組織等を支援し、そのリーダーや担い手の育成を図る。

3-1-4 邑南町第2次総合振興計画

計画の概要	
計画の期間	平成 28 年度～令和 7 年度
めざす将来像	心かよわせ ともに創る 邑南の郷
公共交通に関連した項目	
利用しやすく 持続可能な 公共交通体系 の整備	<ul style="list-style-type: none"> ○生活交通確保のための具体的な施策については、町的生活交通検討委員会や地域公共交通会議と協議しながら進める。また、川本町邑南町広域公共交通協議会と協調しながら事業を展開する。 ○JR 三江線については、島根県、広島県、三江線改良利用促進期成同盟会、三江線活性化協議会、その他の関係団体と連携して路線の維持に向けた取り組みを進める。 ○生活交通の確保にあたっては、民間が運行している幹線交通バス、町が運行する町営バス、スクールバス、福祉バス等を効果的に体系化し、地元タクシー事業者やバス運行委託業者と連携して、安全性と利便性に配慮した持続可能な生活交通システムの構築をめざす。 ○観光客や町民のレジャー利用等、新たな利用者確保に向けた施策を検討し、バスの利用促進を図るとともに民間バス路線の維持を支援する。 ○必要な車両や施設の整備を行うとともに、タクシーやミニバスによる公共交通の補完体系づくりなど、利用者の立場に立った総合的なサービス体制の構築を図る。 ○交通空白・不便地域については、自治会等が行う輸送活動への支援を検討する。 ○高齢者や障がい者などの交通弱者に対するタクシー等の利用の支援、社会福祉法人等による福祉有償運送など、外出支援を進める。
その他の関連した項目	
活力ある商工業 の振興	<ul style="list-style-type: none"> ○公民館単位の地域においてコミュニティビジネスを推進するとともに支援体制を整備する。
魅力ある観光の 振興	<ul style="list-style-type: none"> ○豊かな自然・歴史・文化を活用した観光ルートの整備を図る。 ○近年増加している訪日外国人観光客を本町へ呼び込むための対策を実施する。 ○邑南町観光協会との連携を深めながら観光案内体制を強化する。 ○広島市、浜田市をはじめ近隣市町と連携し、「神楽」「特産品」「交通」など共通項を整理しながら広域的な観光を推進する。 など
広域連携と交流 ネットワークづくり の促進	<ul style="list-style-type: none"> ○広域的な視点による事務事業の相互補完を進めるため、引き続き近隣自治体等との連携を推進する。 ○近隣自治体と連携した交流事業や観光振興を進める。 など

3-1-5 第2次安芸高田市総合計画

計画の概要	
計画の期間	平成 27 年度～令和 6 年度
めざす将来像	人がつながる田園都市 安芸高田
公共交通に関連した項目	
公共交通体系の整備	<ul style="list-style-type: none"> ○新公共交通システムの充実 <ul style="list-style-type: none"> ・住民ニーズを踏まえた運行システムの継続的改善により、更なる利便性の向上とシステム定着を図る。 ・車両更新等の維持管理費を含めた業務委託料の見直し等により、将来的な一般財源抑制策を検討する。 ○交通結節点の利便性向上 <ul style="list-style-type: none"> ・効率的でサービス低下を招かない管理運営体制の構築を進める。
その他の関連した項目	
高齢者福祉の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者にやさしいまちづくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の安全や利便性に配慮した住宅の供給を検討するとともに、高齢者が安心して地域で生活できるよう、公共施設、交通機関等のバリアフリー化を促進する。
観光・交流の振興	<ul style="list-style-type: none"> ○観光の推進体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・周辺自治体と連携した観光キャンペーンの実施等、広域的な PR 展開を行う。 など
参加と協働によるまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ○住民参加体制の確立 <ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップ等を積極的に開催し、住民参加の機会の充実を図る。 ○広報・広聴活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・親しみやすく、より多くの市民の関心を引きつける広報紙、ホームページとなるよう創意工夫するとともに、的確な情報の速やかな提供に努める。

3-1-6 第3次三次市総合計画

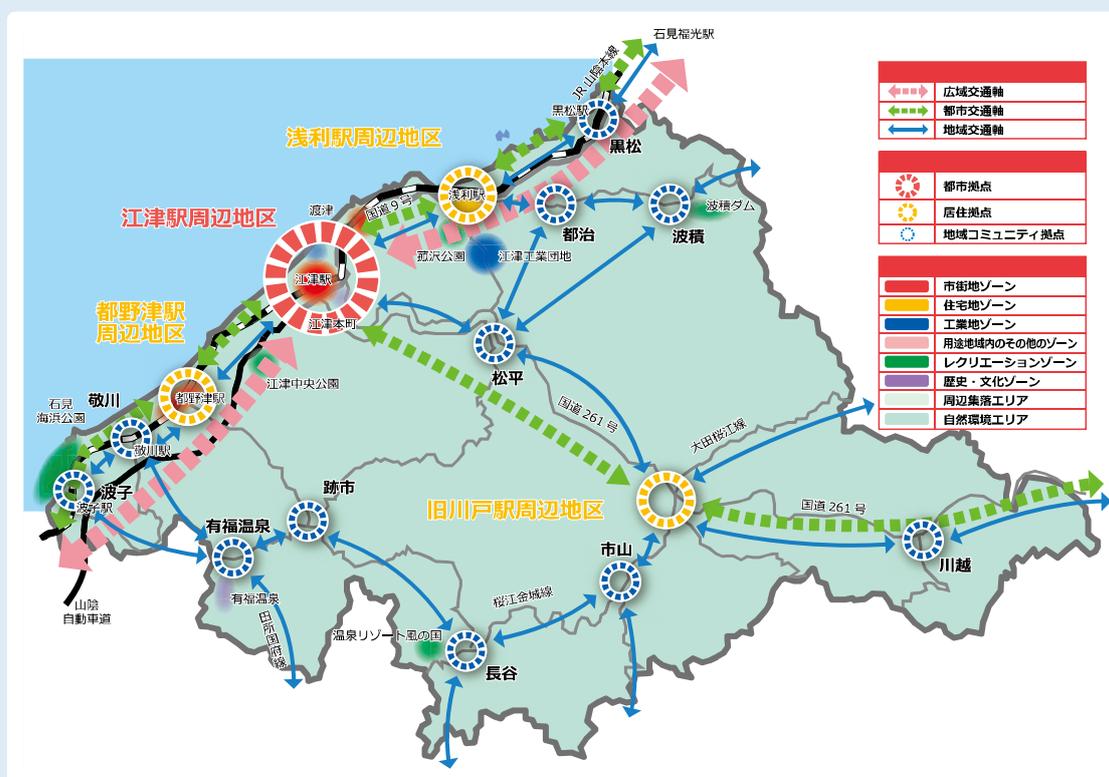
計画の概要	
計画の期間	令和6年度～令和15年度
めざす将来像	人と想いがつながり、未来につなぐまち
公共交通に関連した項目	
持続可能な地域公共交通の確立	<ul style="list-style-type: none"> ○利用者のニーズを踏まえた交通体系の見直しなど、地域の実態に応じた移動環境づくりを推進する。 ○デジタル技術を活用しながら、高齢者など誰もが安心して暮らせるための移動手段の確保を図る。 ○JRなど広域移動を担う公共交通の維持のため、デジタル技術を活用しながら利用促進や利便性の向上に取り組む。 ○交通を地域の暮らしと一体として捉え、地域課題の解決につなげるため、様々な分野（医療、福祉、物流など）と連携した事業の調査・研究等を推進する。
その他の関連した項目	
安心して暮らし続けられる高齢者福祉の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○地域包括支援センターを中心に、医療・介護・福祉の関係者、民生委員・児童委員など地域の関係者が連携して、住み慣れた地域においてみんなで支え合うしくみをつくるため、地域包括ケアを推進する。 ○元気サロンをはじめとする介護予防（運動・食・集い等）の取組など、高齢者がいつまでも元気で活躍できるしかけづくりを推進する。
質を重視した付加価値の高い観光の実現	<ul style="list-style-type: none"> ○多様な情報発信により入込観光客の増大を図るとともに、リピート観光客の維持と新規観光客の獲得を図る。 ○近隣市町にある地域DMOなどの観光推進組織が連携し、市域を越えた周遊観光や宿泊を伴う観光の促進を図る。 ○滞在時間の延伸や、付加価値の高い地域資源を活用した魅力あふれる体験型観光プロダクトの造成を図る。
インバウンド誘客の拡大、受入環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ○対象エリアを明確にした訪日外国人観光客を誘客する取組を強化する。 ○多言語対応スポット整備や、観光スポットへの交通アクセスの改善など、外国人観光客への対応を含めた着地整備による満足度を高める。
多様なつながりを活かした地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○地域と「地域に関わりたい人」のつながりを促進し、地域課題の解決につなげる。 ○有償ボランティアのしくみなど、新たなつながりによる持続可能な地域づくりに取り組む。 など

3-2 地域公共交通計画

3-2-1 江津市地域公共交通計画

計画の概要	
計画の期間	令和5年度～令和9年度
めざす将来像	～市民の暮らしに寄り添う公共交通～
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ○まちづくりと連携した地域公共交通網の構築 ○需要に応じた利便性の確保 ○持続可能な運行体制の構築 ○利用しやすい公共交通の環境づくり

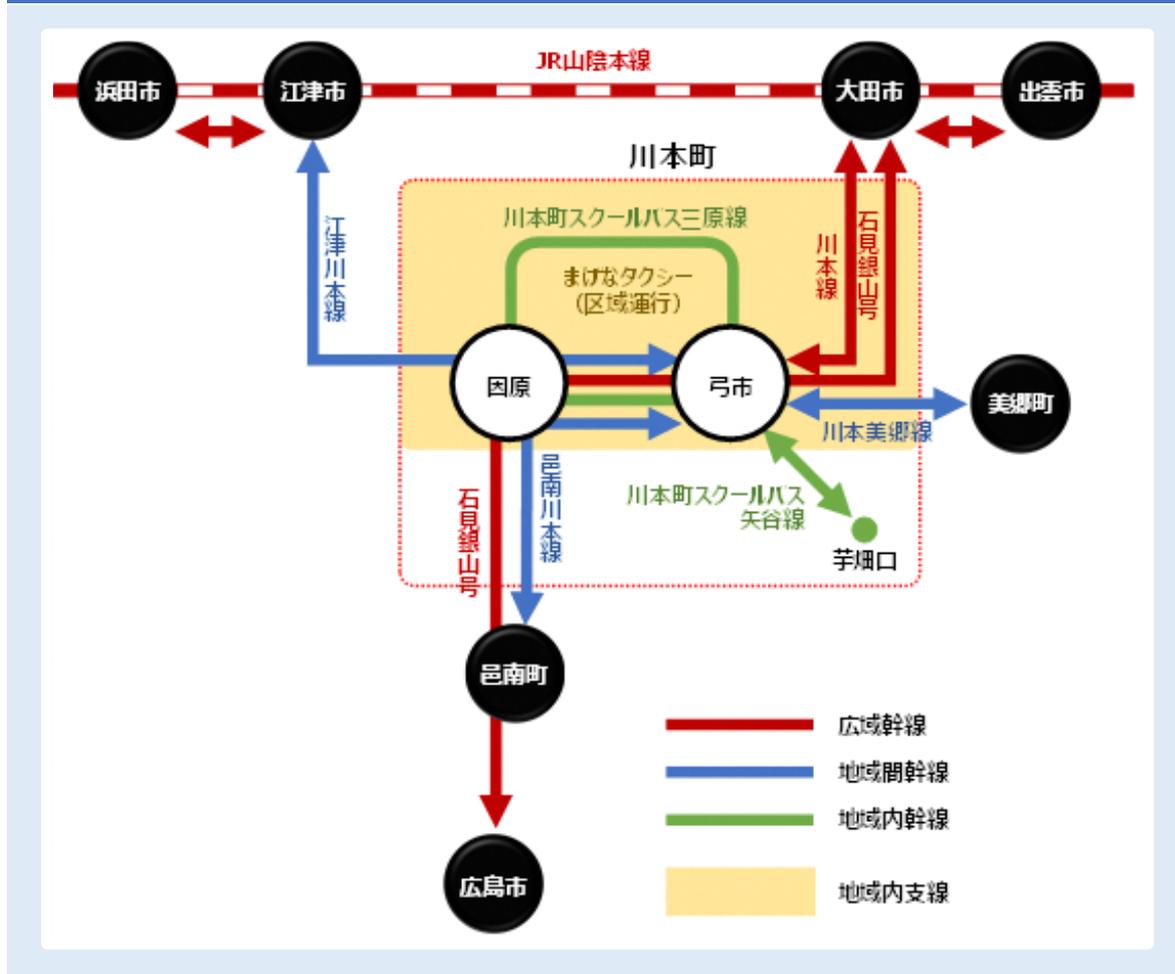
将来都市構造図案(資料:江津市都市計画マスタープラン)



3-2-2 川本町地域公共交通計画

計画の概要	
計画の期間	令和5年度～令和9年度
基本理念	住み慣れた地域での暮らしを支える交通環境整備をめざして
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ○利用者層の特性に対応した公共交通 ○町内外をスムーズにつなぐ公共交通 ○まちづくりと一体となった公共交通 ○持続可能な運行体制の構築

公共交通ネットワークの基本的な考え方

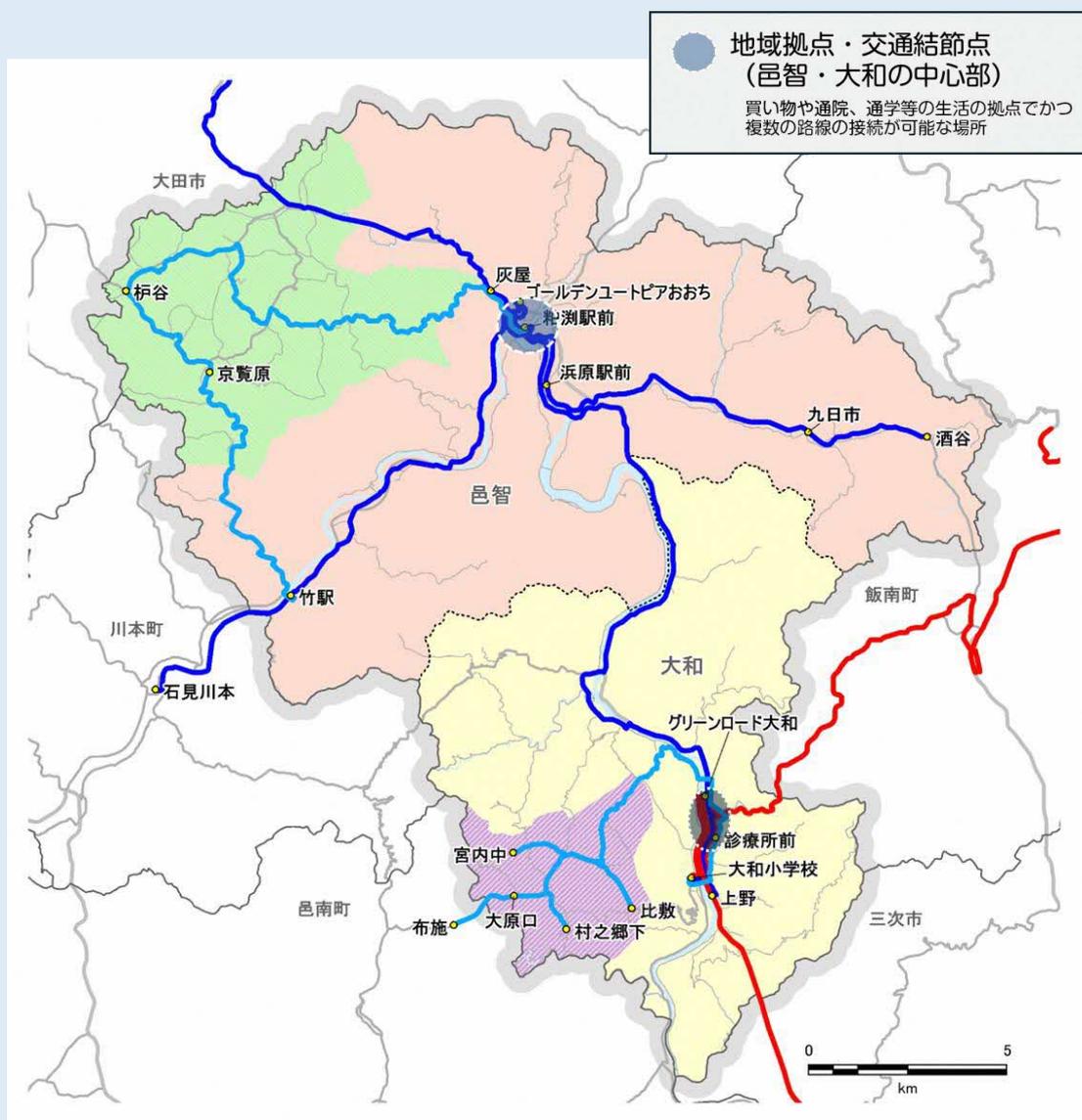


3-2-3 美郷町地域公共交通計画

計画の概要

計画の期間	令和6年度～令和10年度
基本方針	ひととひとをつなぎ、暮らしを守る 公共交通
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> ○地域公共交通の維持・確保 ○誰もが利用しやすい公共交通の整備 ○地域の特色や資源を生かした公共交通づくり

公共交通ネットワークの将来イメージ



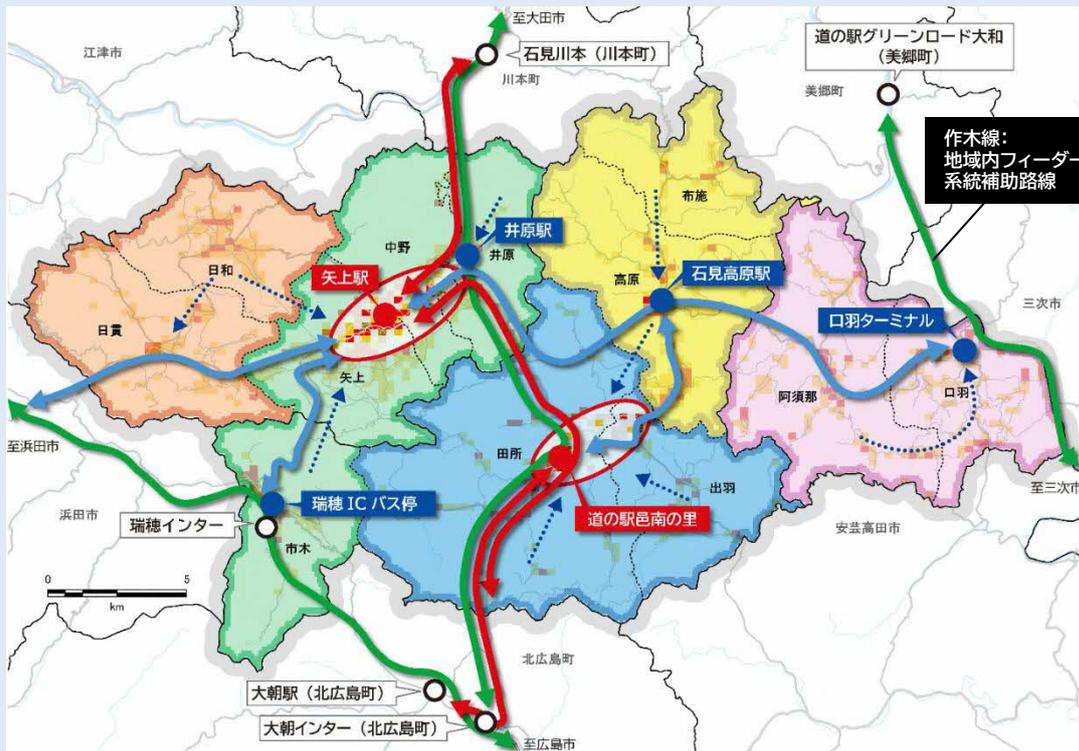
- 広域幹線 (粕渕線、川本美郷線)
- 広域交通 (作木線、谷・赤名・頓原線)
- 地域間交通 (布施線、粕渕竹線)

- 邑智地区の地域内交通
- 別府・君谷地域の地域内交通 (交通空白地有償運送)
- 大和地区の地域内交通
- 比之宮地域の地域内交通 (交通空白地有償運送)

3-2-4 邑南町地域公共交通計画

計画の概要	
計画の期間	令和7年度～令和12年度
基本理念	ともに創り、暮らしを支える持続可能な公共交通
基本目標	<ul style="list-style-type: none"> ○公共交通の継続したサービス提供 ○身近な移動手段の確保 ○利便性向上と利用促進

邑南町地域公共交通の将来ネットワーク図



- 広域幹線：邑南川本線（町）
大朝線（町）
 - 地域幹線：口羽矢上線（町）
瑞穂インター線（町）
瑞穂矢上線（町）
日貴線（ス）
 - ⬅️⋯⋯ 支線：予約型乗合交通【タクシー（タクシー利用助成による利用）・デマンド】
 - 交通拠点：矢上駅・道の駅邑南の里
 - 交通結節点：井原駅・口羽ターミナル・瑞穂ICバス停留所・石見高原駅
 - 民間路線バス（4条路線定期運行）
 - ・高速いさりび号/運行区間：浜田駅～広島駅新幹線口（中国JRバス株）・石見交通株）
 - ・石見銀山号/運行区間：大田駅～広島駅新幹線口（石見交通株）
 - ・作木線（地域内フィーダー系統補助路線）
/運行区間：伊賀和志～羽須美支所～三次中央病院（備北交通株）
- ※（町）：町営バス、（ス）：スクールバス（混乗）

3-2-6 三次市地域公共交通計画

計画の概要	
計画の期間	令和3年度～令和7年度
基本的な方針	しあわせの実感につながる公共交通づくり ～市民一人ひとりの暮らしに合った移動支援の実現～
基本目標	○地域実態や社会情勢に応じて、持続できる公共交通体系をつくる ○高齢者など誰もが安心して暮らせるための、移動手段を確保する ○公共交通の利用促進を図るなど、事業が維持できる環境を整える

公共交通体系イメージ

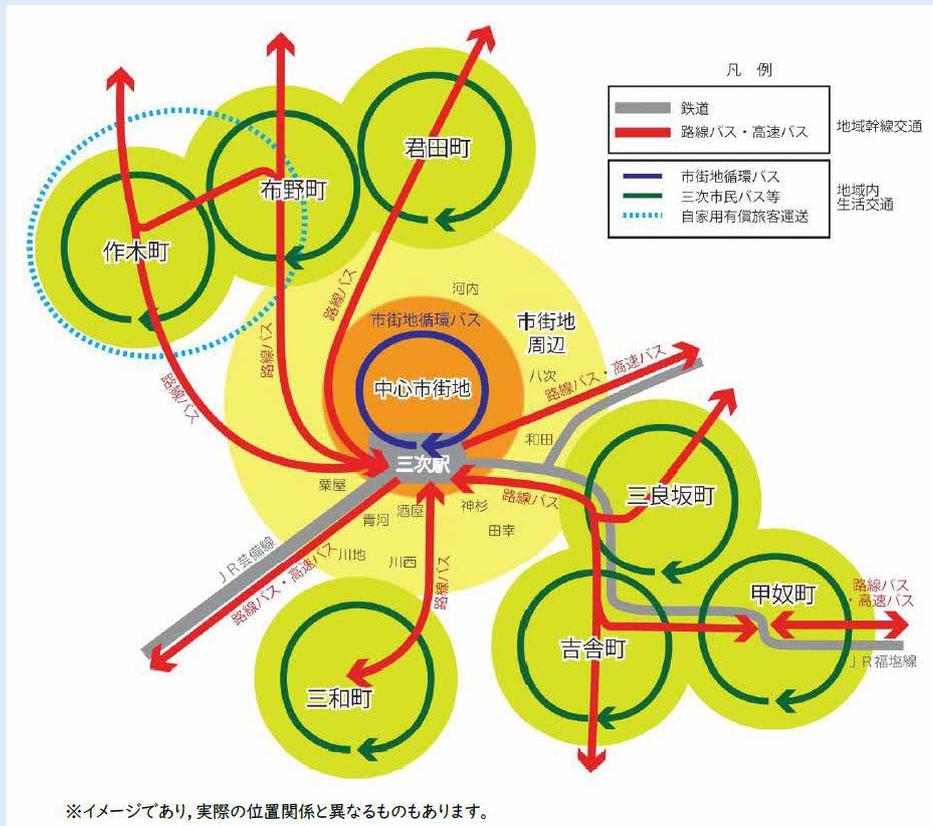


図 公共交通体系イメージ

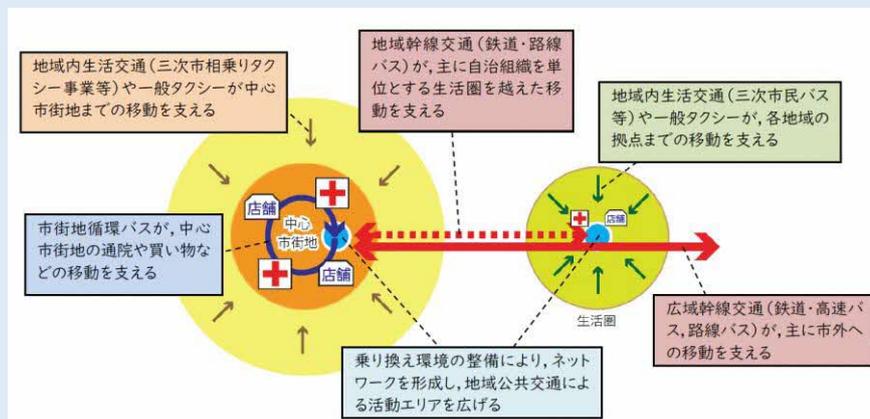


図 公共交通の機能・役割イメージ

3-3 立地適正化計画

3-3-1 江津市立地適正化計画

計画の概要	
計画の期間	平成 31 年度～令和 22 年度
基本目標	基本目標 1 生業（なりわい）を増やし安定した雇用をつくる 基本目標 2 住みたい！住み続けられる江津をつくる 基本目標 3 子どもたちの未来を地域みんなで育む 基本目標 4 自助・共助・公助による安心・安全な暮らしを実現する ※上位計画の「江津市版総合戦略」で定めた基本目標
基本的な方針	中心市街地と地域生活圏が連結した 快適都市ごうつ

将来都市構造のイメージ

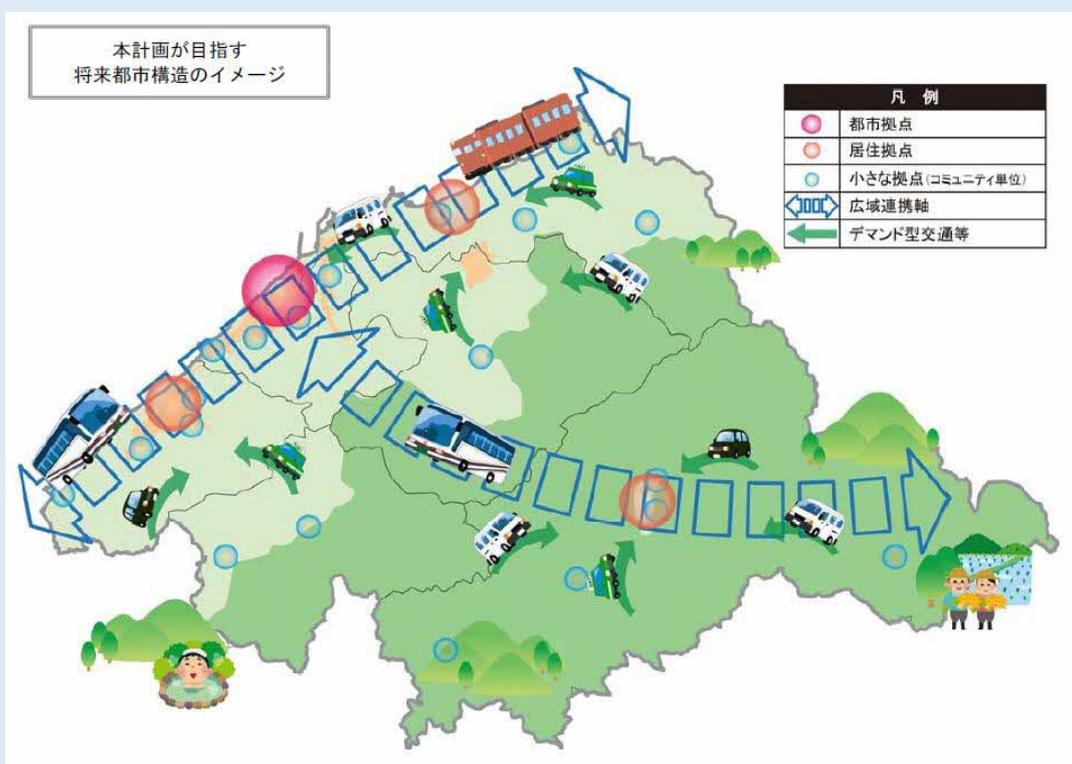


図 将来都市構造のイメージ

3-3-2 川本町立地適正化計画

計画の概要

計画の期間	令和7年度～令和26年度
基本目標	住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるまちづくり
基本的な方針	<ul style="list-style-type: none"> ・これからも行政・交流の中心地として機能するまちづくり ・効率的な都市構造の構築（コンパクト化・公共交通の充実） ・将来にわたり、安心・安全に暮らせるまちづくり

将来都市構造のイメージ

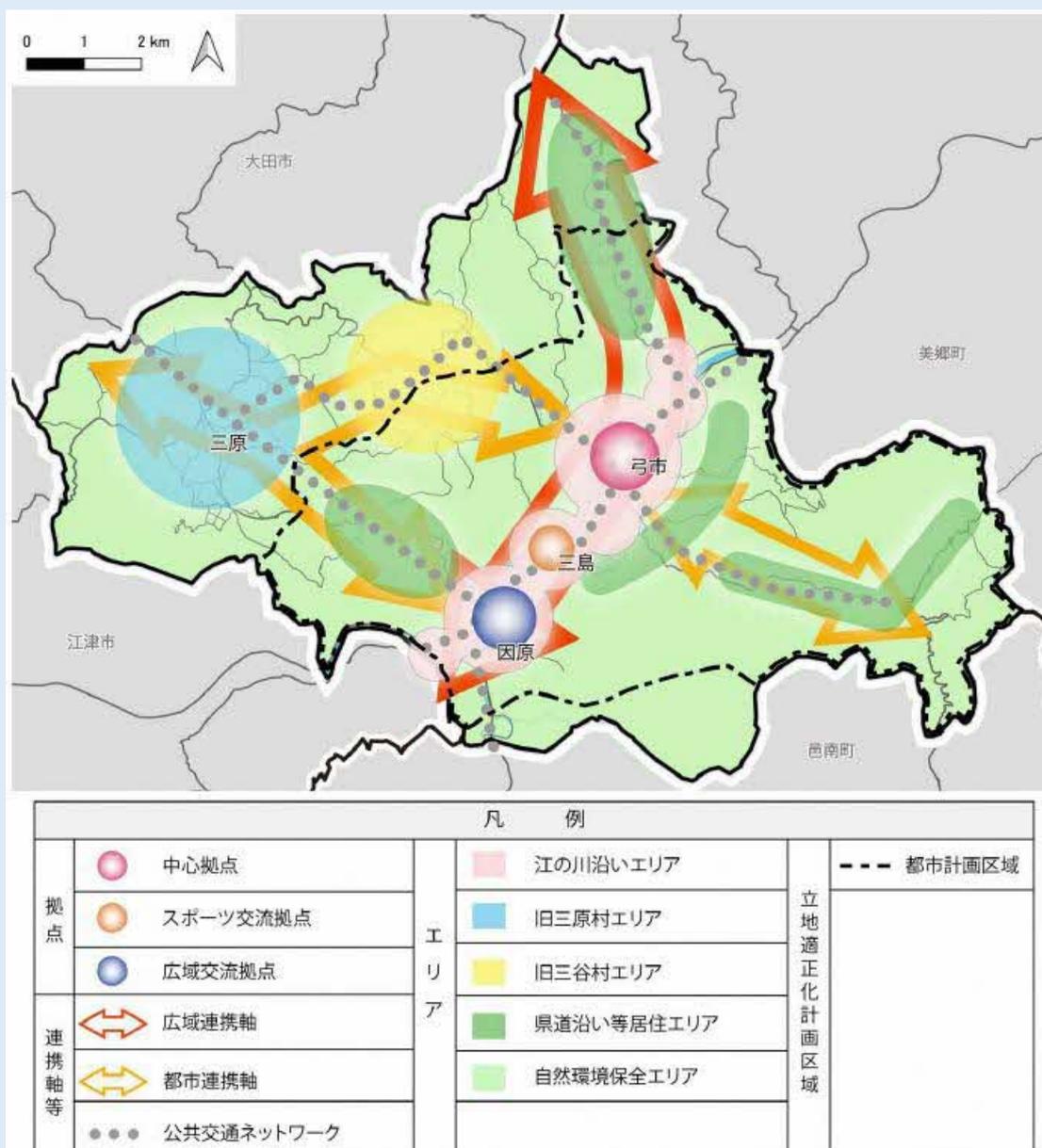
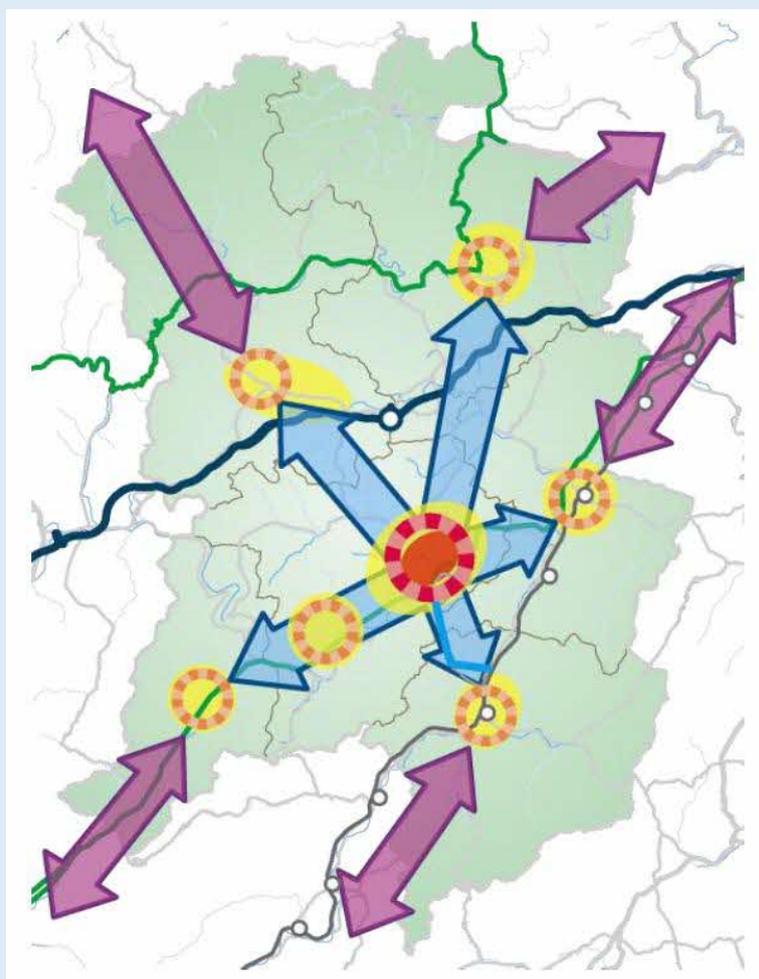


図 将来都市構造のイメージ

3-3-3 安芸高田市都市計画マスタープラン・立地適正化計画

計画の概要	
計画の期間	令和 5 年度～令和 24 年度
基本理念	未来へ 続くまち 安芸高田
基本目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 居住や施設が集約された持続可能なまちづくり ・ だれもが安心して暮らせるリスクに強いまちづくり ・ 地域資源を活かした活力あるまちづくり ・ 目的地へアクセスしやすいやさしいまちづくり
将来都市構造のイメージ	



土地利用 (ゾーン)	拠点・軸
<p>賑わい創出ゾーン  商業・文化・行政施設等を充実させ、高密度な市街地の形成を図るゾーン</p> <p>住環境保全ゾーン  戸建て住宅を中心に維持・充実を図り、低密な市街地の形成を図るゾーン</p> <p>自然共生ゾーン  集落・農用地・山林等が共存し、豊かな自然環境の保全を図るゾーン</p>	<p>中心拠点  本市全体として必要な拠点機能を担うエリア</p> <p>地域拠点  地域住民の日常生活に必要な施設等の集約・維持を目指すエリア</p> <p>拠点間連携軸  市内の中心拠点と地域拠点を結び、拠点間のつながりを特に充実させる連携軸</p> <p>広域連携軸  周辺市町との連携により個々の都市の発展を促す軸</p>

図 将来都市構造のイメージ

3-3-4 三次市立地適正化計画

計画の概要	
計画の期間	令和 6 年度～令和 25 年度
立地適正化の目標	『人と想いがつながり、未来につなぐまち』 ～地域の個性を生かしたライフスタイルの実現～
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ・各拠点の活力や便利な暮らしを支える都市機能の集積 ・安心して快適に暮らすことのできる居住地の形成と誘導 ・市民一人ひとりの暮らしに合った持続可能な公共交通ネットワークの構築

将来都市構造のイメージ

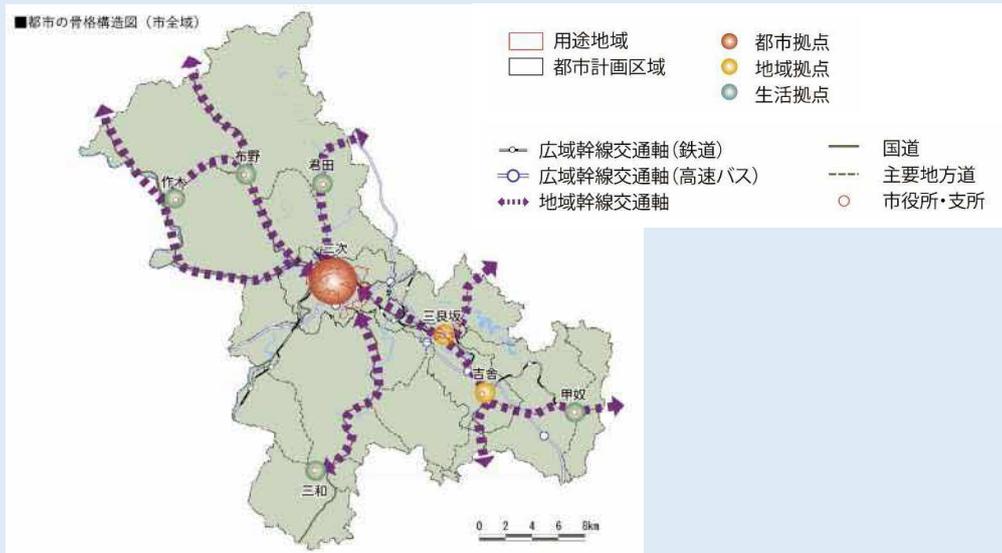


図 都市の骨格構造図(市全域)

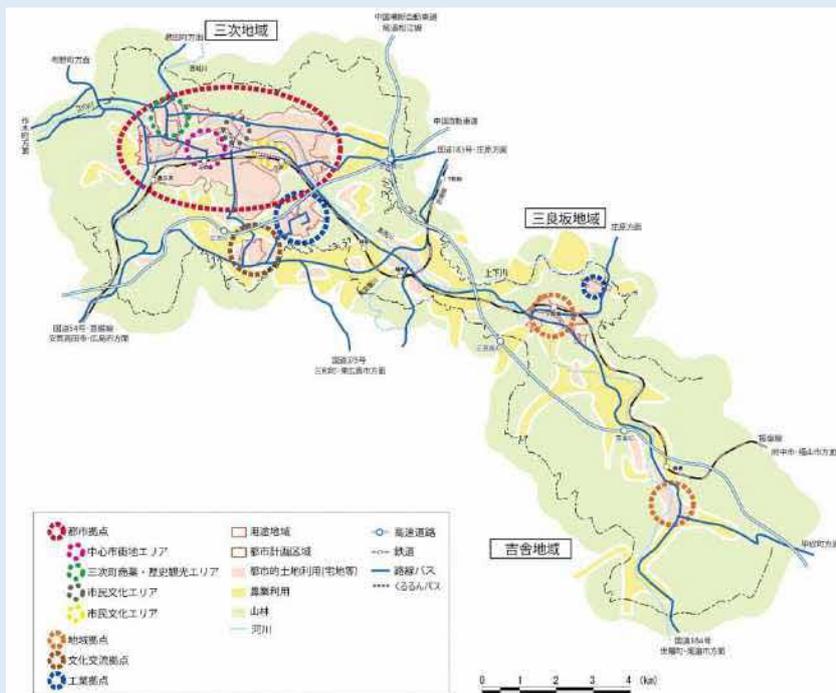


図 都市の骨格構造図(都市計画区域内)

IV. 各種調査・意見交換会の実施状況

4-1 三江線代替交通利用者アンケート調査

4-1-1 実施概要

(1)調査目的

○三江線代替交通のサービスの評価や改善点、利用状況などを把握し、三江線沿線地域公共交通計画策定の基礎資料とするため、利用者アンケート調査を実施しました。

(2)調査対象路線

○以下の路線を対象に調査を行いました。

表 14 三江線代替交通対象路線 5 路線 9 系統

路線名	運行主体	系統
江津川本線	石見交通(株)	済生会病院～石見川本
		江津高校前～石見川本
川本美郷線	大和観光(株)	上野～石見川本
		上野～ゴールデンユートピアおおち
		浜原駅前～石見川本
作木線	備北交通(株)	三次中央病院～道の駅グリーンロード大和
		伊賀和志上～三次工業団地
式敷三次線	甲立タクシー・芸北タクシー	式敷駅～三次駅前・三次中央病院
川の駅三次線	㈱君田交通	川の駅常清～カヌー公園前・香淀駅～三次駅前

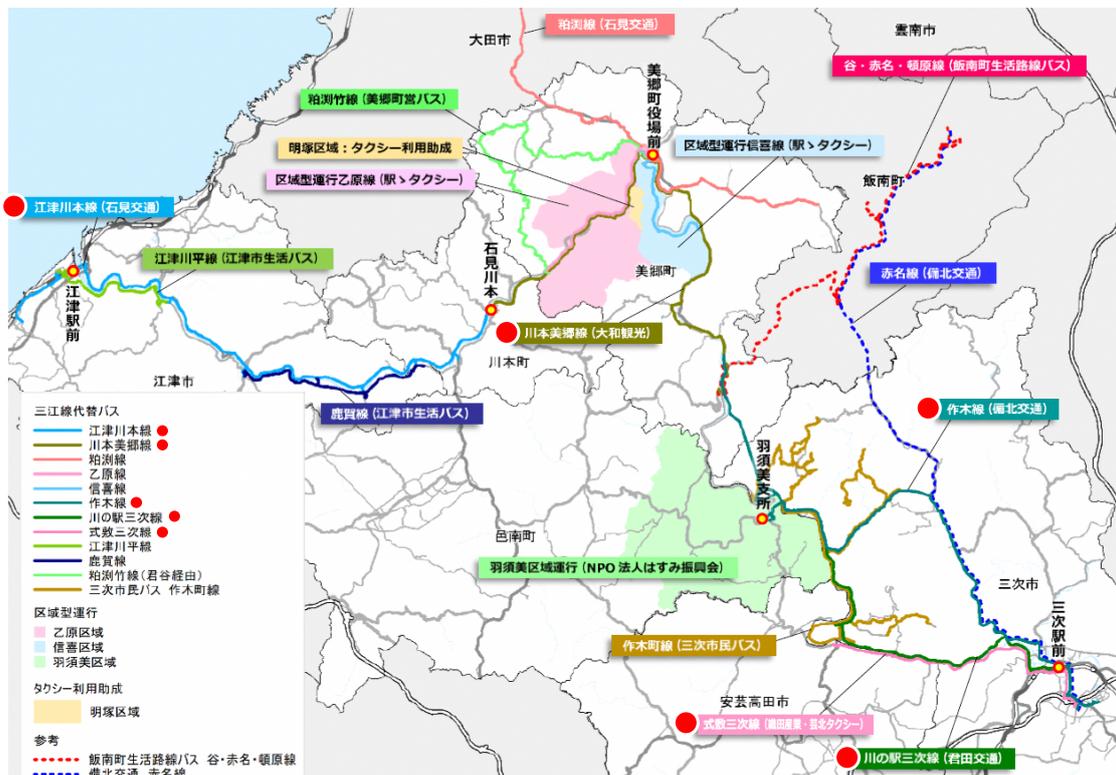


図 71 三江線代替交通利用者アンケート調査対象路線(図中赤丸)

(3)調査内容

○公共交通の利用目的・利用頻度等の状況、サービスの評価や改善点等。

(4)調査方法

- 対象路線の車両内にアンケート用紙を設置し、バス利用者にとってもらい回答いただきました。回答用紙は車両内の回収袋で回収を行いました。さらに、詳細な質問の回答を得るために、回答用紙に Web アンケートフォームの QR コードを記載し、それを回答者のスマートフォン等で読み取ることにより回答いただきました。
- アンケート調査票は回答欄を指で織り込むビンゴカード形式とし、アンケートへの協力を依頼するための POP を車内に掲示しました。

(5)調査期間

○令和7(2025)年1月中旬～2月末

(6)回答者数

○アンケート用紙：154 枚（内 web アンケート：7 件）

4-1-2 アンケート調査結果

(1)路線別回答者数

○路線別のアンケート用紙の回収数の割合は以下のとおりです。作木線（備北交通）利用者の回答割合が最も高く、川本美郷線（大和観光）利用者の回答割合が最も低い結果となりました。

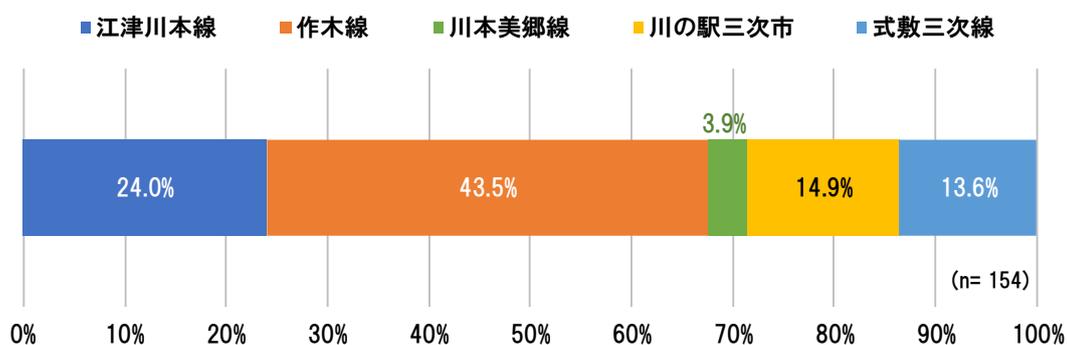


図 72 路線別回答者数割合

表 15 路線別回答者数割合

路線名	人	%
江津川本線	37	24.0%
作木線	67	43.5%
川本美郷線	6	3.9%
川の駅三次市	23	14.9%
式敷三次線	21	13.6%
n=	154	100.0%

(2)回答者属性

①住所

○全体の集計で、回答者の住所は6市町以外の「その他」との回答が最も多くなっています。

○路線別にみると、江津川本線は「江津市」との回答が7割以上を占めています。

○作木線は「その他」が最も多く、次いで「邑南町」「三次市」「美郷町」「安芸高田市」の順となっています。

○川本美郷線はすべて「美郷町」の回答でした。

○川の駅三次線は「三次市」との回答が8割弱あり、「安芸高田市」「その他」「美郷町」の順となっています。

○式敷三次線は全体の3分の2が「安芸高田市」と回答しており、以下「三次市」「その他」の順となっています。

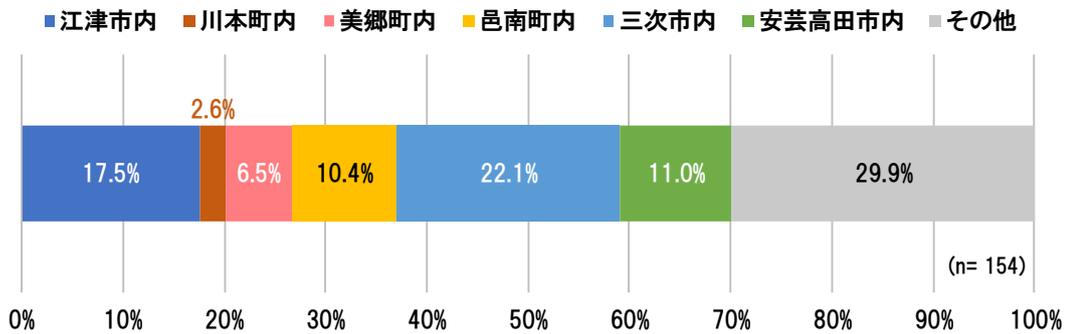


図 73 回答者の住所

表 16 回答者の住所

問1 お住まい	人	%
江津市内	27	17.5%
川本町内	4	2.6%
邑南町内	16	10.4%
美郷町内	10	6.5%
安芸高田市内	17	11.0%
三次市内	34	22.1%
その他	46	29.9%
n=	154	100.0%

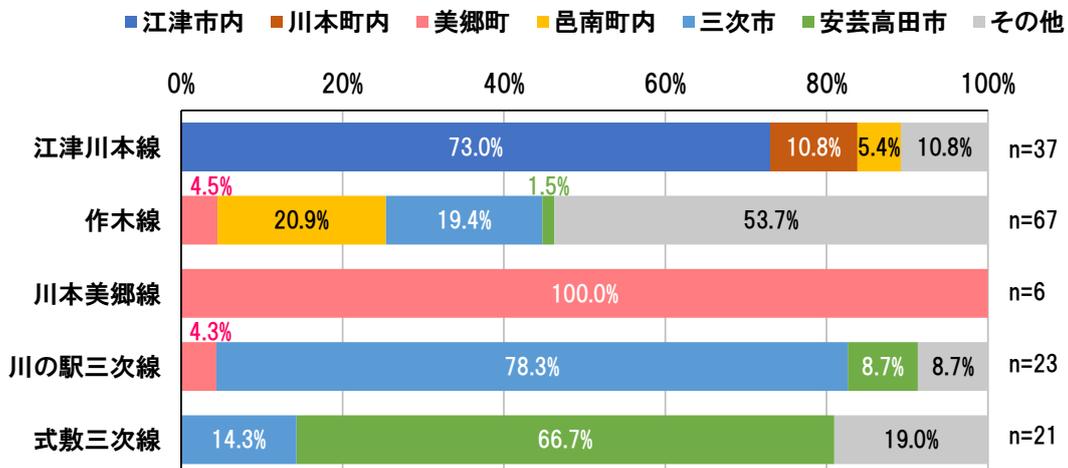


図 74 路線別回答者住所割合

②年齢

- 全体集計では「60～70代」の回答が最も多く、次いで「～10代」となっている。「40～50代」と「80代～」が同数で、「20～30代」の回答数が最も少なくなっています。
- 路線別では、江津川本線で「～10代」の割合が6割近く、「40～50代」「20～30代」「60～70代」「80代～」の順となっています。
- 作木線では「60～70代」の回答者数が最も多く、次いで「80代～」「40～50代」「～10代」「20～30代」の順となっています。
- 川本美郷線では「60～70代」が2/3を占め、「20～30代」と「～10代」が1名ずつ回答しています。
- 川の駅三次線では「60～70代」の回答者数が最も多く、次いで「～10代」「40～50代」「～10代」の順となり、「20～30代」と「80代～」が同数で最も少なくなっています。
- 式敷三次線では「60～70代」の回答者数が最も多く、次いで「40～50代」と「80代～」が同数、「～10代」の順となっています。

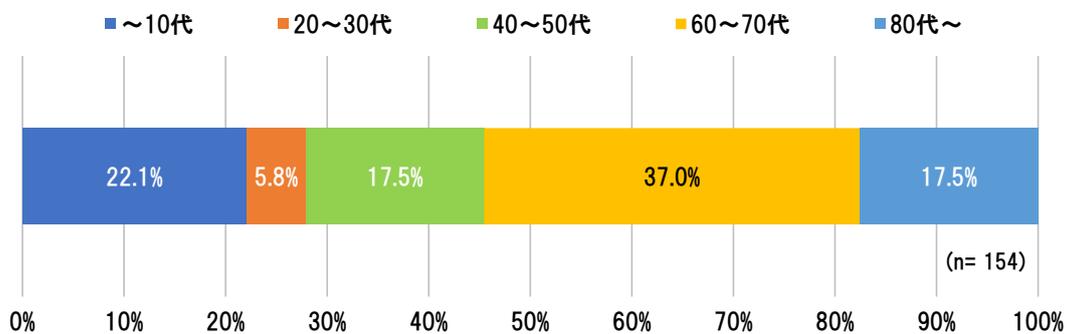


図 75 回答者の年齢

表 17 回答者の年齢

問 2 年齢	人	%
～10代	34	22.1%
20～30代	9	5.8%
40～50代	27	17.5%
60～70代	57	37.0%
80代～	27	17.5%
n=	154	100.0%

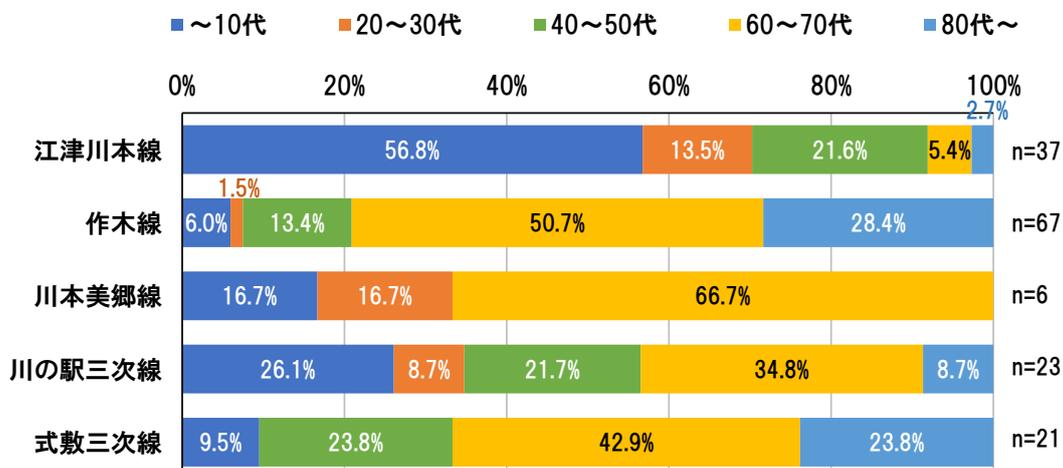


図 76 路線別回答者の年齢割合

③学生の比率

- 全体集計では、回答者における学生数は38人で、これは回答者全体の24.7%に当たります。
- 学生の中で最も多かったのは「高校生」で、次いで「中学生」「大学・専門学生」の順となっており、小学生の回答はありませんでした。
- 路線別にみると、どの路線にも高校生の回答者があり、特に江津川本線で「高校生」の回答割合が高くなっています。
- 「中学生」及び「大学生・専門学生」の回答があったのは江津川本線と川の駅三次線でした。

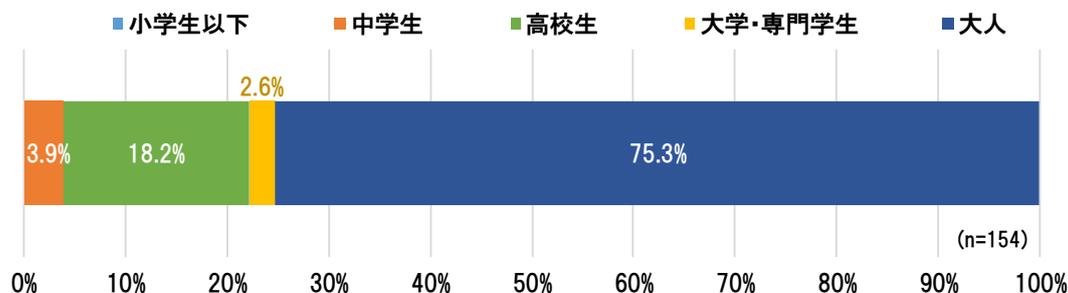


図 77 学生の回答者数

表 18 学生の回答者数

問3 分類	人	%
小学生以下	0	0.0%
中学生	6	3.9%
高校生	28	18.2%
大学・専門学生	4	2.6%
大人	116	75.3%
n=	154	100.0%

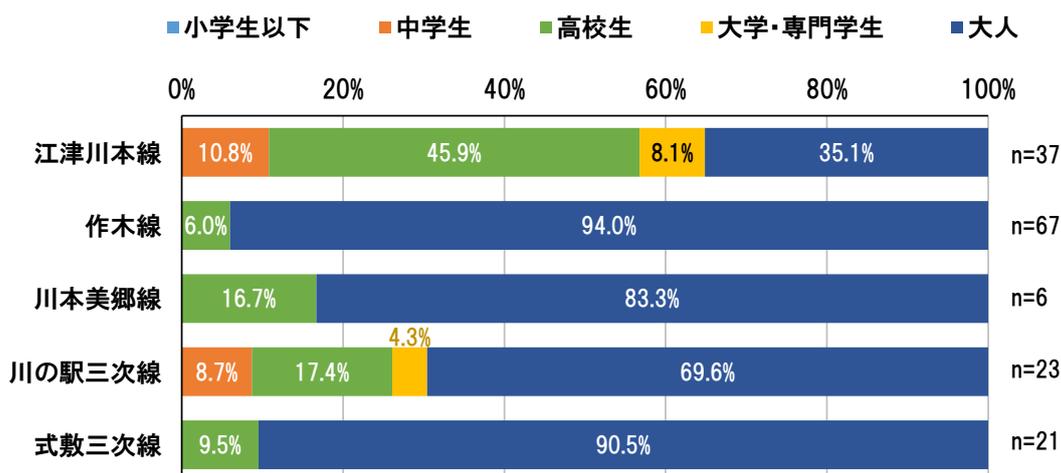


図 78 路線別学生の回答者割合

(3)路線の利用について

①本日の利用路線

○回答者が利用した路線は、「作木線」が最も多く、67人(43.5%)でした。

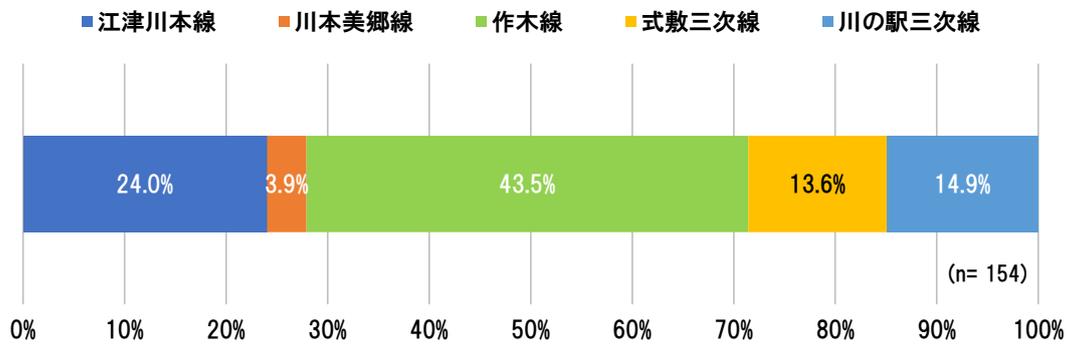


図 79 本日の利用路線

表 19 本日の利用路線

問 4 本日の利用路線	人	%
江津川本線	37	24.0%
川本美郷線	6	3.9%
作木線	67	43.5%
式敷三次線	21	13.6%
川の駅三次線	23	14.9%
n=	154	100.0%

②利用頻度

- 全体集計では「週2～3日程度」と「ほぼ毎日」が同数で最も多く、次いで「週4～5日」「たまに使う程度」「月1日程度」「2～3週に1日程度」「週1日程度」の順となっています。
- 路線別にみると、「ほぼ毎日」と「週4～5日程度」を合わせた割合は江津川本線や川本美郷線、式敷三次線が高く、川の駅三次線は「ほぼ毎日」の割合が江津川本線に次いで高くなっています。
- 「月1日程度」と「たまに使う程度」を合わせた割合は作木線で最も高く、他の路線に比べて利用頻度が低い傾向にあります。

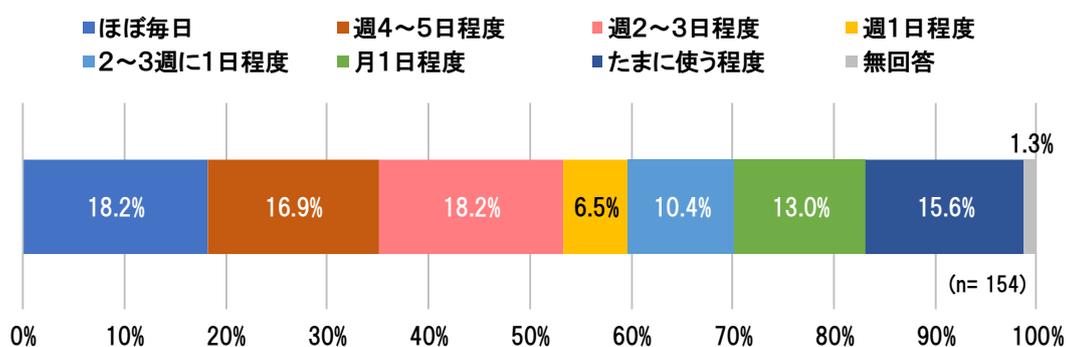


図 80 利用頻度

表 20 利用頻度

問 5 利用頻度	人	%
ほぼ毎日	28	18.2%
週4～5日程度	26	16.9%
週2～3日程度	28	18.2%
週1日程度	10	6.5%
2～3週に1日程度	16	10.4%
月1日程度	20	13.0%
たまに使う程度	24	15.6%
無回答	2	1.3%
n=	154	100.0%

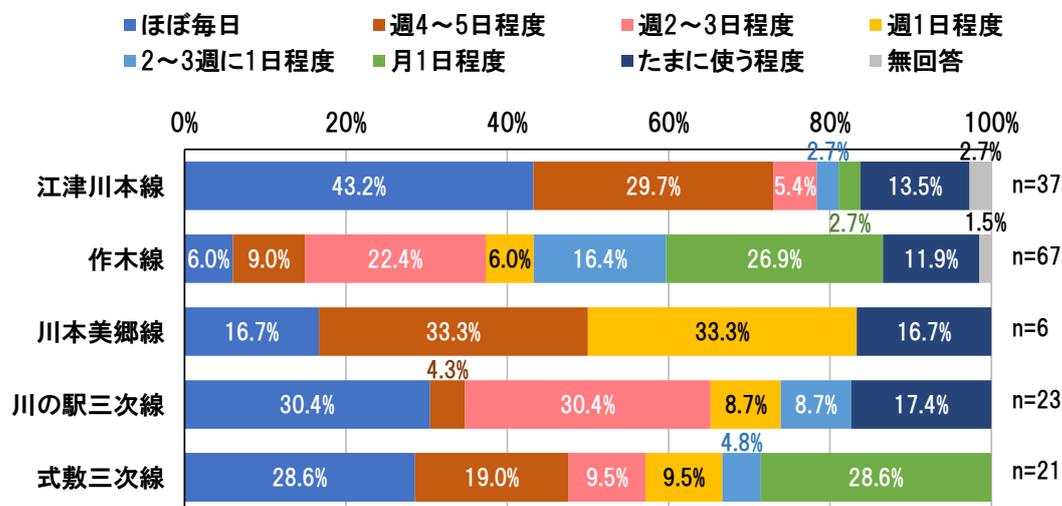


図 81 路線別利用頻度

③利用目的

- 全体集計では「その他」との回答割合が最も高く、次いで「買物」「通院」「通学」「通勤」「趣味・娯楽」の順となっており、「観光」との回答はみられませんでした。
- 路線別にみると、江津川本線は「通学」「通勤」「買物」「趣味・娯楽」「その他」「通院」の順となっており、通勤・通学路線として機能しています。
- 作木線は「その他」の割合が最も高く、次いで「買物」「通院」の割合が高い。「通勤」「通学」との回答もありますが、その割合は低いです。
- サンプル数が少ない川本美郷線では、「その他」が最も多く、「通勤」「通学」「通院」「買物」がそれぞれ16.7%と回答がばらけました。
- 川の駅三次線は「通院」「買物」「通学」「趣味・娯楽」「その他」「通勤」の順となりました。
- 式敷三次線は「通院」が最も多く、次いで「買物」「その他」が同数、「通学」「通勤」の順となりました。

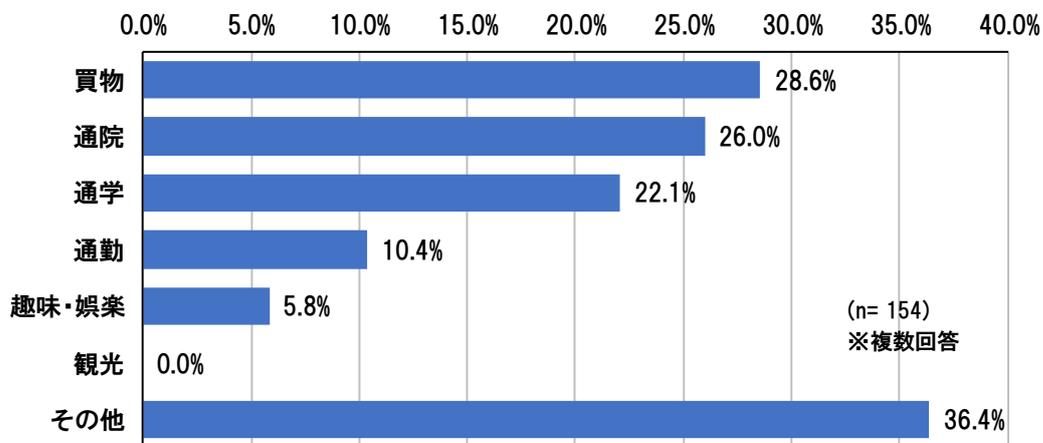


図 82 利用目的

表 21 利用目的

問 6 利用の目的	人	%
買物	44	28.6%
通院	40	26.0%
通学	34	22.1%
通勤	16	10.4%
趣味・娯楽	9	5.8%
観光	0	0.0%
その他	56	36.4%
n=	154	

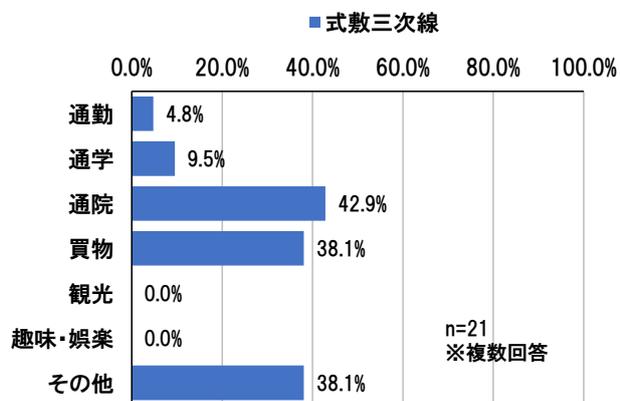
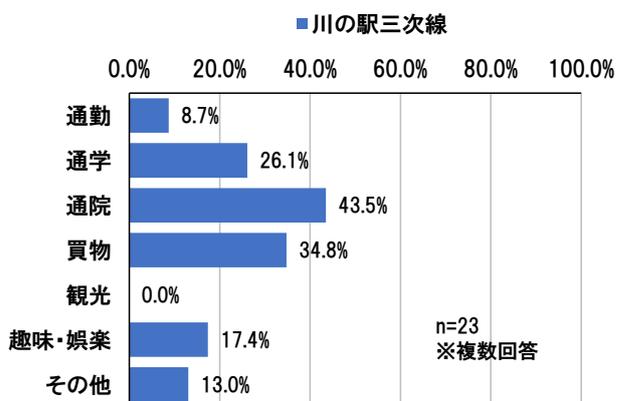
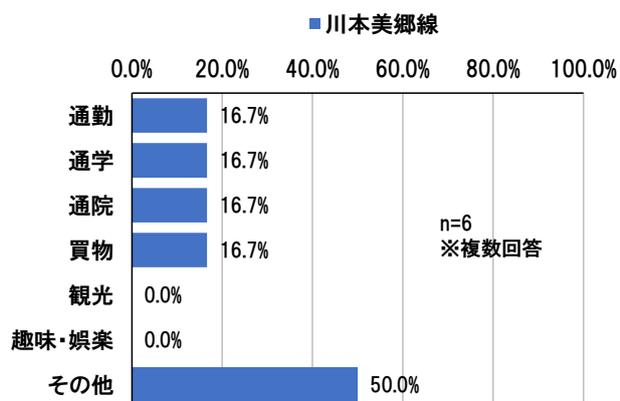
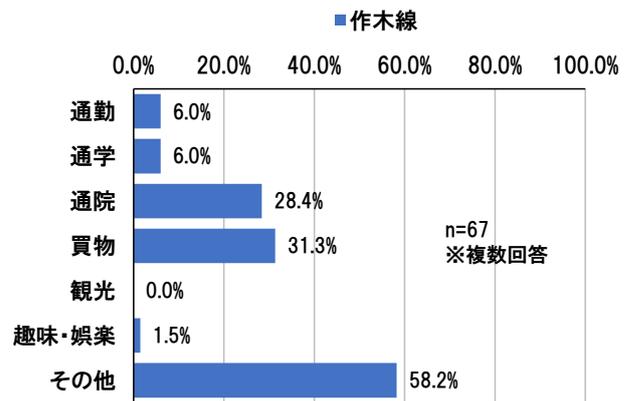
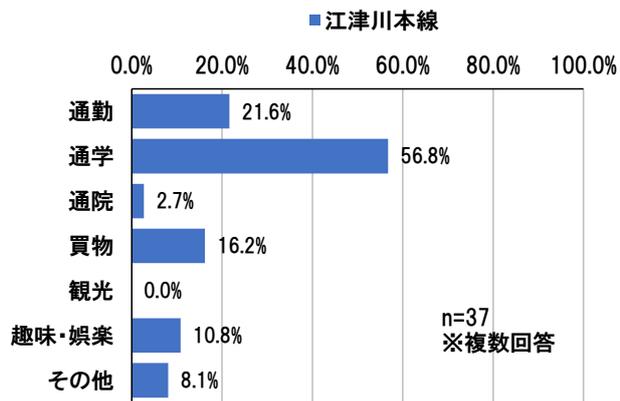


図 83 路線別利用目的

④目的地

- 全体集計では「三次市内」「邑南町内」「江津市内」「川本町内」「その他」「安芸高田市内」「美郷町内」の順となっています。
- 路線別にみると、江津川本線は「江津市内」と「川本町内」の割合が他に比べて高く、江津市と川本町間の移動に利用されていると考えられます。
- 作木線は「邑南町内」と「三次市内」の割合が突出して高く、主に邑南町と三次市間の移動に利用されていると推察されます。
- 川本美郷線は「川本町内」「美郷町内」「その他」の順に多いです。
- 川の駅三次線はほとんどが「三次市内」と回答し、一部が「川本町内」と回答しています。
- 式敷三次線は8割超が「三次市内」と回答し、それ以外は「安芸高田市」と回答しています。

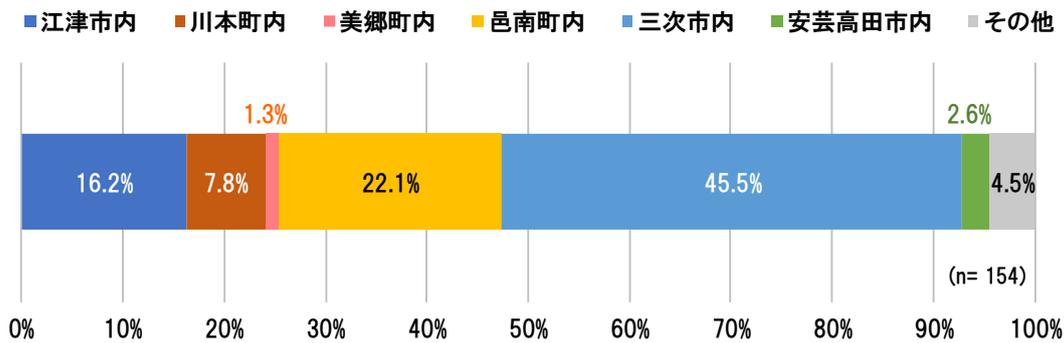


図 84 目的地

表 22 目的地

問 7 目的地	人	%
江津市内	25	16.2%
川本町内	12	7.8%
邑南町内	34	22.1%
美郷町内	2	1.3%
安芸高田市内	4	2.6%
三次市内	70	45.5%
その他	7	4.5%
n=	154	100.0%

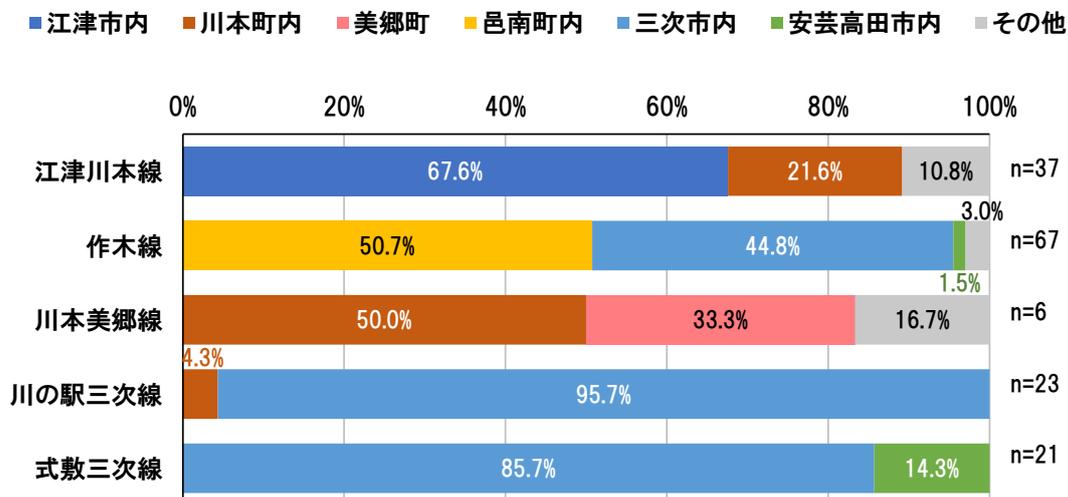


図 85 路線別目的地

⑤利用範囲と乗り換えの有無

- 全体集計では「市町内移動のみ」との回答割合は49.4%、「市町外移動がある」が47.4%とほぼ同数でした。乗り換える割合は「市町内移動のみ」より「市町外移動がある」場合の方が高くなる傾向にあります。
- 路線別にみると、江津川本線は「市町内移動のみで乗り換ええない」割合が他の路線に比べ高く、50%を超えています。川の駅三次線も全体的に同じような傾向にあります。
- 作木線は「市町外移動があり乗り換える」割合が他の路線に比べて高く、50%を超えています。一方で「市町内移動のみで乗り換ええない」割合も比較的高く、「市町内移動のみだが乗り換える」割合は低くなっています。
- 川本美郷線は「市町外移動があるが乗り換ええない」の割合が最も高く、次いで「市町外移動があり乗り換える」「市町内移動のみで乗り換ええない」の順となっており、「市町内の移動だが乗り換える」の回答はありませんでした。
- 式敷三次線は「市町外移動があるが乗り換ええない」の割合が最も高く、次いで「市町外移動があり乗り換える」「市町内移動のみだが乗り換える」「市町内移動のみで乗り換ええない」の順となっています。
- これらの傾向を整理すると以下ようになり、作木線、川本美郷線、式敷三次線は広域移動に使われることが多く、江津川本線と川の駅三次線は比較的市町内での利用が多いです。

路線名	項目	傾向
江津川本線	市町内利用	○回答者の73%が江津市内または川本町内のみで利用しています。 ○このうちの2割が他の路線に乗り換えて利用しています。
	市町外利用	○回答者の2割程度が江津市と川本町をまたがって利用しています。 ○乗り換ええない割合が、乗り換える割合を若干上回っています。
作木線	市町内利用	○回答者の37.3%が美郷町、邑南町、三次市内のみで利用しています。 ○このような利用をする人は、ほとんどが他の路線に乗り換えません。
	市町外利用	○回答者の61.2%が美郷町、邑南町、三次市を超えて利用しています。 ○市町を超えて利用する人のほとんどが乗換を行っています。
川本美郷線	市町内利用	○回答者の16.7%は川本町または美郷町内のみで利用しています。 ○このような利用をする人は、他の路線に乗り換えません。
	市町外利用	○回答者の83.3%が川本町、美郷町をまたがって利用しています。 ○このような利用をする人は乗り換ええない割合が乗り換える割合よりやや高いです。
川の駅三次線	市町内利用	○回答者の73.9%が三次市内の移動に利用しています。 ○このうちの3割が他の路線に乗り換えて利用しています。
	市町外利用	○回答者の26.1%が三次市内を超えて利用しています。 ○このうち、2/3が乗換をせず、1/3が乗り換えると回答しています。
式敷三次線	市町内利用	○回答者の23.8%が安芸高田市内または三次市内のみで利用しています。 ○このうち他の路線に乗り換える割合が乗り換ええない割合よりやや高いです。
	市町外利用	○回答者の66.7%が安芸高田市内と三次市内をまたがって利用しています。 ○このうち半数以上は乗換をしていません。

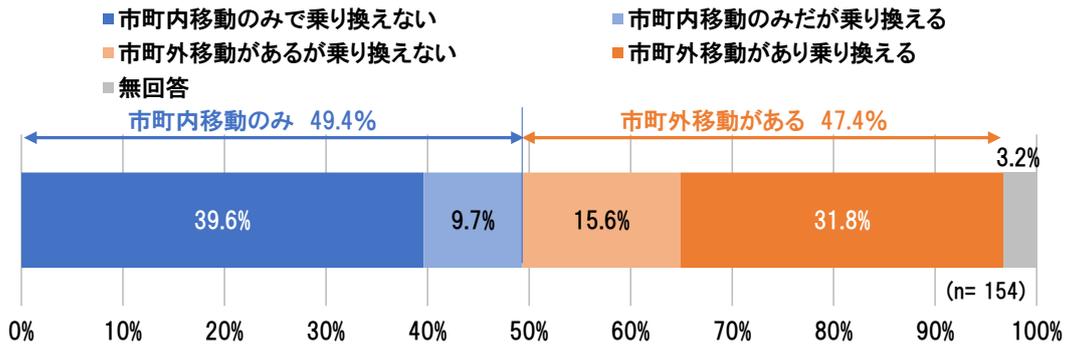


図 86 利用範囲と乗り換えの必要性

表 23 利用範囲と乗り換えの必要性

問 8 普段の利用の範囲と乗り換えの必要性	人	%
市内移動のみで乗り換えしない	61	39.6%
市内移動のみだが乗り換える	15	9.7%
市町外移動があるが乗り換えしない	24	15.6%
市町外移動があり乗り換える	49	31.8%
無回答	5	3.2%
n=	154	100.0%

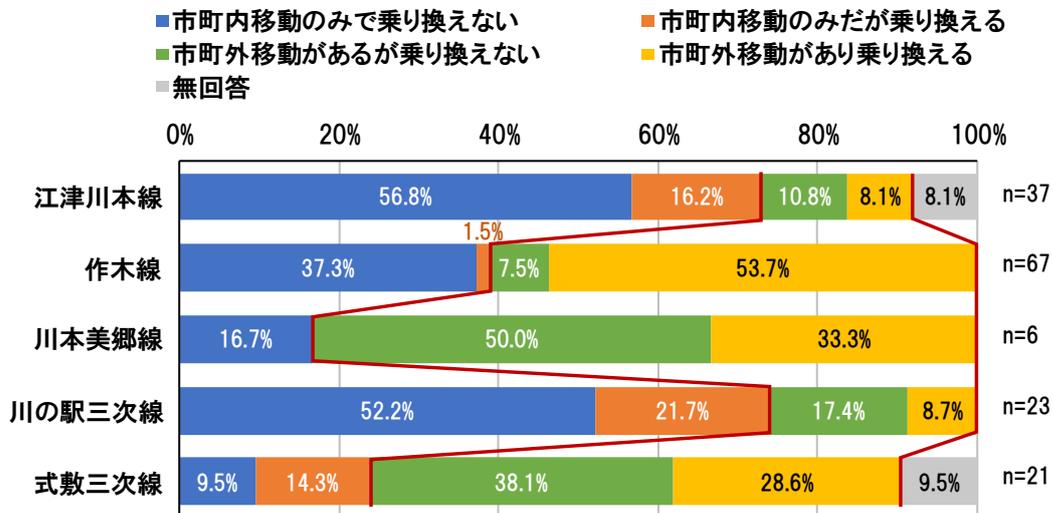


図 87 路線別利用範囲と乗り換えの必要性

(4) 路線のサービスの評価について

① 運行ダイヤの満足度

- 全体集計では、「満足」「やや満足」の合計（26.0%）を「やや不満」「不満」の合計（31.8%）が上回っており、全体としては「やや不満」「不満」を挙げる割合が高いです。
- 路線別にみると、江津川本線、川の駅三次線、式敷三次線で「満足」「やや満足」の合計が「やや不満」「不満」を上回っており、ダイヤに関する満足度は比較的高いです。
- 反対に作木線、川本美郷線では「やや不満」「不満」の合計が「満足」「やや満足」を上回っており、ダイヤに関する満足度は低いです。

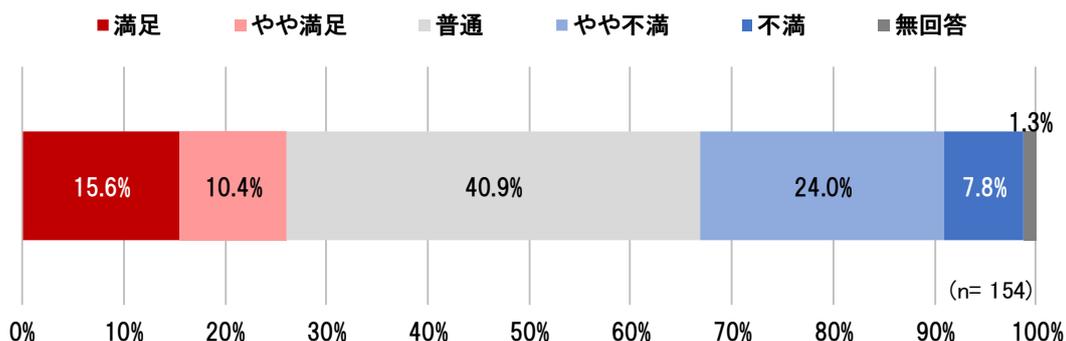


図 88 運行ダイヤの満足度

表 24 運行ダイヤの満足度

問9 運行ダイヤの満足度	人	%
満足	24	15.6%
やや満足	16	10.4%
普通	63	40.9%
やや不満	37	24.0%
不満	12	7.8%
無回答	2	1.3%
n=	154	100.0%

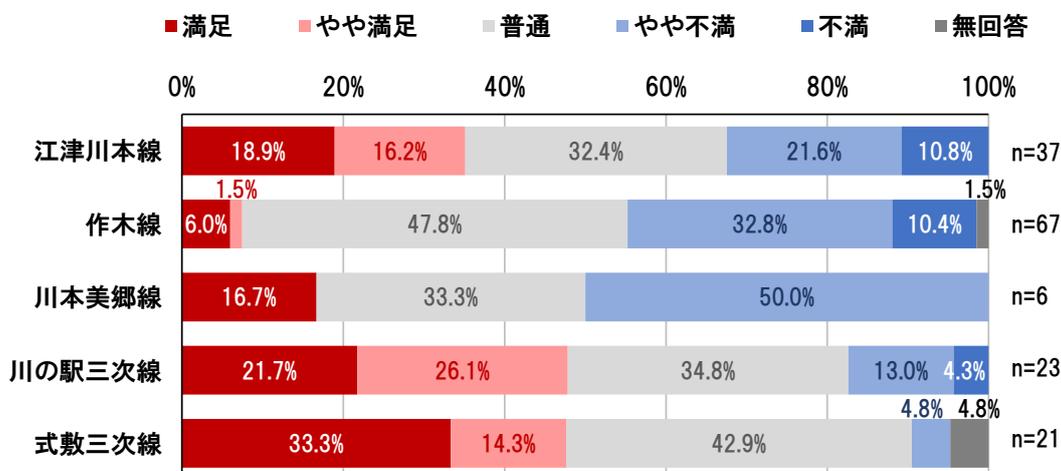


図 89 路線別運行ダイヤの満足度

②他路線との接続に関する満足度

- 全体集計では、「満足」「やや満足」の合計（24.6%）を「やや不満」「不満」の合計（25.3%）がやや上回っていますが、ダイヤほどの差はありません。
- 路線別にみると、江津川本線、川の駅三次線、式敷三次線で「満足」「やや満足」の合計が「やや不満」「不満」を上回っており、ダイヤに関する満足度は比較的高いです。
- 反対に作木線、川本美郷線では「やや不満」「不満」の合計が「満足」「やや満足」を上回っており、ダイヤに関する満足度は低いことから、この二つの路線は接続の改善が望まれます。

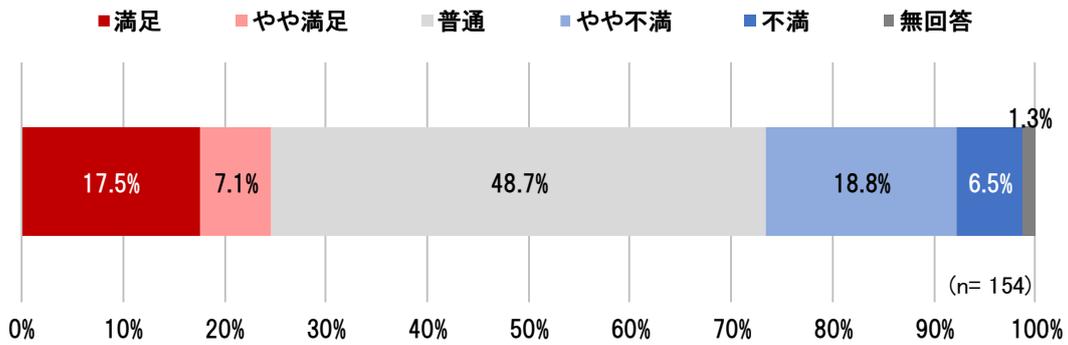


図 90 他路線との接続に関する満足度

表 25 他路線との接続に関する満足度

問 10 他路線との接続に関する満足度	人	%
満足	27	17.5%
やや満足	11	7.1%
普通	75	48.7%
やや不満	29	18.8%
不満	10	6.5%
無回答	2	1.3%
n=	154	100.0%

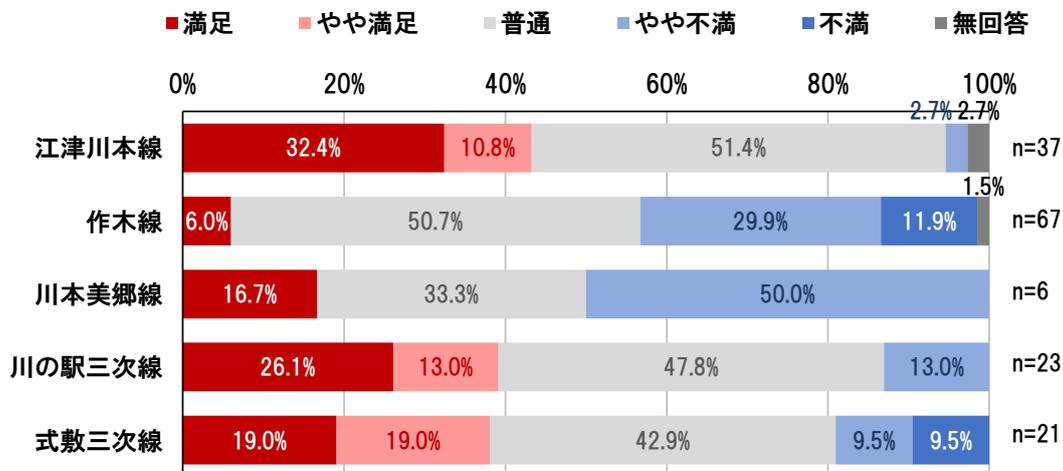


図 91 路線別他路線との接続に関する満足度

③改善が必要だと思う項目

- 全体集計では、「運行ダイヤ」を挙げる割合が最も高く、回答者の半数を超えています。次いで「他路線との接続」「運行ルート」「バス停の位置」等と続いています。
- 路線別にみると、江津川本線で「運行ダイヤ」を挙げる割合が高く、その他は低いです。
- 作木線は「運行ダイヤ」が最も高く、「他路線との接続」が次に高くなっています。
- 川本美郷線は「他路線との接続」が最も高くなっています。
- 川の駅三次線は「運行ダイヤ」「運行ルート」「支払い方法の選択肢」等が挙がっていますが、それほど高い割合ではありません。
- 式敷三次線は「運行ダイヤ」が最も高く、次いで「運行ルート」等が挙がっています。

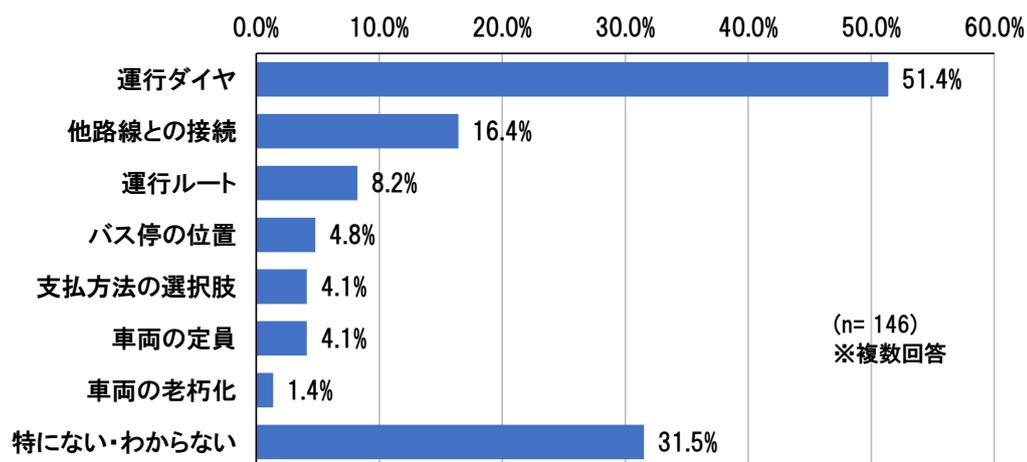


図 92 改善が必要だと思う項目

表 26 改善が必要だと思う項目

問 11 改善が必要と思う項目	人	%
運行ダイヤ	75	51.4%
他路線との接続	24	16.4%
運行ルート	12	8.2%
バス停の位置	7	4.8%
支払方法の選択肢	6	4.1%
車両の定員	6	4.1%
車両の老朽化	2	1.4%
特にない・わからない	46	31.5%
n=	146	

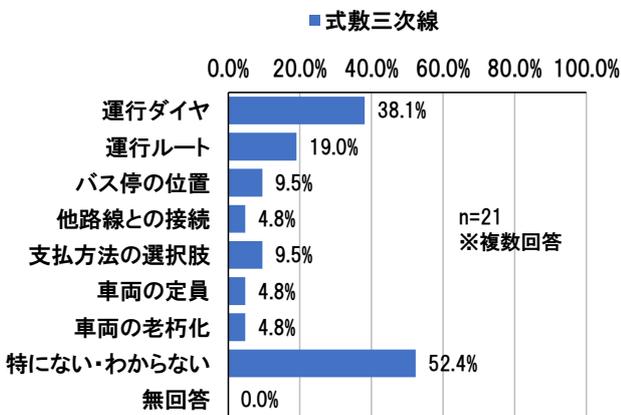
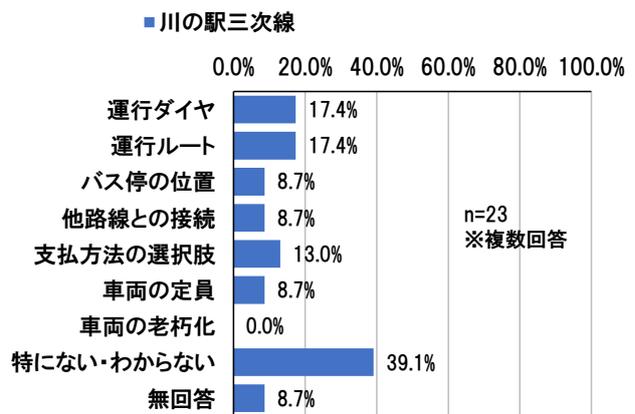
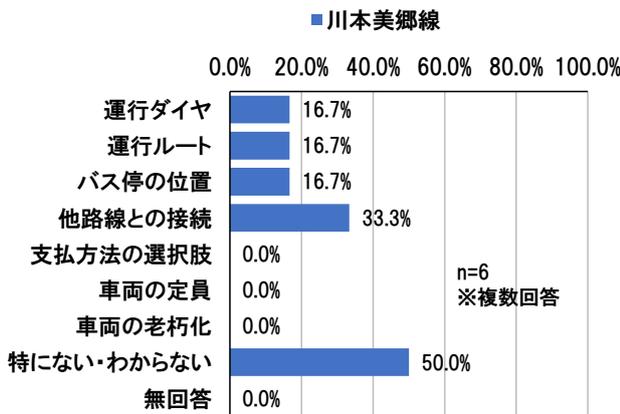
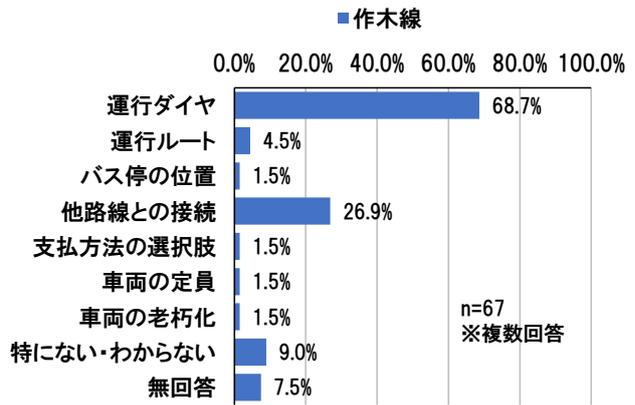
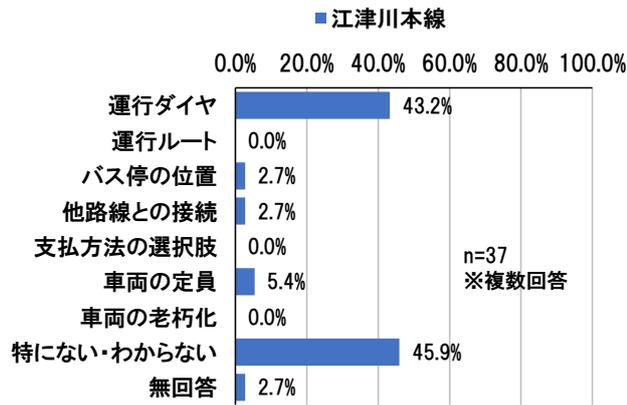


図 93 路線別改善が必要だと思う項目

④今後の利用意向

- 全体集計では「今と同じ頻度で利用すると思う」とする回答が7割近くを占めており、次いで「わからない」「今よりも利用は減ると思う」「今よりも利用は増えると思う」の順となっています。
- 路線別にみると、どの路線も「今と同じ頻度で利用すると思う」の割合が最も高く、いずれも50%を超えています
- 「今よりも利用は増えると思う」の割合が高いのは川本美郷線と川の駅三次線で、反対に「今よりも利用は減ると思う」の回答割合が高いのは川本美郷線と江津川本線でした。

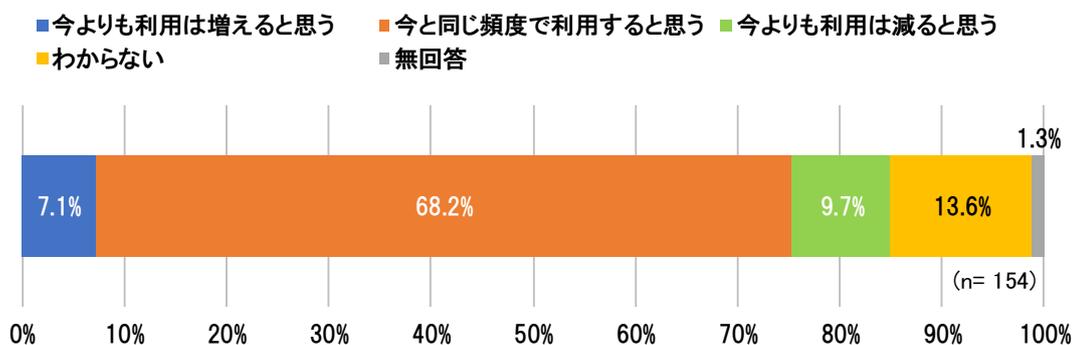


図 94 今後の利用意向

表 27 今後の利用意向

問 12 R7 年度以降の本路線の利用意向	人	%
今よりも利用は増えると思う	11	7.1%
今と同じ頻度で利用すると思う	105	68.2%
今よりも利用は減ると思う	15	9.7%
わからない	21	13.6%
無回答	2	1.3%
n=	154	100.0%

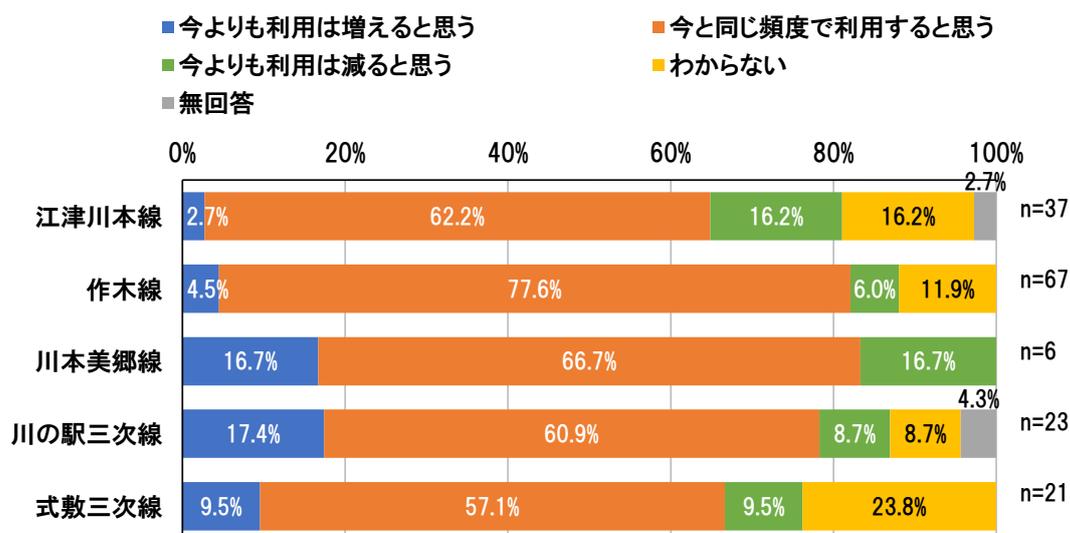


図 95 路線別今後の利用意向

(5)Web アンケート調査

○Web アンケート調査結果の中で、三江線代替交通への要望・意見を整理しました。

三江線代替交通への 要望・意見	<p>○作木から三次市へ出る便も、三次市から作木まで帰る便も少ない。 ○1 便ごとの時間の差がすごい(例 14:30 三次駅発、次は 17:05 発になっているとか) ○もう少し利用できる時間帯の便を増やして欲しい</p>
	<p>○いつも石見交通江津川本線をつかってます 😊 ○すごく助かってます。ありがとうございます 😊 またつかわせていただきます。</p>
	<p>○5時便と6時便があるのはとてもうれしいのですが、4時便がなくなったのが結構不便です。 ○利用頻度の都合上でなくなったのは承知していますが、もう一度検討してほしいです。 ○いつもバスを運行してくださってありがとうございます。</p>
	<p>○フリー乗車券や乗り継ぎ乗車券、三江線廃止〇〇年記念といった取り組みを市外から三江線代替交通巡りをしていて思ったので希望します。</p>

4-1-3 アンケート用紙

○アンケート用紙の内容は、以下のとおりです。

三江線代替交通利用者アンケート調査 ご協力をお願い

平素は県行政の推進につきまして、格別のご理解とご協力をいただき厚く御礼申し上げます。この度、三江線代替交通の利用者の方を対象に、サービスの評価や改善点、利用状況などを把握するため、アンケート調査を実施しております。ご協力をお願いいたします。
 ※一度本アンケートへご回答された方は、再度お答えいただく必要はありません。

あてはまる「回答」を
切取線から後ろへ
折り曲げてください

1. あなた自身について

問1 お住まい
 どれか一つを選択

江津市内 折る	川本町内 折る	呂南町内 折る	美郷町内 折る	安芸高田 市内 折る	三次市内 折る	その他 折る
------------	------------	------------	------------	------------------	------------	-----------

問2 年齢
 どれか一つを選択

～10代 折る	20～30代 折る	40～50代 折る	60～70代 折る	80代～ 折る
------------	--------------	--------------	--------------	------------

問3 分類
 学生の方のみ
 どれか一つを選択

大学・ 専門学生 折る	高校生 折る	中学生 折る	小学生 以下 折る
-------------------	-----------	-----------	-----------------

2. 本路線の利用について

問4 本日の利用路線
 どれか一つを選択

江津 川本線 折る	川本 美郷線 折る	作木線 折る	式敷 三次線 折る	川の駅 三次線 折る
-----------------	-----------------	-----------	-----------------	------------------

問5 利用頻度
 どれか一つを選択

ほぼ毎日 折る	週4～5日 程度 折る	週2～3日 程度 折る	週1日 程度 折る	2～3週に 1日程度 折る	月1日 程度 折る	たまに使う 程度 折る
------------	-------------------	-------------------	-----------------	---------------------	-----------------	-------------------

問6 利用の目的
 複数選択可

通勤 折る	通学 折る	通院 折る	買い物 折る	観光 折る	趣味・娯楽 折る	その他 折る
----------	----------	----------	-----------	----------	-------------	-----------

問7 目的地
 どれか一つを選択

江津市内 折る	川本町内 折る	呂南町内 折る	美郷町内 折る	安芸高田 市内 折る	三次市内 折る	その他 折る
------------	------------	------------	------------	------------------	------------	-----------

**問8 普段の利用の範囲と
乗り換えの必要性**
 どれか一つを選択

市町内移動のみで 乗り換えない 折る	市町内移動のみだが 乗り換える 折る	市町外移動があるが 乗り換えない 折る	市町外移動があり 乗り換える 折る
--------------------------	--------------------------	---------------------------	-------------------------

3. 本路線のサービスの評価について

問9 運行ダイヤの満足度
 どれか一つを選択

満足 折る	やや満足 折る	普通 折る	やや不満 折る	不満 折る
----------	------------	----------	------------	----------

**問10 他路線との接続
に関する満足度**
 どれか一つを選択

満足 折る	やや満足 折る	普通 折る	やや不満 折る	不満 折る
----------	------------	----------	------------	----------

**問11 改善が必要と思う
項目**
 複数選択可

運行 ダイヤ 折る	運行 ルート 折る	バス停の 位置 折る	他路線 との接続 折る	支払方法 の選択肢 折る	車両の 定員 折る	車両の 老朽化 折る	特にない・ わからない 折る
-----------------	-----------------	------------------	-------------------	--------------------	-----------------	------------------	----------------------

**問12 来年度以降※
の本路線の利用意向**
 どれか一つを選択

今よりも利用は 増えると思う 折る	今と同じ頻度で 利用すると思う 折る	今よりも利用は 減ると思う 折る	わからない 折る
-------------------------	--------------------------	------------------------	-------------

※2025年4月以降について
ご回答ください。

ご協力ありがとうございました。

続けて、より詳細なご意見を賜りたく、スマートフォン等をお持ちの方は
右記のQRコードからWEBアンケートへのご回答をお願いいたします。

▶WEBアンケート
QRコード

調査主体：三江線沿線地域公共交通活性化協議会（事務局：鳥根県地域振興部交通対策課）
 本アンケートに関するお問合せ先：株式会社バイタルリード（業務委託） 担当：本田 TEL：0853-22-9690

調査票番号

図 96 アンケート用紙

4-2 事業者等ヒアリング調査

4-2-1 実施概要

(1)調査の目的

- 沿線各市町の抱える課題やまちづくりの将来像、沿線地域としての連携意向等について公共交通担当へヒアリング調査を実施しました。
- より詳細な住民の移動実態やニーズ把握、移動手段の供給側が抱える問題点等を把握するため、交通事業者やその他関係者へヒアリング調査を実施しました。

(2)調査対象

- 各市町の公共交通担当者
- 三江線沿線代替交通を運行する交通事業者

表 28 事業者等ヒアリング調査実施概要

分類	ヒアリング対象	状況を確認した路線	ヒアリング調査日
沿線市町	江津市	江津川本線、江津川平線、鹿賀線	令和6年12月9日(月)
	川本町	江津川本線、川本美郷線	令和6年12月3日(火)
	美郷町	川本美郷線、粕渕線、粕渕竹線 乙原線、信喜線、明塚地区タクシー利用助成	令和6年12月5日(木)
	邑南町	作木線、はすみデマンド	令和6年12月3日(火)
	安芸高田市	式敷三次線	令和6年12月2日(月)
	三次市	作木線、川の駅三次線、式敷三次線 作木町線、赤名線	令和6年12月2日(月)
交通事業者	石見交通(株)	江津川本線、粕渕線	令和6年12月6日(金)
	備北交通(株)	作木線、赤名線	令和6年12月10日(火)
	駅>タクシー	美郷町デマンド(乙原線、信喜線)	先方都合により未実施
	大和観光(株)	川本美郷線	先方都合により未実施
	(有)君田交通	川の駅三次線	令和6年12月6日(金)
	芸北タクシー	式敷三次線	令和7年1月16日(木)
	(有)甲立タクシー	式敷三次線	令和7年1月16日(木)

4-3 パブリックコメント

- パブリックコメントの実施概要は、以下のとおりです。

表 29 パブリックコメントの実施概要

募集期間	令和7年12月12日(金)から令和8年1月11日(日)まで
応募意見数	なし

V. 計画の基本方針

5-1 本編 将来ネットワーク図の補足

○新たな市町間交通として、美郷町大和地域～邑南町石見地域を接続する方針です。

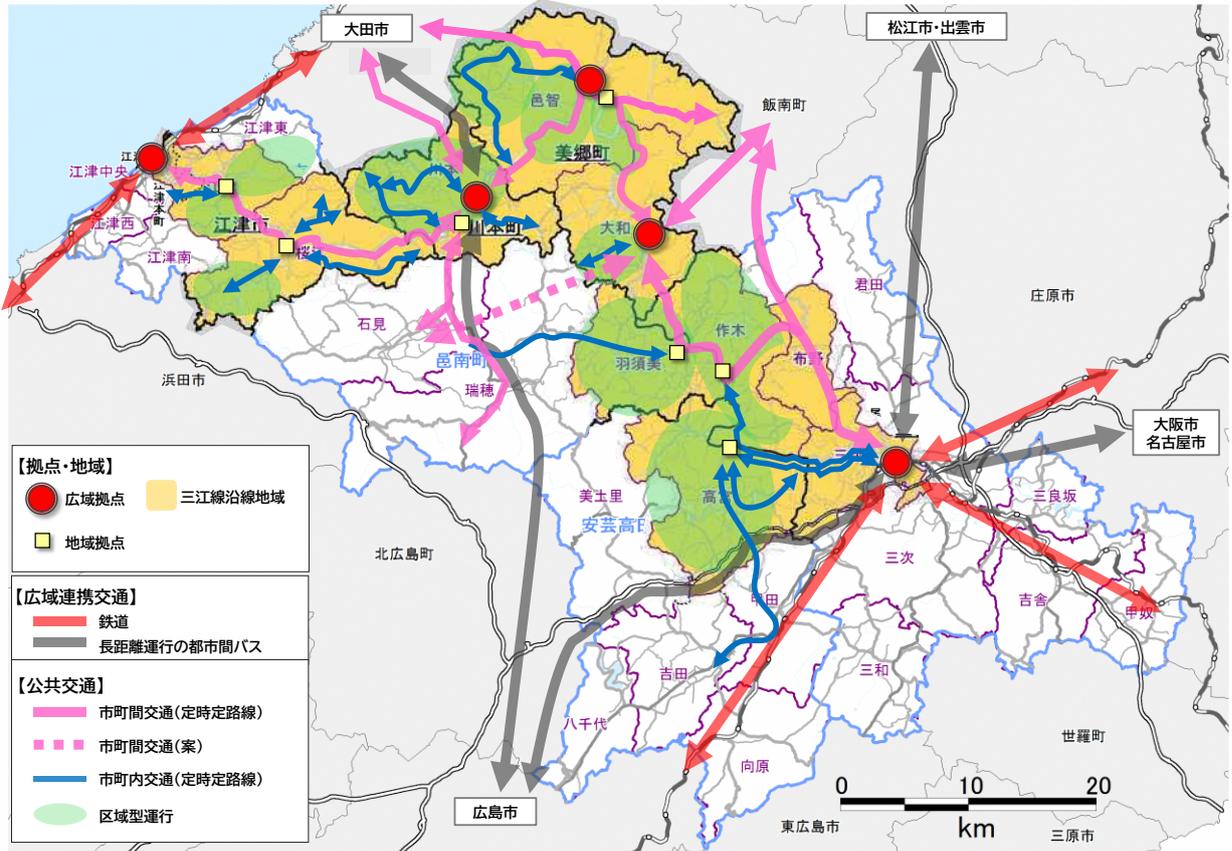


図 97 公共交通ネットワークの将来像(本編掲載の図の再掲)

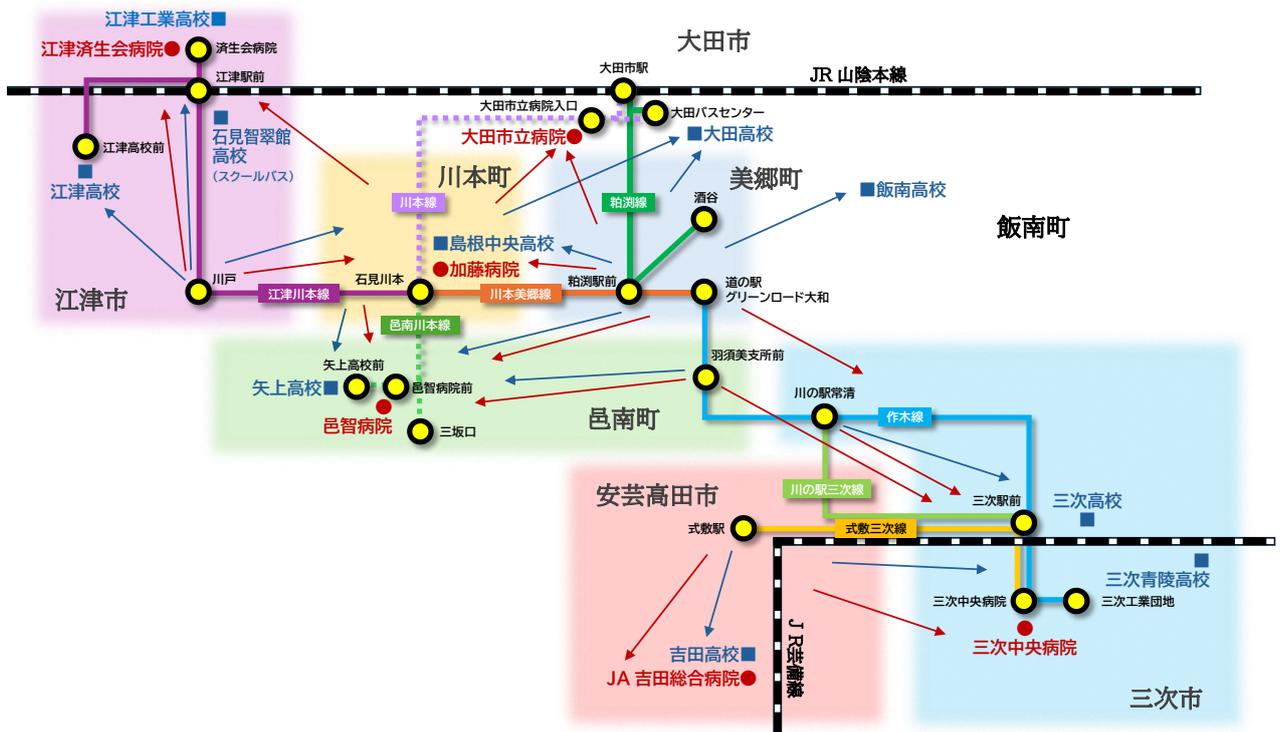


図 98 三江線沿線地域交通ネットワーク略図(路線・学校・病院)

5-2 本編 KPI 目標及び評価指標の補足

5-2-1 KPI 項目の一覧

表 30 第 2 期計画の KPI 一覧

大項目	基本目標	事業	KPI項目	現状値	目標値
基本方針① 三江線沿線地域における公共交通ネットワークの充実	1 地域の方々の公共交通利用率の維持・向上	1 三江線沿線地域の公共交通ネットワークの維持・改善	市町間交通の輸送量(平均乗車密度×運行日数)の合計値 ○三江線代替交通として運行する「市町間交通」の輸送量の合計値 ※平均乗車密度は、ある系統のバスについて、始点から終点まで平均して常時バスに乗っている人数を指す	25.1人/日 (R6バス事業年度市町間交通各路線の合計値) ・江津川本線:8.3人/日 ・川本美郷線:7.4人/日 ・作木線:5.9人/日 ・式敷三次線:2.1人/日 ・川の駅三次線:1.5人/日	現状値以上 (R12バス事業年度における各路線の輸送量の合計値)
	2 主要な都市等との移動時間の短縮	2 主要都市や都市間交通の拠点にアクセスする「広域連携交通」の活用	公共交通サービスによる人口カバー率 ○三江線沿線地域内の全人口に対する、公共交通のカバーする範囲*の人口割合 ※公共交通のカバーする範囲:バス停またはフリー乗降区間から400m範囲内、デマンド等区域運行範囲内、鉄道駅から1km範囲内のいずれかが該当する範囲	90.1% (R2年国勢調査人口を基としたデータ)	95% (計画期間中の達成)
	3 地域拠点における最適な乗換時間の設定	3 乗換しやすいダイヤの設定			
基本方針② 誰もが安心して利用できる公共交通の提供	4 ハード面での快適性・安全性の向上	4 バス停留所等の施設の機能や安全性の強化	わかりやすい運行情報の提供に関する取組の実施状況 ○計画の対象路線のうち、乗り換えアプリ(GTFS)に掲載され、かつR12年度に更新を継続している路線数	9路線 (対象路線14路線のうち、R7年度時点で乗り換えアプリ(GTFS)に掲載されている路線数)	14路線(全路線) (計画期間中の達成)
	5 ソフト面での便利で安心な利用環境の改善	5 利用しやすい運行情報の提供や運賃の設定			
	6 事業者による運行の継続	6 運行継続に求められる支援の実施			
基本方針③ 地域住民に支えられ、魅力ある地域づくりをサポートする公共交通	7 公共交通に関するコミュニケーション機会の増加による住民意識の向上	7 モビリティ・マネジメントの推進	モビリティ・マネジメントの実施回数 ○事業7の取組例に記載するような事業の実施状況 ○各市町が最低でも、年間2回以上実施する	42回 (各市町7年計)	60回以上 (各市町5年計)
	8 観光など魅力ある地域のにぎわいづくりに向けた地域との協働による取組の推進	8 公共交通と地域のにぎわいづくりの連携	公共交通と地域づくりの連携に関する取組の実施状況 ○事業8の取組例に記載するような事業の実施状況 ○各市町が最低でも、年間4回以上実施する	122回(69回) (現計画の「観光を目的とした公共交通利用者開拓に関する取組の実施回数」及び「公共交通と地域づくりの連携に関する取組の実施状況」の合計値 各市町7年計)	120回以上 (各市町5年計)
評価指標			三江線沿線地域人口に対する公共交通の利用者総数*比率 ※公共交通の利用者総数は、三江線代替交通10路線の年間輸送人員の合計値	9.2% 114,846人(R6バス事業年度利用者数)÷35,600人(R6年度人口推計値)	現状値以上 (R12バス事業年度)
			公的資金が投入されている路線の平均収支率	18.5% (R6バス事業年度)	18.7% (R12バス事業年度)
モニタリング指標			運行費用に対する補助額	235,323千円 (R6バス事業年度)	-

表 31 第 1 期計画の KPI と評価の整理表(参考掲載)

基本方針	基本目標	事業	目標評価	KPI目標値	実績値	KPI評価
基本方針① 三江線に替わる新しい公共交通ネットワークの構築	1 地域の方々の公共交通利用率の維持・向上	1-1 三江線に替わる「市町間交通」および「市内交通」の構築 1-2 ニーズに応じた柔軟な形態による「市町間交通」の確保	達成	●「市町間交通」の輸送量:各路線15人/日以上 (R7バス事業年度)	○江津川本線 9.1人/日 ○川本美郷線 6.7人/日 ○作木線 5.9人/日 ○式敷三次線 2.2人/日 ○川の駅三次線 2.4人/日 (各路線R1～R6バス事業年度平均値)	(未達成)
	2 主要な都市等との移動時間の短縮	2-1 主要都市や都市間交通の拠点にアクセスする「広域連携交通」の活用	達成			
	3 地域拠点における最適な乗換時間の設定	3-1 乗換しやすいダイヤの設定	達成			
基本方針② 誰もが安心して利用できる公共交通の提供	4 公共交通を利用する上でのバリアの解消	4-1 利用者に応じたバス車両の導入 4-2 バス停留所の機能強化 4-3 利用しやすい運賃の設定 4-4 誰にでも分かりやすい運行情報の提供	達成	●わかりやすい運行情報の提供に関する取組の実施状況:15回以上 (H30～R6年度実施回数 期間合計)	41回 (6市町計)	達成
	5 安心・安全な運行環境の整備	5-1 非常時・災害時に向けた体制づくり	達成	●非常時・災害時に向けた体制構築に関する、関係者間での協議の回数:5回以上 (H30～R6年度実施回数 6市町全体、期間合計)	39回 (6市町計)	達成
	6 事業者による運行の継続	6-1 運行継続に求められる支援の実施	達成			
基本方針③ 地域住民に支えられ、魅力ある地域づくりをサポートする公共交通	7 観光を目的とした公共交通利用者の増加	7-1 観光を目的とした公共交通利用者の開拓	達成	●観光を目的とした公共交通利用者開拓に関する取組の実施回数:12回以上 (H30～R6年度実施回数 期間合計)	89回 (6市町計)	達成
	8 公共交通に関するコミュニケーション機会の増加による住民意識の向上	8-1 公共交通に関する住民とのコミュニケーションの推進 8-2 モビリティ・マネジメントの推進	達成	●モビリティ・マネジメントの実施回数:12回以上 (H30～R6年度実施回数 期間合計)	42回 (6市町計)	達成
	9 魅力ある地域づくりに向けた地域との協働による取組の進展	9-1 公共交通と地域づくりの連携 9-2 小さな拠点づくり活動との連携	達成	●公共交通と地域づくりの連携に関する取組の実施状況:6回以上 (H30～R6年度実施回数 期間合計)	53回 (6市町計)	達成
住民等の利用者数				118,000人/年 (R7バス事業年度)	111,113人/年 (R6バス事業年度)	(未達成)
公的資金が投入されている路線の平均収支率				18.7% (R7バス事業年度)	18.5% (R6バス事業年度)	(未達成)
公的資金の投入額				現状値(202,272千円)以下 (R7バス事業年度)	235,323千円 (R6バス事業年度)	(未達成)

5-2-2 各 KPI 目標項目及び評価指標の算出根拠

(1) KPI 目標項目と算出根拠

基本方針1

三江線沿線地域における公共交通ネットワークの振興

KPI目標項目1 市町間交通の輸送量(平均乗車密度※×運行日数)の合計値

○ 三江線代替交通として運行する「市町間交通」の輸送量の合計値

※平均乗車密度は、ある系統のバスについて、始点から終点まで平均して常時バスに乗っている人数を指す

項目見直し

現状値	第1期目標値	第2期目標値	設定の考え方
25.1人/日 (R6バス事業年度市町間交通輸送量の合計値) ・江津川本線:8.3人/日 ・川本美郷線:7.4人/日 ・作木線:5.8人/日 ・式敷三次線:2.1人/日 ・川の駅三次線:1.5人/日	15人/日 (各路線)	現状値(25.1人/日)以上 (R12バス事業年度の各路線の輸送量の合計値)	三江線代替交通として、市町間輸送の役割を果たしているかどうかを確認するための指標として設定します。人口減少の影響を受ける厳しい状況が続きますが、観光需要の取り込みなどを積極的に行うことで、令和6バス事業年度の現状値以上の輸送量を目指した目標としています。

▼現計画期間中の実績推移

路線名 (交通事業者名)	「市町間交通」の輸送量(人/日)							平均値 (R1~R6 バス事業年度)
	R1バス事業年度 (H30.10~R1.9)	R2バス事業年度 (R1.10~R2.9)	R3バス事業年度 (R2.10~R3.9)	R4バス事業年度 (R3.10~R4.9)	R5バス事業年度 (R4.10~R5.9)	R6バス事業年度 (R5.10~R6.9)		
江津川本線 (石見交通線)	11.5	12.0	9.2	7.4	6.1	8.3	9.1	
川本美郷線 (大和観光線)	7.1	6.4	5.7	6.3	7.2	7.4	6.7	
作木線(備北交通線)	8.7	5.6	5.1	5.1	5.0	5.8	5.9	
式敷三次線 (南甲立タクシー・芸北 タクシー)	3.2	2.5	1.8	1.8	1.8	2.1	2.2	
川の駅三次線 (南君田交通)	3.0	3.0	2.5	2.5	2.0	1.5	2.4	
合計	33.5	29.5	24.3	23.1	22.1	25.1	26.3	
平均値	6.7	5.9	4.9	4.6	4.4	5.0	5.3	

日当たり輸送量の算出式

平均乗車密度
= 年間収入 ÷ 年間実車走行
キロ数 ÷ 平均賃率

輸送量
= 平均乗車密度 × 運行回数

日当たり輸送量
= 輸送量 ÷ 運行日数

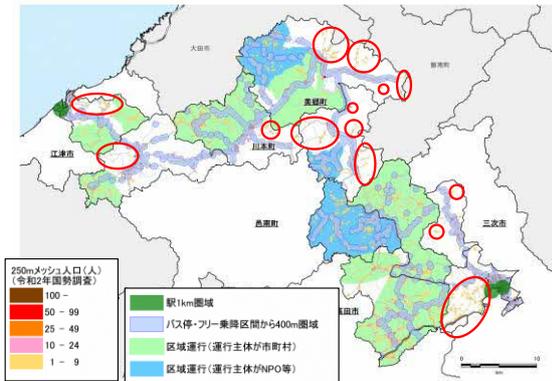
KPI目標項目2 公共交通サービスによる人口カバー率

○ 三江線沿線地域内の全人口に対する、公共交通のカバーする範囲※の人口割合

※公共交通のカバーする範囲:バス停またはフリー乗降区間から400m範囲内、デマンド等区域運行範囲内、鉄道駅から1km範囲内のいずれかが該当する範囲

新規

現状値	目標値	設定の考え方
90.1% (R2年国勢調査人口を基としたデータ)	95% (H27からR2の増加分(84.4%から90.1%、5.7%)を参考として、増加幅は減ると仮定して設定)(計画期間中の達成)	三江線沿線地域内における面的な公共交通サービスの充実度を測る観点の指標として新たに加えます。区域運行の導入などにより交通空白の解消を目指していく目標設定とします。



▼三江線沿線地域内の公共交通サービスによる人口カバー率

自治体	地域	R2国調人口 (250mメッシュ人口)	カバー範囲内人口	カバー範囲内人口 の割合
江津市	江津	1,038	895	86.2%
	桜江	2,323	2,129	91.6%
川本町	川本	3,246	3,158	97.3%
美郷町	邑智	3,021	2,835	93.8%
	大和	1,336	1,171	87.6%
邑南町	羽須美	1,234	1,234	100.0%
安芸高田市	高宮	2,855	2,782	97.4%
	作木	1,172	1,172	100.0%
三次市	三次	5,752	4,463	77.6%
	布野	1,298	1,122	86.4%
総計		23,275	20,961	90.1%

▲ 250mメッシュ人口分布(R2国調)

× 公共交通(バス・乗合タクシー等)が利用しにくい地域(赤丸箇所)

参照: 令和2年度国勢調査

KPI目標項目3 わかりやすい運行情報の提供に関する取組の実施状況

○計画の対象路線のうち、乗り換えアプリ(GTFS)に掲載され、かつ令和12年度に更新を継続している路線数

項目見直し

現状値	目標値	設定の考え方
9路線 (対象路線14路線のうち、令和7年度時点で乗り換えアプリ(GTFS)に掲載されている路線数)	14路線(全路線導入) (計画期間中の達成)	GTFS導入により、乗り換えアプリへの掲載を実現し、観光客等の利便性改善を図るとともに、将来的なバスロケーションシステム導入など利用者への迅速な情報提供に向けた取組検討へ繋がります。

令和7年度時点で以下の9路線が導入済

- 江津市生活バス
 - ・江津川平線
 - ・鹿賀線
- 石見交通(株)バス
 - ・江津川本線
 - ・粕渕線
 - ・川本線
- 備北交通(株)バス
 - ・作木線
 - ・赤名線
- 君田交通(株)
 - ・川の駅三次線
- 飯南町営バス
 - ・谷・赤名・頓原線

今後以下の5路線の導入を目指す

- 大和観光(株)バス
 - ・川本美郷線
 - ・布施線
- NPOはすみ振興会
 - ・羽須美区域運行
- 安芸高田市営バス
 - ・式敷三次線
- 邑南町営バス
 - ・邑南川本線

基本方針3

地域住民に支えられ、魅力ある地域づくりをサポートする公共交通

KPI目標項目4 モビリティ・マネジメント※の実施状況

- 事業7取組例に記載するような事業の実施状況
- 各市町が最低でも、年間2回以上実施する

※モビリティ・マネジメントとは：
過度に自動車に頼る生活から公共交通などを「かしこく」使う方向へと自発的に転換することを促す、コミュニケーションを中心とした取組のこと

目標値見直し

現状値	第1期目標値	第2期目標値	設定の考え方
42回 (各市町7年計)	12回以上 (各市町5年計)	60回以上 (各市町5年計)	引き続き対象路線の維持を目的として、多様なターゲットに向けたモビリティ・マネジメントの実施を推進するための目標とします。 目標値は、各市町が年2回実施することを前提とした設定にしています。

▼現計画期間中の実績推移

[主な取組例]

自治体名	モビリティ・マネジメントの実施状況(回)								対象	モビリティ・マネジメントの例
	合計	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
江津市	7	1	1	1	1	1	1	1	高齢者	○バスの乗り方教室の開催(ICカード利用方法の周知やお得な公共交通利用方法、安全なバス利用など) ○運転免許返納者への割引
川本町	4	0	0	1	1	1	1	0		
美郷町	7	1	1	1	1	1	1	1	高校生	○通学で利用する公共交通や割引などの情報について入学時・入学前からの情報提供 ○学校行事での公共交通利用
小中学生	7	1	1	1	1	1	1	1		
邑南町	1	1	0	0	0	0	0	0	Uターン者	○Uターン希望者や転入者向けの公共交通に関する情報提供 ○広域連携交通を活用したパーク&ライドの推進
安芸高田市	7	1	1	1	1	1	1	1		
三次市	16	3	1	2	2	2	3	3	行政職員・企業	○協力企業への助成やPR ○ノーマイカーデーの推進
合計	42	7	4	6	6	6	7	6		
									全体	○意見交換会の開催 ○各種媒体による情報発信

基本方針3

地域住民に支えられ、魅力ある地域づくりをサポートする公共交通

KPI目標項目5 公共交通と地域づくりの連携に関する取組の実施状況

- 事業8取組例に記載するような事業の実施状況
- 各市町が最低でも、年間4回以上実施する

目標値見直し

KPI統合

現状値	第1期目標値	第2期目標値	設定の考え方
122回(69回) (現計画の「観光を目的とした公共交通利用者開拓に関する取組の実施回数」及び「公共交通と地域づくりの連携に関する取組の実施状況」の合計値 各市町7年計)	計18回以上(各市町5年計) 「観光を目的とした公共交通利用者開拓に関する取組の実施回数」:12回以上(各市町5年計)及び「公共交通と地域づくりの連携に関する取組の実施状況」:6回以上(各市町5年計)の合計値	120回以上(各市町5年計)	引き続き対象路線の維持を目的として、地域住民との協働による利用促進や観光目的の利用者開拓を推進するための目標とします。 目標値は、各市町が年4回実施することを前提とした設定にしています。

▼現計画期間中の実績推移

自治体名	公共交通と地域づくりの連携に関する取組の実施状況(回) (うち、観光を目的とした公共交通利用者開拓に関する取組の実施回数(回))								[主な取組例]
	合計	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
江津市	15 (7)	3 (1)	1 (0)	1 (0)	2 (1)	2 (1)	3 (2)	3 (2)	・住民によるバス停等の美化運動の推進 ・小さな拠点づくり※活動との連携(公共交通を活用した地域産品の集荷・出荷) ・公共交通を活用した周遊ルート、観光プランの提案(既存の観光パンフレット等の活用) ・NPO法人江の川鐵道などの取組と連携(旧三江線の廃線跡を活用したアクティビティなどの提案) ・イベントの開催による公共交通の利用促進(関係市町で連携) ・タクシーを活用した観光二次交通を検討 など
川本町	45 (36)	3 (0)	1 (0)	2 (1)	9 (8)	11 (10)	10 (9)	9 (8)	
美郷町	19 (5)	2 (1)	1 (1)	2 (1)	5 (0)	4 (0)	2 (1)	3 (1)	
邑南町	21 (14)	3 (2)	3 (2)	3 (2)	3 (2)	3 (2)	3 (2)	3 (2)	
安芸高田市	6 (1)	2 (1)	4 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
三次市	16 (6)	4 (1)	2 (1)	1 (0)	2 (1)	2 (0)	3 (2)	2 (1)	
合計	122 (69)	17 (6)	12 (4)	9 (4)	21 (12)	22 (13)	21 (16)	20 (14)	

(2) 評価指標と算出根拠

評価指標

評価指標1 三江線沿線地域人口に対する公共交通の利用者総数※比率

※公共交通の利用者総数は、三江線代替交通10路線の年間輸送人員の合計値

項目見直し

現状値	第1期目標値	第2期目標値	設定の考え方
3.23 114,846人(R6バス事業年度利用者数) ÷35,600人(R6年度人口推計値)	(住民等の利用者数) 118,000人/年	現状値(3.23)以上 (R12バス事業年度)	人口減少の影響による利用者数減少を加味し、 その他要因による増減が分かる指標として設 定します。

▼「公共交通の利用者総数」の実績値推移

路線名	R3バス事業年度 (R2.10~R3.9) 実績値(人/年)	R4バス事業年度 (R3.10~R4.9) 実績値(人/年)	R5バス事業年度 (R4.10~R5.9) 実績値(人/年)	R6バス事業年度 (R5.10~R6.9) 実績値(人/年)
江津川本線	35,597	32,110	23,789	33,419
江津川平線	1,157	1,271	1,311	1,105
鹿賀線	126	65	70	50
川本美郷線	24,721	25,926	28,356	29,208
粕洲線	30,465	16,616	24,074	23,439
羽須美区域運行	2,944	2,944	3,729	2,548
式敷三次線	2,485	2,174	2,557	3,159
作木線	11,759	14,504	13,225	13,997
川の駅三次線	5,832	5,220	4,676	3,750
飯南町営バス	3,634	3,152	3,638	4,171
合計	118,720	103,982	105,425	114,846

三江線沿線地域の人口	37,400人	36,800人	36,200人	35,600人
評価指標の値	3.17	2.83	2.91	3.23

直近では増加

※三江線沿線地域の人口は推計値

評価指標2 公的資金が投入されている路線の平均収支率

継続

現状値	第1期目標値	第2期目標値	設定の考え方
16.5% (R6バス事業年度)	18.7% (R7バス事業年度)	18.7% (R12バス事業年度)	各路線の収支状況を測る指標として、第1期計画と同様に設 定します。

▼「公的資金が投入されている路線の平均収支率」の実績値推移

路線名	R3バス事業年度 (R2.10~R3.9) 実績値(%)	R4バス事業年度 (R3.10~R4.9) 実績値(%)	R5バス事業年度 (R4.10~R5.9) 実績値(%)	R6バス事業年度 (R5.10~R6.9) 実績値(%)
江津川本線	31.0	22.3	19.4	24.9
江津川平線	6.8	8.4	8.4	25.1
鹿賀線	2.3	0.9	1.3	1.1
川本美郷線	16.9	20.0	23.4	21.6
粕洲線	27.0	24.3	27.7	19.5
羽須美区域運行	10.7	9.4	8.5	6.8
式敷三次線	4.0	3.0	3.8	4.1
作木線	18.8	20.9	17.9	16.7
川の駅三次線	5.5	4.3	3.6	3.0
飯南町営バス	15.0	10.1	12.1	13.0
合計	18.4	16.9	17.2	16.5

直近では微減

(3)モニタリング指標と算出根拠

モニタリング指標

運行費用に対する補助額

分類変更

現状値	第1期目標値	第2期目標値	設定の考え方
235,323千円 (R6バス事業年度)	現状値 (202,272千円)以下	-	運行費用に対する補助額については、公共交通の維持と行財政のバランスに加え、物価高騰などの社会情勢にもよるため、一概に目標値を定めることができません。そのため、モニタリング指標として位置付けます。

▼公的資金の投入額※の実績値推移

路線名	R3バス事業年度 (R2.10~R3.9) 実績値(千円/年)	R4バス事業年度 (R3.10~R4.9) 実績値(千円/年)	R5バス事業年度 (R4.10~R5.9) 実績値(千円/年)	R6バス事業年度 (R5.10~R6.9) 実績値(千円/年)
江津川本線	29,163	32,170	34,158	33,388
江津川平線	3,958	3,695	3,859	937
鹿賀線	2,007	2,222	2,135	1,716
川本美郷線	52,627	50,959	49,703	55,932
粕淵線	29,320	30,055	29,348	34,711
羽須美区域運行	8,398	9,698	11,915	13,561
式敷三次線	17,729	19,066	19,177	19,977
作木線	29,311	30,020	33,546	37,438
川の駅三次線	25,997	30,853	33,118	33,115
飯南町営バス	3,762	4,212	4,294	4,548
合計	202,272	212,950	221,253	235,323

運行費用に対する補助額は増加傾向で推移

※「運行費用に対する補助額」は、国・県・沿線自治体の補助額の合算

VI. 三江線沿線地域公共交通活性化協議会

6-1 ワーキンググループ及び法定協議会

○ワーキンググループ会議及び法定協議会を、以下のように行った。

表 32 ワーキンググループ及び法定協議会の開催概要

協議名	日時	場所
第1回ワーキンググループ	令和7年8月5日(火) 14:00~15:00	島根県川本合同庁舎 5階 503会議室
第2回ワーキンググループ	令和7年9月2日(火) 10:30~12:00	島根県川本合同庁舎 5階 503会議室
第3回ワーキンググループ	令和7年10月16日(木) 10:30~12:00	美郷町役場 2階 多目的室
第1回法定協議会	令和7年11月14日(金) 13:30~15:00	三次市 十日市コミュニティセンター
第2回法定協議会	令和8年2月6日(金) 14:30~15:30	オンライン

6-2 公共交通活性化協議会規約・委員名簿

6-2-1 三江線沿線地域公共交通活性化協議会規約

平成28年11月10日制定
平成29年12月21日改正
令和 2年10月26日改正
令和 5年 6月 2日改正
令和 6年 2月20日改正
令和 7年 6月10日改正

(趣旨)

第1条 「三江線沿線地域公共交通活性化協議会」(以下「協議会」という。)は、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律(平成19年法律第59号)第6条第1項の規定に基づき、地域公共交通計画(以下「計画」という。)の作成及び実施に関する必要な協議を行うため設置する。

(事業)

第2条 協議会は、前条の目的を達成するため、次の業務を行う。

- 一 計画の策定及び変更の協議に関すること
- 二 計画の実施に関する連絡調整に関すること
- 三 計画の達成状況の評価に関すること
- 四 前各号に掲げるもののほか、協議会の目的を達成するために必要なこと

(組織)

第3条 協議会は、別表に掲げる団体又は機関等をもって組織する。

- 2 協議会に会長及び副会長を置く。
- 3 協議会は、前条各号に掲げる項目について、調査、検討、調整等を行うため、必要に応じて、ワーキンググループ(以下「WG」という。)を設置することができる。
- 4 WGは、会長が別に定める構成員をもって組織し、必要に応じて、構成員以外の者の出席を求めることができる。
- 5 前2項に定めるもののほか、WGの設置及び運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(会長及び副会長)

第4条 会長は、島根県地域振興部長の職にある者をもって充てる。

- 2 会長は協議会の会務を総理する。
- 3 副会長は、広島県地域政策局長の職にある者をもって充てる。
- 4 副会長は、会長を補佐して協議会の業務を掌理し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、会長の職務を代理する。

(会議)

第5条 協議会の会議(以下「会議」という。)は、会長が招集し、会長が議長となる。

- 2 会議は、委員(別表に掲げる団体又は機関等に所属する者をいう。以下同じ。)の半数以上の出席がなければ、これを開くことができない。

- 3 会議の議決は、会議出席委員の過半数をもって行うこととする。
- 4 会議は、原則として公開とする。ただし、会議を公開することにより公正かつ円滑な議事運営に支障が生じると認められる協議については、非公開で行うものとする。
- 5 協議会は、必要があると認めるときは、委員以外の者に対して、資料の提出を求め、又は会議への出席を依頼し、助言等を求めることができる。

(書面審議)

- 第6条 会長は、緊急その他やむを得ない事情により会議を開催することができないと認めるときは、書面審議により、議事を決することができる。
- 2 前条第3項の規定は、前項の規定について準用する。

(協議結果の尊重義務)

- 第7条 協議会で協議が整った事項については、協議会の構成員はその協議結果を尊重しなければならない。

(監査)

- 第8条 協議会に監査委員を、1名置く。
- 2 協議会の出納監査は、会長が別に定める監査委員によって行う。
 - 3 監査委員は、監査の結果を会長に報告しなければならない。

(財務に関する事項)

- 第9条 協議会の予算編成、現金の出納その他財務に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(事務局)

- 第10条 協議会の業務を処理するため、協議会に事務局を置く。
- 2 事務局は、島根県地域振興部交通対策課に置く。
 - 3 事務局に事務局長及び事務局員を置き、それぞれ会長が指名する。

(雑則)

- 第11条 この規約に定めるもののほか、協議会の事務の運営に関して必要な事項は、会長が別に定める。

附 則 この規約は、平成28年11月10日から施行する。

附 則 この規約は、平成29年12月21日から施行する。

附 則 この規約は、令和2年10月26日から施行し、令和2年4月1日から適用する。

附 則 この規約は、令和5年6月2日から施行し、令和5年4月1日から適用する。

附 則 この規約は、令和6年2月20日から施行する。

附 則 この規約は、令和7年6月10日から施行する。

別表（第3条関係）

区分	団体又は機関等
公共交通事業者等	西日本旅客鉄道株式会社山陰支社
	石見交通株式会社
	備北交通株式会社
	一般社団法人島根県旅客自動車協会
	島根県旅客自動車協会 邑智支部
	公益社団法人広島県バス協会
	一般社団法人広島県タクシー協会
	広島県タクシー協会 北部支部
	NPO 法人はすみ振興会
道路管理者	江津市 土木建設課
	川本町 地域整備課
	美郷町 建設課
	邑南町 建設課
	三次市 土木課
	島根県 土木部
	広島県 土木建築局
公安委員会	島根県警察
	広島県警察
地域公共交通利用者	江津市連合自治会長協議会
	川本町自治会連合会
	美郷町連合自治協議会
	江の川鉄道応援団
	安芸高田市高宮町地域振興会連絡協議会
	三次市作木町自治連合会
その他	国土交通省 中国運輸局 島根運輸支局
	島根県西部県民センター
	ひろしま NPO センター
	公益社団法人島根県観光連盟
	一般社団法人広島県観光連盟
関係地方公共団体	飯南町
作成地方公共団体	島根県 地域振興部
	広島県 地域政策局
	江津市
	川本町
	美郷町
	邑南町
	安芸高田市
	三次市

6-2-2 三江線沿線地域公共交通活性化協議会ワーキンググループ設置規程

(趣旨)

第1条 この規程は、三江線沿線地域公共交通活性化協議会規約（以下「規約」という。）第3条第5項の規定に基づき、三江線沿線地域公共交通活性化協議会（以下「協議会」という。）のワーキンググループ（以下「WG」という。）の設置及び運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(所掌事務)

第2条 WGは、規約第2条各号に掲げる事務について、調査、検討、調整等を行う。

(ワーキンググループ長)

第3条 WGにワーキンググループ長（以下「WG長」という。）を置き、WG長は島根県地域振興部交通対策課長とする。

2 WG長は、WGを代表し、会を掌握する。

(組織)

第4条 規約第3条第4項の別に定める構成員は、別表に掲げる者とする。

(事務局)

第5条 WGの事務は、協議会の事務局が行う。

(その他)

第6条 この規程に定めるもののほか、必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この規程は、令和7年6月10日から施行する。

別表（第4条関係）

WGの名称	構成員	備考
計画策定検討WG	島根県交通対策課長	WG長
	広島県公共交通政策課担当課長	
	江津市地域振興課長	
	川本町まちづくり推進課長	
	美郷町企画推進課長	
	邑南町地域みらい課長	
	安芸高田市政策企画課長	
	三次市まちづくり交通課長	